

# ◆ 葛飾区 ◆

# 中小企業の景況

令和6年度第2・四半期

(令和6年7~9月)

## 目 次

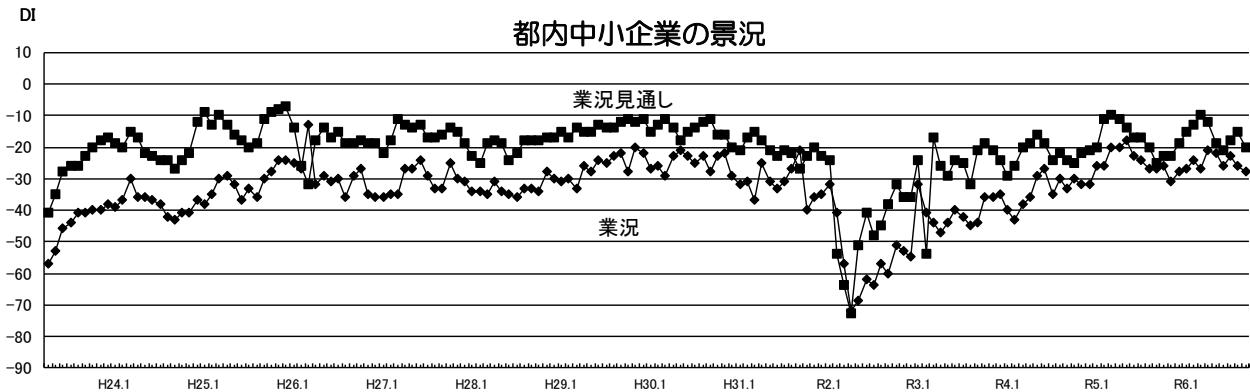
都内中小企業の景況（令和6年7~9月期）	1
葛飾区内中小企業の景況（令和6年7~9月期）	2
葛飾区の業況動向	3
製造業	4
卸売業	8
小売業	12
サービス業	16
建設業	20
不動産業	24
日銀短観	28
東京都・葛飾区の企業倒産動向	29
東京都・葛飾区の新設法人	32
特別調査	
「事業所・工場の建替えや移転について」	34
中小企業景況調査 転記表	54

葛飾区 産業観光部 産業経済課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

# 都内中小企業の景況（令和6年7～9月期）

**業況**：全体はやや悪化。製造業、小売業でやや改善、卸売業はやや悪化、サービス業は大幅に悪化。  
**見通し**：全体は大幅に改善。卸売業、製造業で大幅に改善、小売業、サービス業でやや改善する見込み。



業況 DI（季節調整済み「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は全体で▲28（前期▲26）と、やや悪化した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比8ポイント増の▲20と大幅に改善する見通し。

	前期 (R6.6)	今期 (R6.9)	増減	今後3ヶ月間の見通し
製造業	▲30	▲28	2	▲22
卸売業	▲28	▲30	▲2	▲12
小売業	▲38	▲36	2	▲32
サービス業	▲11	▲19	▲8	▲15
全体	▲26	▲28	▲2	▲20

令和6年9月の都内中小企業の業況 DI は、前期から2ポイント減の▲28とやや悪化した。今後3ヶ月間の業況見通し DI では、今期比8ポイント増の▲20と大幅に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、製造業（▲28）、小売業（▲36）はいずれも2ポイント増とやや改善、卸売業（▲30）は2ポイント減とやや悪化、サービス業（▲19）は8ポイント減と大幅に悪化した。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（24）は2ポイント減とやや下降、小売業（20）は9ポイント減、卸売業（16）は13ポイント減といずれも大幅に下降した。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、サービス業（2）は2ポイント増とやや上昇、製造業（▲1）は2ポイント減と上昇から下降に転じ、卸売業（11）は2ポイント減、小売業（9）は5ポイント減といずれもやや下降した。

今後3ヶ月間の業況見通し DI を業種別にみると、卸売業（▲12）は18ポイント増、製造業（▲22）は6ポイント増と大幅に改善、小売業（▲32）、サービス業は（▲15）はいずれも4ポイント増とやや改善する見込みとなっている。

## 【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

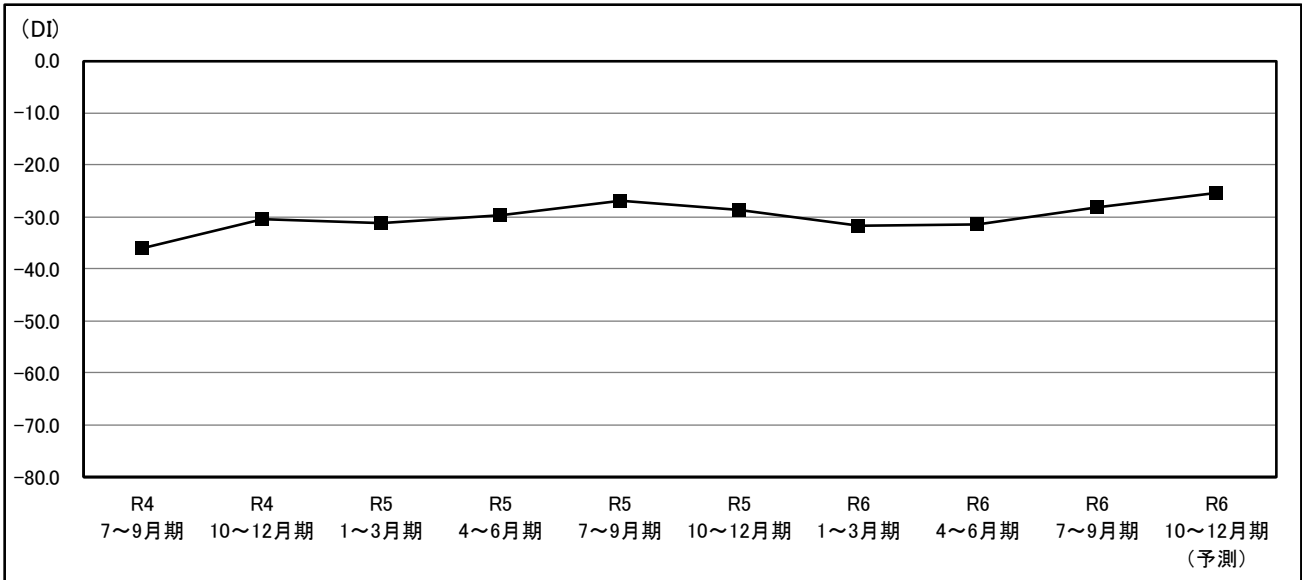
季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

# 葛飾区内中小企業の景況（令和6年7～9月期）

業況：全体ではやや改善。小売・建設・不動産業は大きく改善、製造業はやや改善。サービス業は前期並。卸売業は大きく悪化。  
見通し：全体ではやや改善。卸売・サービス業は大きく改善。製造・建設・不動産業は今期並。小売業はやや悪化する見込み。



葛飾区内中小企業の業況DI

	前期 (R6.4~6)	今期 (R6.7~9)	増減	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲43	▲39	4	▲38
卸売業	▲30	▲43	▲13	▲28
小売業	▲48	▲39	9	▲41
サービス業	▲23	▲22	1	▲16
建設業	▲25	▲18	7	▲19
不動産業	▲19	▲12	7	▲13
全体	▲31	▲28	3	▲25

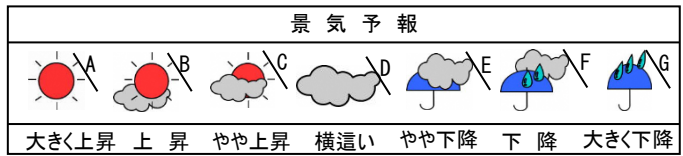
※小数点第1位を四捨五入した数値

## 《最近の景況動向》

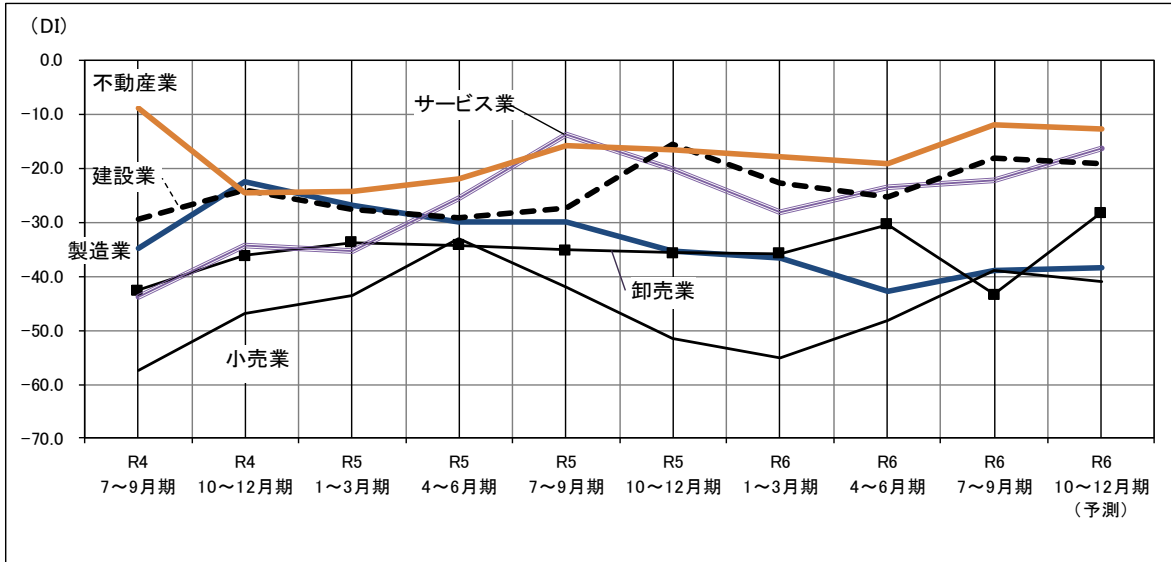
今期の葛飾区内中小企業全体の業況は▲28であった。来期（今後3ヶ月間の見通し）においては、やや厳しさが和らぐ見通しとなっている。

業種別にみると、今期は、小売・建設・不動産業は大きく改善、製造業はやや改善。サービス業は前期並。卸売業は大きく悪化した。来期は、卸売・サービス業は大きく改善。製造・建設・不動産業は今期並。小売業はやや悪化する見込みとなっている。

# 葛飾区の業況動向



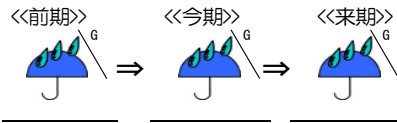
## 各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



<b>全体</b>		<p>業況はやや厳しさが和らいだ。来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。</p>
<b>製造業</b>		<p>業況はやや厳しさが和らいだ。来期の業況は今期同様で推移する見込み。</p>
<b>卸売業</b>		<p>業況は大きく低調感が強まった。来期の業況は大きく厳しさが和らぐ見込み。</p>
<b>小売業</b>		<p>業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況はやや低調感が強まる見込み。</p>
<b>サービス業</b>		<p>業況は前期並となった。来期の業況は大きく厳しさが和らぐ見込み。</p>
<b>建設業</b>		<p>業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況は今期同様で推移する見込み。</p>
<b>不動産業</b>		<p>業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況は今期同様で推移する見込み。</p>

## 『業種別』業況動向

### 製造業



( ) は、前期→今期

#### 売上・収益の動向と業況判断

業況(△43→△39)はやや厳しさが和らいだ。売上額(△31→△30)は前期並となり、収益(△37→△40)はやや減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は11ポイント下回っている。

#### 価格・在庫動向

販売価格(5→7)はやや上昇傾向が強まり、原材料価格(60→66)は大きく上昇傾向が強まった。在庫(6→9)はやや過剰感が強まった。

#### 資金繰り・借入金動向

資金繰り(△20→△26)は大きく窮屈感が強まった。借入難易度(6→6)は前期並となった。今期借入をした企業は33%で前期の32%から1ポイント増加した。

#### 経営上の問題点・重点経営施策

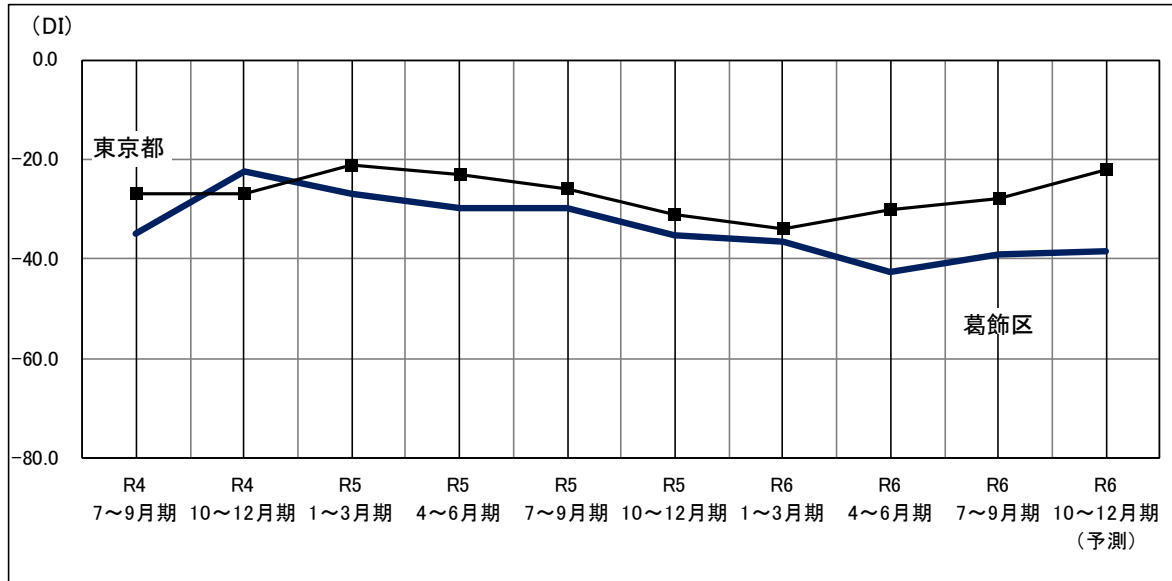
経営上の問題点は、1位は「原材料価格・材料価格の上昇」が59%、2位は「売上の停滞・減少」が56%、3位は「人手不足」「人件費の増加」がともに23%となり、「人手不足」が4位から3位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が37%、2位は「経費を削減する」が33%、3位は「人材を確保する」が27%となり、3位と4位が入れ替わった。

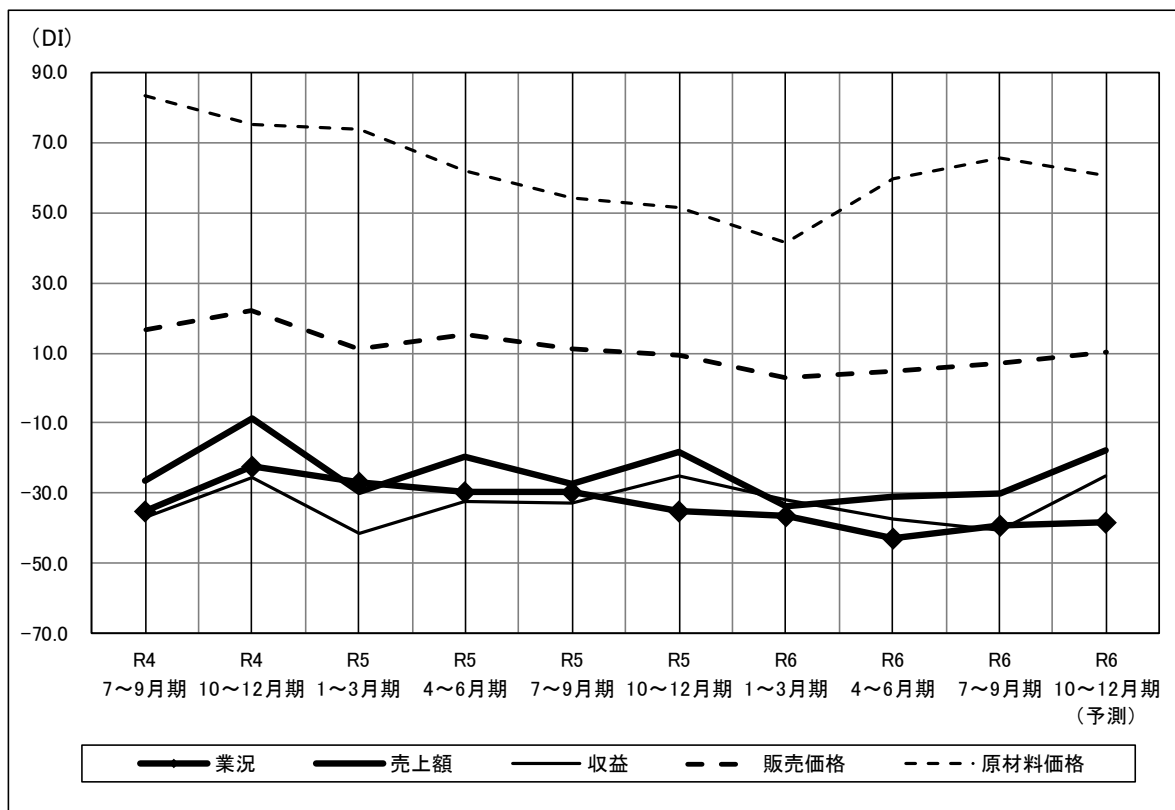
#### 来期の見通し

業況(△39→△38)は今期同様で推移する見込み。売上額(△30→△18)、収益(△40→△25)はともに大きく減少幅が縮小すると予想されている。

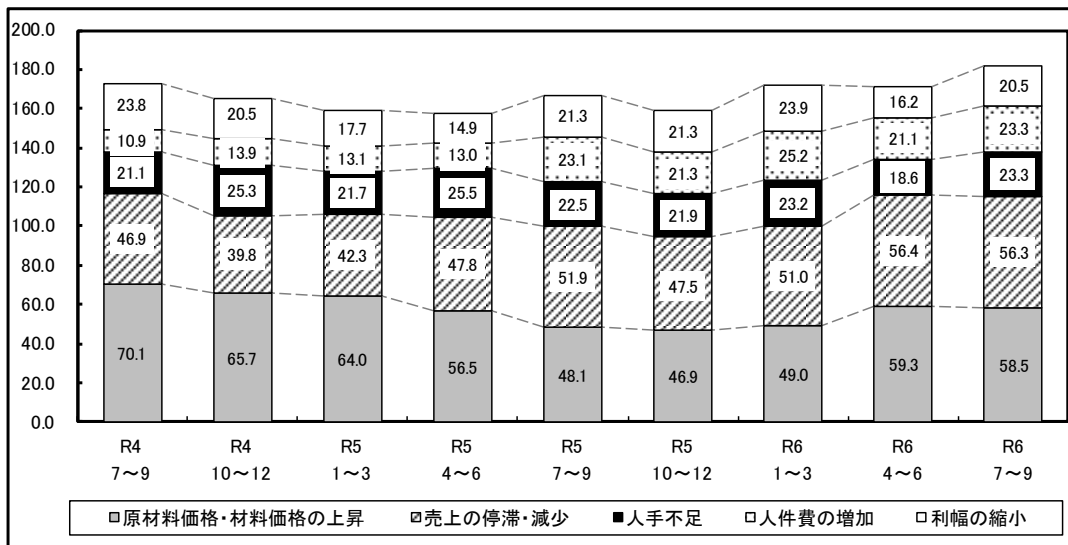
## 〈製造業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



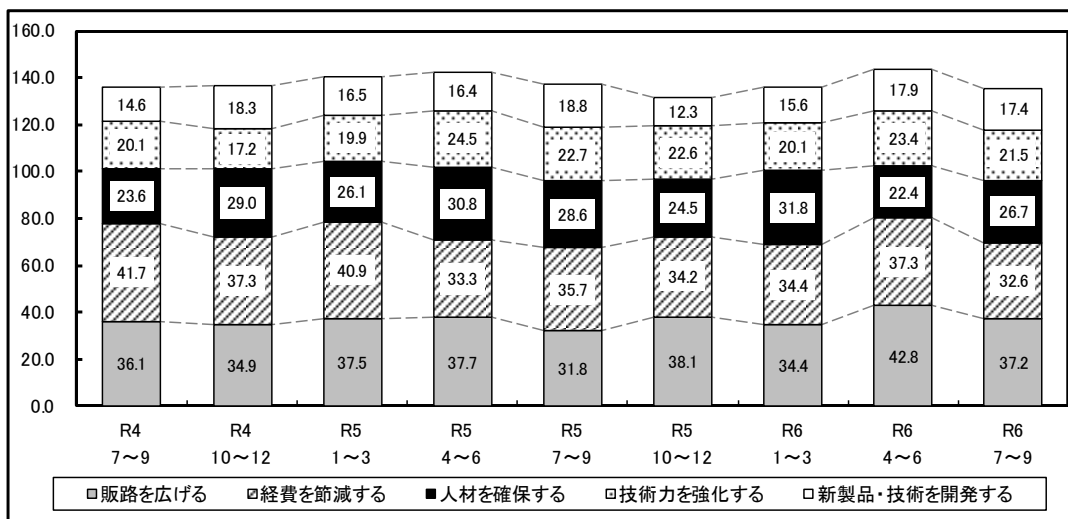
## 〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	47.5 %	売上の停滞・減少	51.0 %	原材料価格・材料価格の上昇	59.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	58.5 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	46.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	49.0 %	売上の停滞・減少	56.4 %	売上の停滞・減少	56.3 %
第3位	人手不足	21.9 %	人件費の増加	25.2 %	人件費の増加	21.1 %	人手不足 人件費の増加	23.3 %
第4位	利幅の縮小 人件費の増加	21.3 %	利幅の縮小	23.9 %	人手不足	18.6 %	利幅の縮小	20.5 %
第5位	取引先の減少	14.4 %	人手不足	23.2 %	利幅の縮小	16.2 %	取引先の減少	10.8 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「30人以上100人未満」が73.3%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	販路を広げる	38.1 %	販路を広げる経費を節減する	34.4 %	販路を広げる	42.8 %	販路を広げる	37.2 %
第2位	経費を節減する	34.2 %	人材を確保する	31.8 %	経費を節減する	37.3 %	経費を節減する	32.6 %
第3位	人材を確保する	24.5 %	技術力を強化する	20.1 %	技術力を強化する	23.4 %	人材を確保する	26.7 %
第4位	技術力を強化する	22.6 %	新製品・技術を開発する	15.6 %	人材を確保する	22.4 %	技術力を強化する	21.5 %
第5位	新製品・技術を開発する	12.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	14.3 %	新製品・技術を開発する	17.9 %	新製品・技術を開発する	17.4 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人以上10人未満」が44.7%で最も多かった。(n数5以下除く)

# 製造業 業種別コメント

## <仕入・価格について>

1. 仕入先からの（材料と製品）値上げに関して受注先様の受け入れに難航している
2. 貴金属加工業ですので金が高くなりすぎて製造できない
3. 現状維持で続けてはいきたいですが下請や材料確保に危惧しています
4. 仕入れ価格が上がるが、うまく値上げにつなげるのが難しい（電気代や、光熱費やトラックなどの維持費の値上げのため）
5. 材料や工具代など少しずつ価格が上がっているが、現状では、どのくらいこれから上昇するか不明だが、今後価格の見直しが必要だと思う
6. 材料価格が非常に上がり、中々単価に反映出きずに苦労している
7. 仕入れ価格、送料が上昇してもすぐに販売価格に転嫁できない
8. 専属の協力会社の高齢化による廃業のため、自社生産が追いつかないことで、製品在庫の不足が生じている
9. 値上げ交渉の難航が続いている

## <受注・業況について>

10. 販売先の商社の業績が減少しており、その影響をうけている
11. 大企業が小さいロットでも受けるような体制を取り始めているため中小に仕事が回ってこない
12. 売上げが昨年と比べて減少している。弊社だけでなく業界として発注が海外に流れているようだ。（製品を値上げすると売れないらしく、お客様が少しでも安い仕入先を探している）
13. 受注の量が（増・減両方）例年よりも不安定で先が読めなくなっている。電気代・材料費が上がっていても、単価に反映出来ない
14. 需要が増え、増収、増益ながら、顧客の偏りが顕著になってきている
15. 新型コロナウイルス対策支援時の借入金の返済が始まったが売り上げは戻らず苦しい
16. 当社だけではなく、中小企業の製造業は、昨年の今頃は価格転嫁前の需要でかなりの需要があったが、価格転嫁後の今年になってからは、注文がかなり落ち着いたように感じている
17. 取り扱うセグメントは3つ（高価格帯、低価格量販、輸出）あるが、そのうち低価格量販部門の採算が、近年の天候やレジャー志向の変化で悪化
18. 売り上げは増加傾向にありますが、原材料の値上げが止まらないため、利益幅が減少し製品の値上げが難しい状況のため、更に売り上げを上げなければならない状況です

19. 3年程続いた高受注が落ちつき、徐々に減産体制にシフトしています。来年中旬以降に予測される受注増に備え、設備の修繕と更新、雇用は維持する方針です
20. 一部取引先から支払条件を良く（手形支払いサイトの短縮）する話を貰っているため資金繰りが好転している。短納期化しており人件費が増加している
21. コロナ禍明けの需要戻りで売上は回復したものの、先行きが非常に不透明
22. 自動車部品製造メーカーの売り上げ悪化が続いていて悪影響が続いている
23. 物価高による個人消費の停滞及び中国経済の低迷による機械受注の減少により、全体的に受注量が減少している

## <人材について>

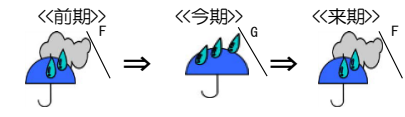
24. 数年後の定年退職予定者補充の採用に問題
25. 従業員の高齢化により一部の工程を外注業者に頼んでいる
26. 高齢者2人の工場、あと何年仕事をやれるかが問題です
27. IT対応の技術員、現場オペレーターを新規採用して人手不足の解消、技術力の向上を図りたい
28. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている
29. 販路の拡大は可能ですが、人手不足で困っています
30. 高齢者のため廃業方向に向かっています
31. 従業員が少ないのでこれ以上仕事を増やせず、将来性もないので、あと10年位しか（年齢も年齢なので）仕事はできないと思っている
32. 人手不足で外国人労働者を受け入れる中、弊社事業は特定技能に準じないため外国人労働者を受け入れるのが困難。そのため基準枠を広げてほしい
33. 取引の単価の値上げ交渉はうまく行ったが、材料費、社会保険費と人件費の高騰で単価を上げてても全く追いつかない。社長の賃金は実質減らした。人件費がどんどん高くなるため、人材を増やしたいが今の所無理かと思っている。これ以上の最低賃金増は望まない

## <その他>

34. 経営者の老年期！専門家に頼むとお金がかかり、サギの不安！仕事が楽しくなる、社会にしたいです
35. 借入金の返済が厳しくなっている



# 卸 売 業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 30 \rightarrow \Delta 43$ ) は大きく低調感が強まった。売上額 ( $\Delta 14 \rightarrow \Delta 28$ )、収益 ( $\Delta 31 \rightarrow \Delta 43$ ) はともに大きく減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は 13 ポイント下回っている。

## 価格・在庫動向

販売価格 ( $23 \rightarrow 24$ ) は前期並となり、仕入価格 ( $64 \rightarrow 47$ ) は大きく上昇傾向が弱まった。在庫 ( $6 \rightarrow 5$ ) は前期並となった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 15 \rightarrow \Delta 21$ ) は大きく窮屈感が強まった。借入難易度 ( $\Delta 1 \rightarrow 3$ ) は好転した。今期借入をした企業は 33% で前期の 27% から 6 ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

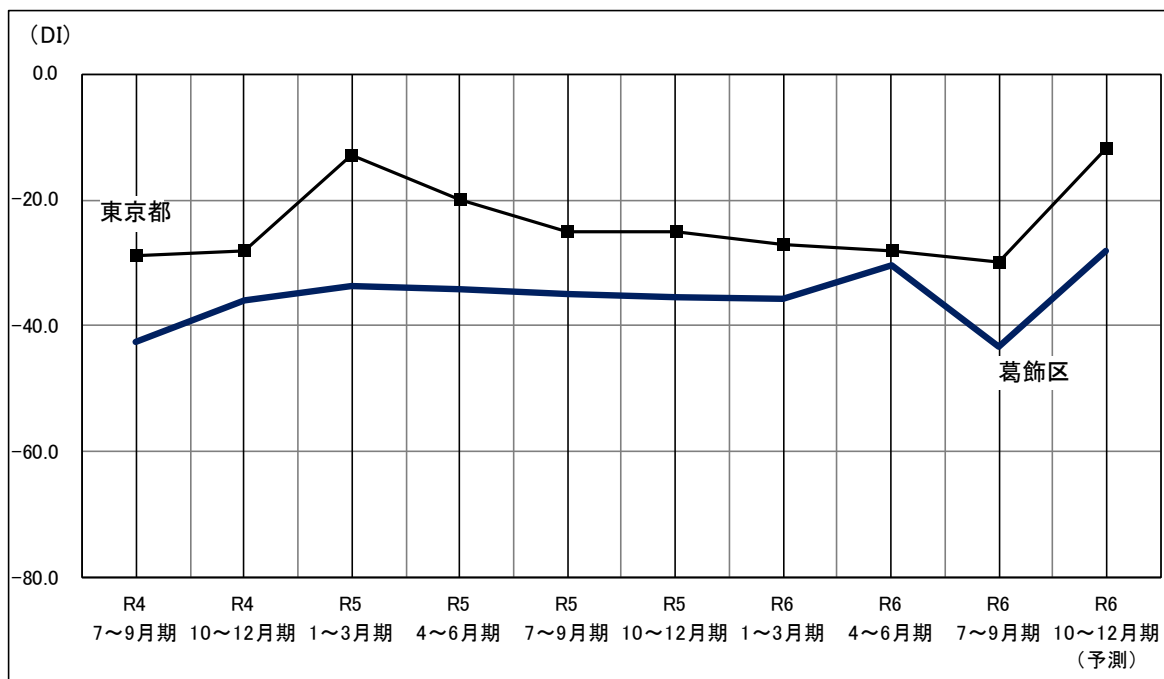
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 50%、2 位は「原材料価格・材料価格の上昇」が 33%、3 位は「仕入先からの値上げ要請」が 25% となり、上位 3 位は前期同様となった。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 47%、2 位は「経費を節減する」が 32%、3 位は「仕入先・提携先を開拓・選別する」が 25% となり、上位 3 位は前期同様となった。

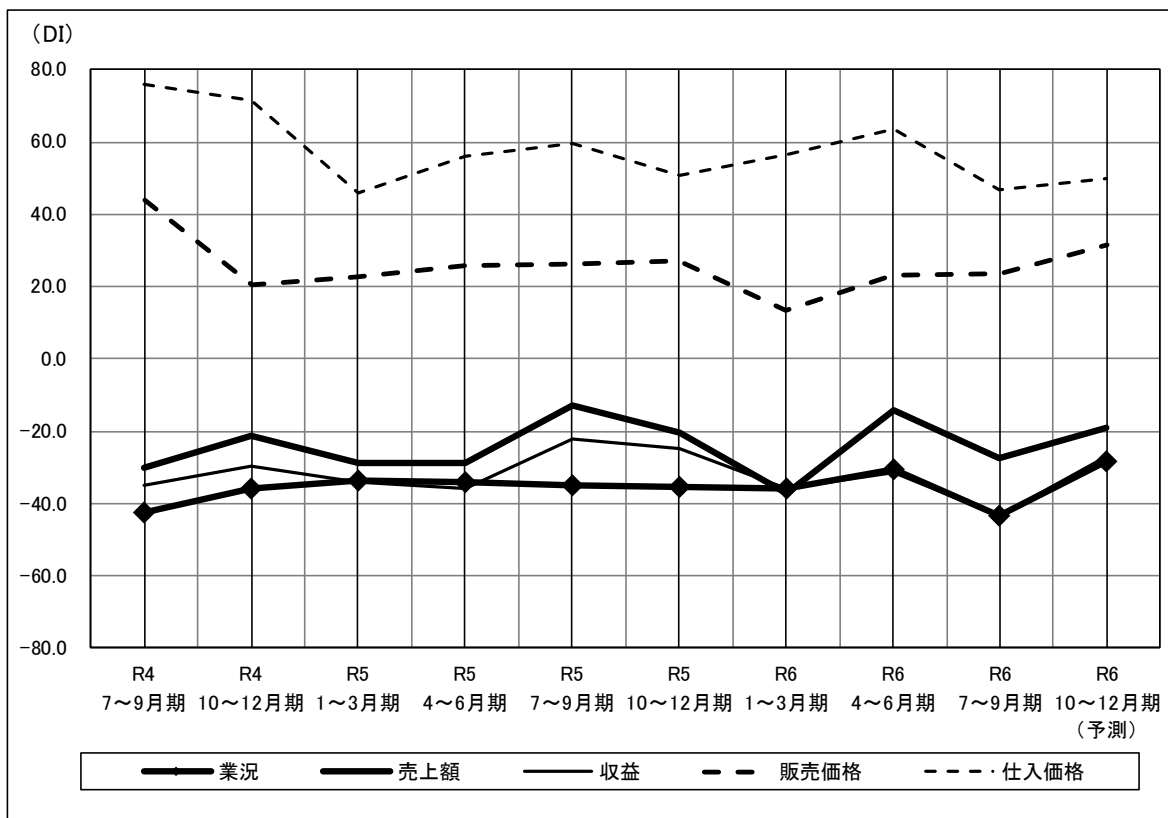
## 来期の見通し

業況 ( $\Delta 43 \rightarrow \Delta 28$ ) は大きく厳しさが和らぐ見込み。売上額 ( $\Delta 28 \rightarrow \Delta 19$ )、収益 ( $\Delta 43 \rightarrow \Delta 27$ ) はともに大きく減少幅が縮小すると予想されている。

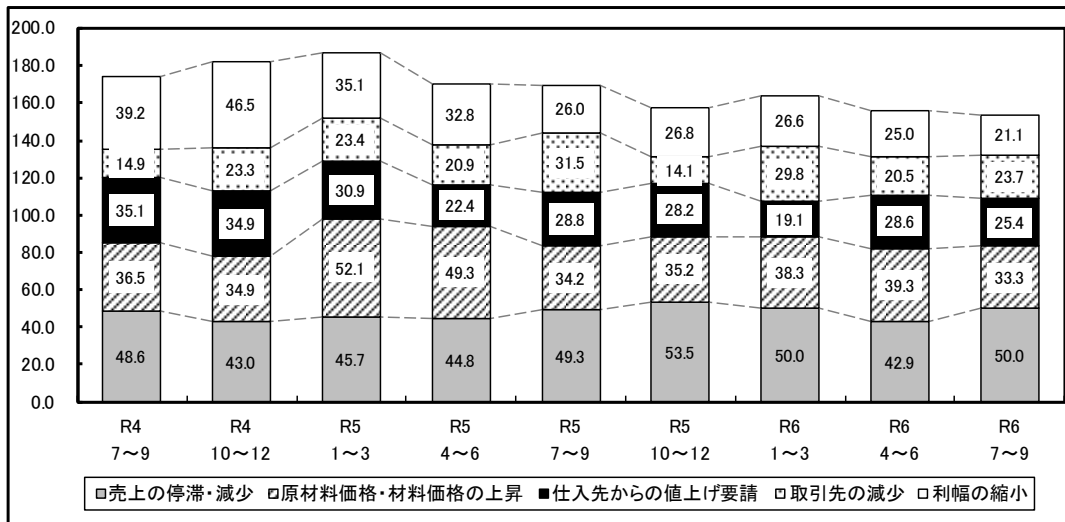
## 〈卸売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



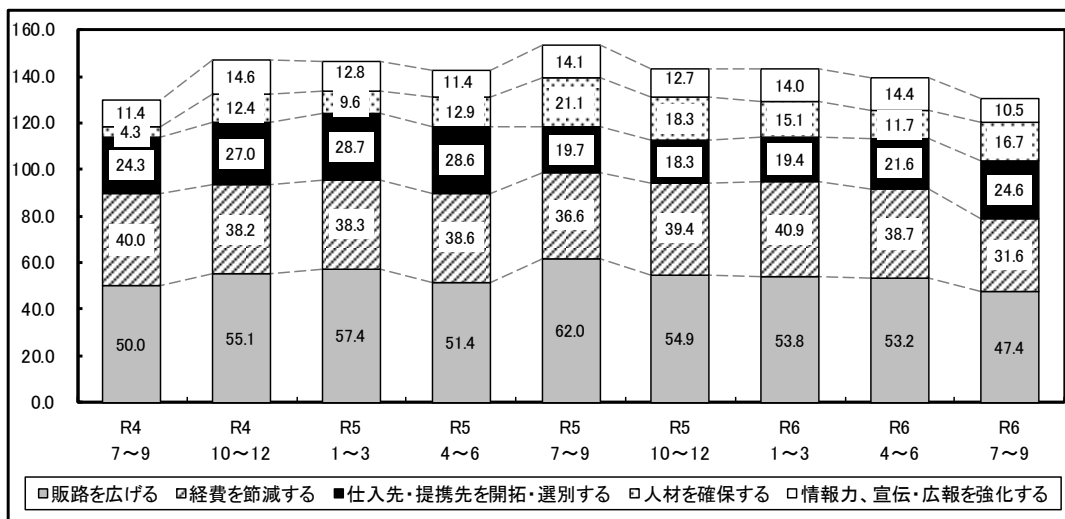
## 〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.10~12月期	R6.1~3月期	R6.4~6月期	R6.7~9月期
第1位	売上停滞・減少 53.5 %	売上停滞・減少 50.0 %	売上停滞・減少 42.9 %	売上停滞・減少 50.0 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇 35.2 %	原材料価格・材料価格の上昇 38.3 %	原材料価格・材料価格の上昇 39.3 %	原材料価格・材料価格の上昇 33.3 %
第3位	仕入先からの値上げ要請 28.2 %	取引先の減少 29.8 %	仕入先からの値上げ要請 28.6 %	仕入先からの値上げ要請 25.4 %
第4位	利幅の縮小 26.8 %	利幅の縮小 26.6 %	利幅の縮小 25.0 %	取引先の減少 23.7 %
第5位	人手不足 16.9 %	仕入先からの値上げ要請 19.1 %	取引先の減少 20.5 %	利幅の縮小 21.1 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が56.1%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈卸売業〉 重点経営施策 (%)



	R5.10~12月期	R6.1~3月期	R6.4~6月期	R6.7~9月期
第1位	販路を広げる 54.9 %	販路を広げる 53.8 %	販路を広げる 53.2 %	販路を広げる 47.4 %
第2位	経費を節減する 39.4 %	経費を節減する 40.9 %	経費を節減する 38.7 %	経費を節減する 31.6 %
第3位	仕入先・提携先を開拓・選別する 18.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する 19.4 %	仕入先・提携先を開拓・選別する 21.6 %	仕入先・提携先を開拓・選別する 24.6 %
第4位	情報力、宣伝・広報を強化する 12.7 %	人材を確保する 15.1 %	情報力、宣伝・広報を強化する 14.4 %	人材を確保する 16.7 %
第5位	新しい事業を始める 9.9 %	情報力、宣伝・広報を強化する 14.0 %	品揃えを充実させる 11.7 %	情報力、宣伝・広報を強化する 10.5 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人以上10人未満」が52.2%で最も多かった。(n数5以下除く)

# 卸売業 業種別コメント

## <仕入・価格について>

1. 最近になって、また仕入先から値上げ要請が続いている。販売価格に転嫁できるかが重要
2. 仕入れ量の低下（競争の増加）（入札のため）→販売量の減少
3. 経費が上がって、取引は現状のままなので、利益は少なくなっている
4. 運送費の値上がりによる経費増
5. 販売価格は上げているが仕入れの上げ幅や運送費の値上げが追いつかない
6. 原材料費の高騰から仕入先からは納入単価上昇を半ば強制的に要望され、得意先からは物価高でただてさえ、衣料品への消費者の購買意欲が落ちていると言われ、なかなか販売価格に転嫁できず
7. 固定経費（人件費他販管費）の上昇が利益を圧迫している
8. 仕入れ商品増産
20. コストインフレにより収益の悪化が続いている。商品価格の値上げに時間が掛かっている
21. 機械や工場のメンテナンスを中心としてお客様のニーズに responding しているので、売上は安定している
22. 小さい工場など廃業するところが増えてきて、販売先はあまり増えないため、売り上げは減少傾向
23. 製品価格の値上りに伴い販売価格の適正化を推進したことにより収益性の改善につながったが、需要減少により販売量は減っている
24. 少量品のオーダーが増加、必要最低限のオーダーでコスト高となる注文を控えている傾向あり
25. 国際価格の下落及び為替変動により在庫商品価値が目減りし売り上げ及び利益が減少している
26. コロナ感染による公共工事の発注延期等が原因とみられる事象で仕事が激減。改変には至らない
27. 為替が130~140前半で推移すれば利益が安定して出せるようになる

## <受注・業況について>

9. 取引先の公共工事の受注が減り、売上が減少気味です
10. 販路が今の所確保できているので少しずつ売上が増加している
11. 販売先が増えて、売上が上昇しているが仕入の値上げによる利益減少
12. 原材料の高騰のため、仕入値が上がっているが販売価格を据置にしているため利益は減少している
13. 受注を取るのが難しくなっている。金利を上げたり増税したりする前に政府、財務省はやることがあると思う
14. ネット・通販カタログ等に事務用品等の消耗品の需要を持っていかれている
15. 原材料の高騰に伴い、値上げを実施しており、結果として収益改善ができた。需要増により増収、増益が続いている
16. 国民負担率50%+物価高+増税、買い控えが影響している
17. 売上減少、販売先の減少、仕入れ価格の上昇（利益減少）、経費の上昇、送料・郵送料すべて卸価格に転嫁できた
18. 夏の暑さのため、お土産お菓子販売が激減した。秋・冬商品の充実を図りたい。また販路と新商品も企画していく必要あり
19. メーカーとしてターゲットとしている学生の人口がどんどん減少している中、売上を確保し、新しく需要を作り供給していく現状がただただ忙しい
28. 今期（7月~9月）は受注が多く入り売上が上昇しました。このまま売上の上昇を期待したい
29. 8月の稼働日数が少なかったことで売上が極端に落ち込んだ。9月後半から反動でかなり売り上げが伸びている

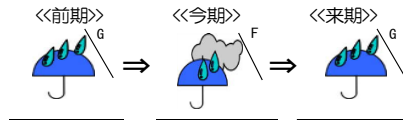
## <人材について>

30. 高齢化により、若い人材（運転手）の確保が重要だと思っている
31. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている

## <その他>

32. 借入金が多く金利の上昇。客先の廃業が多く売上は減少傾向
33. 補助金、IT導入等に対する情報の変化対応複雑化
34. 商店街の道路拡幅による店舗減少のため客足の減少
35. 昨年国内メイン工場（委託先）が倒産し、海外工場へシフトしており現金が必要なため金融機関からの借入を増やした
36. 日系企業の海外進出に際しての工場設備の輸出のビジネスを展開していますが、この円安で、海外進出日系企業が極端に減った
37. 作業の効率化・DX化が遅れていると感じる
38. 前期と同様、円高に進むよう願う

# 小 売 業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 48 \rightarrow \Delta 39$ ) は大きく厳しさが和らいだ。売上額 ( $\Delta 30 \rightarrow \Delta 30$ ) は前期並となり、収益 ( $\Delta 43 \rightarrow \Delta 40$ ) はやや減少幅が縮小した。東京都と比較した当区の業況は3ポイント下回っている。

## 価格・在庫動向

販売価格 ( $22 \rightarrow 29$ )、仕入価格 ( $62 \rightarrow 72$ ) は大きく上昇傾向が強まった。在庫 ( $\Delta 10 \rightarrow \Delta 8$ ) はやや不足感が改善した。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 36 \rightarrow \Delta 31$ ) はやや窮屈感が緩和した。借入難易度 ( $\Delta 7 \rightarrow \Delta 7$ ) は前期並となった。今期借入をした企業は25%で前期の29%から4ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

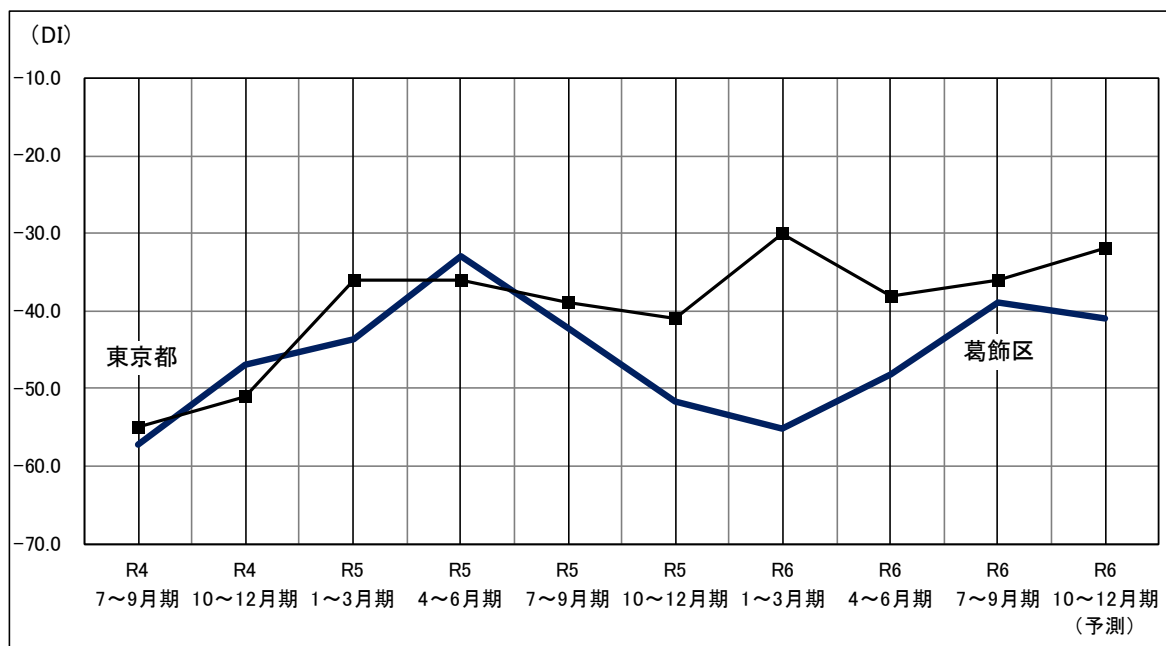
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が60%、2位は「利幅の縮小」が30%、3位は「原材料価格・材料価格の上昇」が29%となり、2位と3位が入れ替わった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が34%、2位は「販路を広げる」が24%、3位は「品揃えを充実させる」「人材を確保する」がともに23%となり、1位と2位が入れ替わった。

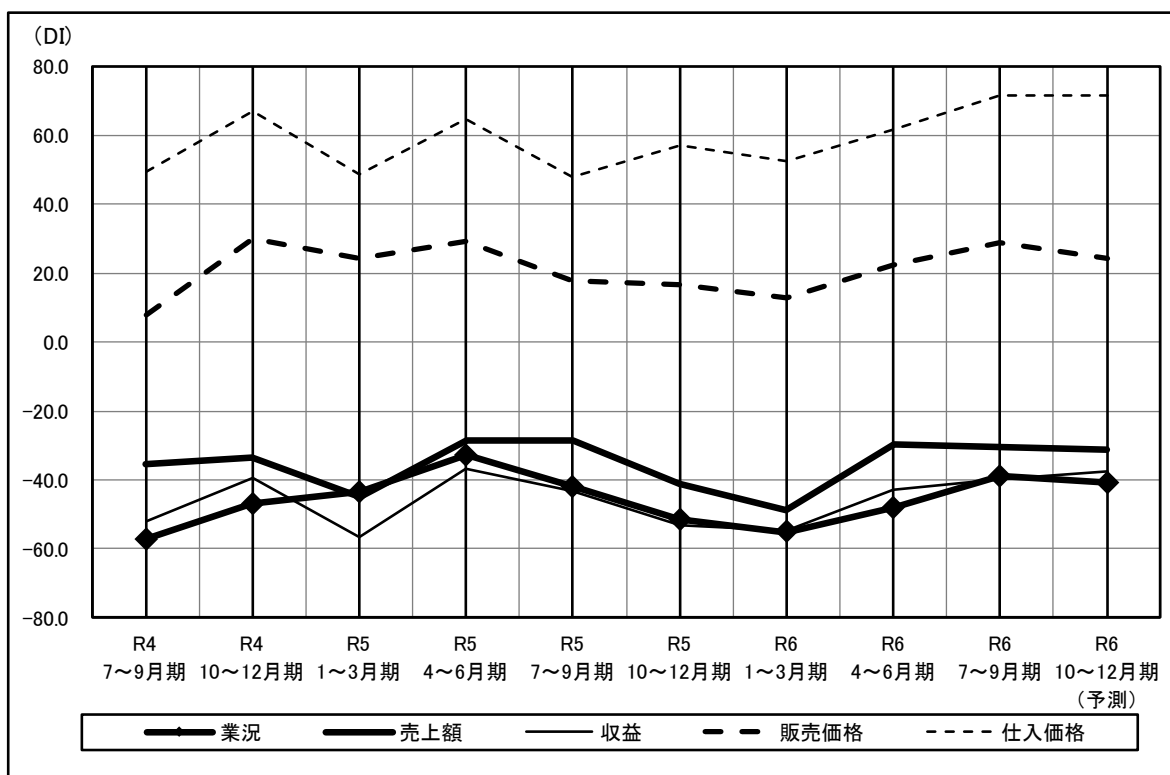
## 来期の見通し

業況 ( $\Delta 39 \rightarrow \Delta 41$ ) はやや低調感が強まる見込み。売上額 ( $\Delta 30 \rightarrow \Delta 31$ ) は今期同様で推移し、収益 ( $\Delta 40 \rightarrow \Delta 38$ ) はやや減少幅が縮小すると予想されている。

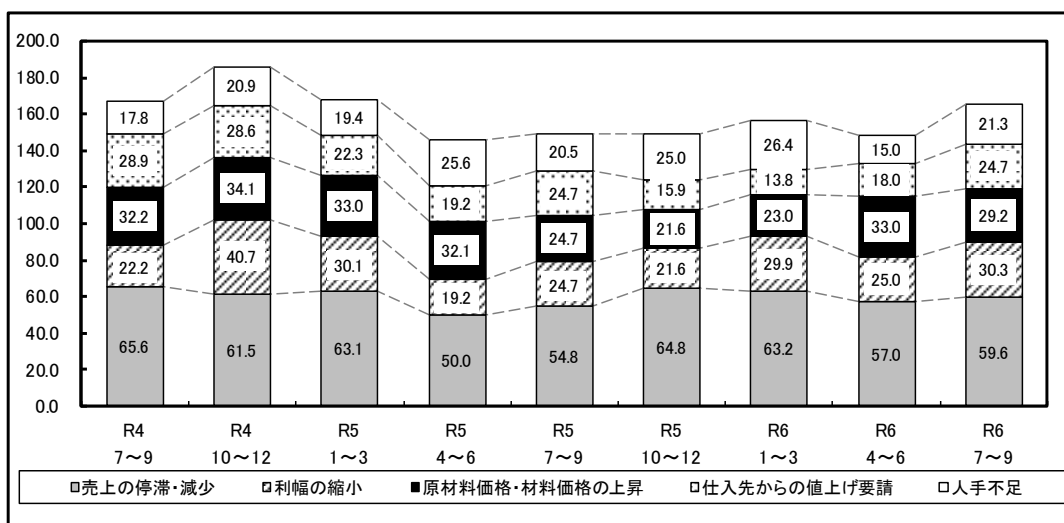
## 〈小売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



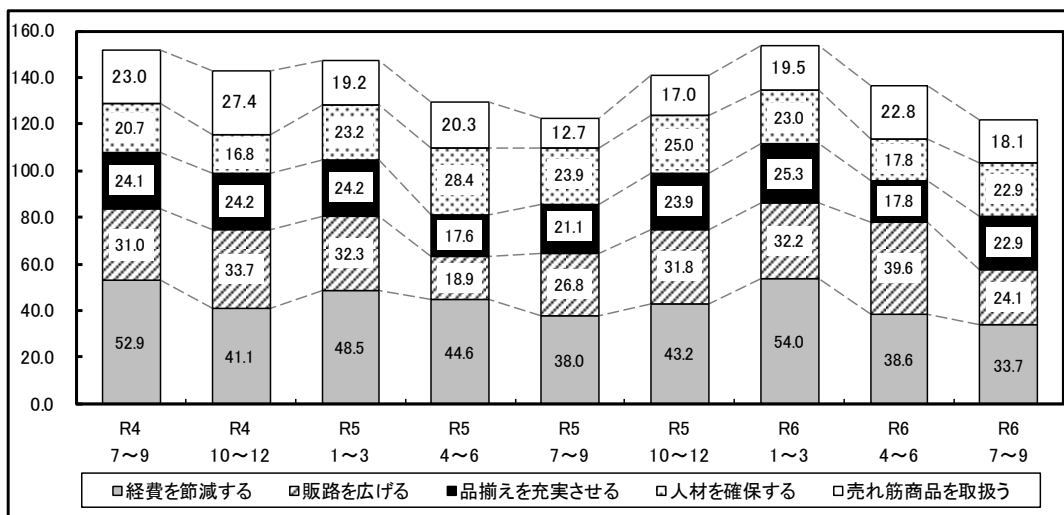
## 〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	売上停滞・減少	64.8 %	売上停滞・減少	63.2 %	売上停滞・減少	57.0 %	売上停滞・減少	59.6 %
第2位	人手不足	25.0 %	利幅の縮小	29.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	33.0 %	利幅の縮小	30.3 %
第3位	利幅の縮小 原材料価格・材料価格の上昇	21.6 %	人手不足	26.4 %	利幅の縮小	25.0 %	原材料価格・材料価格の上昇	29.2 %
第4位	人件費の増加	19.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	23.0 %	同業者間の競争の激化	19.0 %	仕入先からの値上げ要請	24.7 %
第5位	仕入先からの値上げ要請	15.9 %	大手企業・大型店との競争の激化	17.2 %	仕入先からの値上げ要請 人件費の増加	18.0 %	人手不足 人件費の増加	21.3 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が66.1%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	経費を節減する	43.2 %	経費を節減する	54.0 %	販路を広げる	39.6 %	経費を節減する	33.7 %
第2位	販路を広げる	31.8 %	販路を広げる	32.2 %	経費を節減する	38.6 %	販路を広げる	24.1 %
第3位	人材を確保する	25.0 %	品揃えを充実させる	25.3 %	売れ筋商品を取扱う	22.8 %	品揃えを充実させる 人材を確保する	22.9 %
第4位	品揃えを充実させる	23.9 %	人材を確保する	23.0 %	品揃えを充実させる 人材を確保する	17.8 %	売れ筋商品を取扱う	18.1 %
第5位	情報力・宣伝・広報を強化する 売れ筋商品を取扱う	17.0 %	売れ筋商品を取扱う	19.5 %	情報力・宣伝・広報を強化する	16.8 %	情報力・宣伝・広報を強化する	15.7 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「10人以上30人未満」が45.5%で最も多かった。(n数5以下除く)

# 小売業 業種別コメント

## <仕入・価格について>

1. 仕入れ先からの大幅値上げと共に小売店のお客様の来店減少で店舗を閉める等検討中
2. 米不足によりスーパー等の客が流れ売り上げは良くなったが、価格高騰による客離れが心配
3. 仕入れ先からの値上げ要請と卸す販売店との兼ね合い
4. 原材料・人件費が上昇する中、販売価格の値上げにはふみきれず利幅が圧縮され経営困難になっている
5. 原材料の高騰や気候の変動などにより客数が減少した
6. 仕入価格が上昇して、収益が減少している。販売価格を、あげるしかない
7. 昨年ほどではないが、仕入れ先の欠品が続きお客様にご迷惑をかけることがある
8. 仕入れ値高騰により利益が減少している。安値店への顧客離れが増えている

## <受注・業況について>

9. ネット注文で売上減少
10. イベント等での売上がありましたが御祝金とかで出しているのであまり儲からない
11. 大手スーパーの進出により売り上げは減少傾向である
12. 家賃上昇、給与時給の上昇に売上がついてゆけず
13. 少しずつではあるが販路を広げていける。営業をしっかりと続けて行けば、売上が上がると思うので、引き続き営業に力を入れていきたいと思っている
14. コロナから販売状況が変化した。得意先の減少→廃業による
15. コロナ感染症が流行るまでは、売り上げも順調に伸びていたが、コロナ流行以降伸び悩んでいる。確実な通年売り上げを伸ばさなければいけないと思う
16. 顧客が定着しつつあり、売上向上にも繋がっている
17. 今期(令和6年6月～8月)実績では昨年実績の同月比110%から130%と好調を維持できている
18. インターネットの普及などで販路がなくなった
19. アパレル商品の販売は益々厳しくなる

20. 原材料の上昇につき買い控えのため、売り上げ減少
21. 中古車相場の上昇や新車納期の長期化による中古車の発生台数の減少の影響から中古車の在庫確保が厳しく、総じて売上の減少に繋がっており、利益確保が厳しい状況が続いている
22. 売上は微増なれど、利益が出にくい。仕入れ価格の上昇が止まらない。地域の高齢化、若年層減少と若年層の価値観の変化により需要の減少

## <人材について>

23. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている
24. 飲食店の廃業増加。同、後継者不在
25. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている
26. 人材不足と仕入れ価格の上昇
27. 人手は不足していますが、雇用すると資金繰りが大変です
28. 人件費が上がりすぎる

## <その他>

29. ネット販売にて商店街で買い物をしなくなっている
30. 通販の広がりや商店街にお客が来ない
31. ネットによる集客と販路を開拓中です
32. コロナ緊急融資の元金返済が始まる。資金繰りが苦しくなる
33. コロナ融資の返済に追われて、資金繰りに苦労している
34. 商品数を増やしたいが、資金が少なく、追加注文ができない。金融機関からの融資もすでに目一杯借入れしているためできない
35. 会場を借りて売出しをする事がここ数年やっていない。メーカーがここ何年も協力が無い
36. 新紙幣対応の特需が来年の今頃までは続きます。この間に次の商品開発及び得意先の拡大も並行して行いたいですが繁忙により実行ができていない。人員の確保が若干進み、今後も進めていく
37. 大手出版社が利益を独占し、取次、小売りに利益を回す意識が欠如している



# サービス業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 23 \rightarrow \Delta 22$ ) は前期並となった。売上額 ( $\Delta 21 \rightarrow \Delta 7$ )、収益 ( $\Delta 31 \rightarrow \Delta 21$ ) はともに大きく減少幅が縮小した。なお、東京都と比較した当区の業況は3ポイント下回っている。

## 価格・在庫動向

料金価格 (9→5) はやや上昇傾向が弱まり、材料価格 (50→58) は大きく上昇傾向が強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 24 \rightarrow \Delta 16$ ) は大きく窮屈感が緩和し、借入難易度 ( $\Delta 10 \rightarrow \Delta 13$ ) はやや厳しさが強まった。今期借入をした企業は26%で前期の29%から3ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

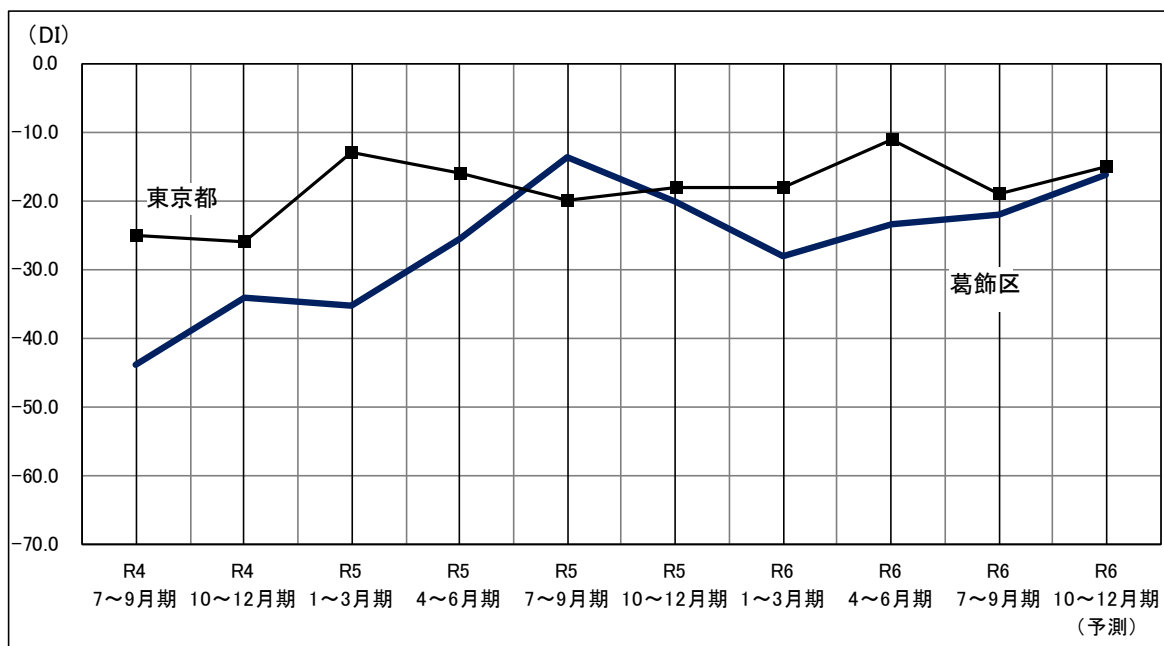
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が39%、2位は「人手不足」が37%、3位は「人件費の増加」が27%となり、「原材料価格・材料価格の上昇」が2位から4位となった。

重点経営施策は、1位は「経費を削減する」が38%、2位は「人材を確保する」が33%、3位は「販路を広げる」が25%となり、上位3位は前期同様となった。

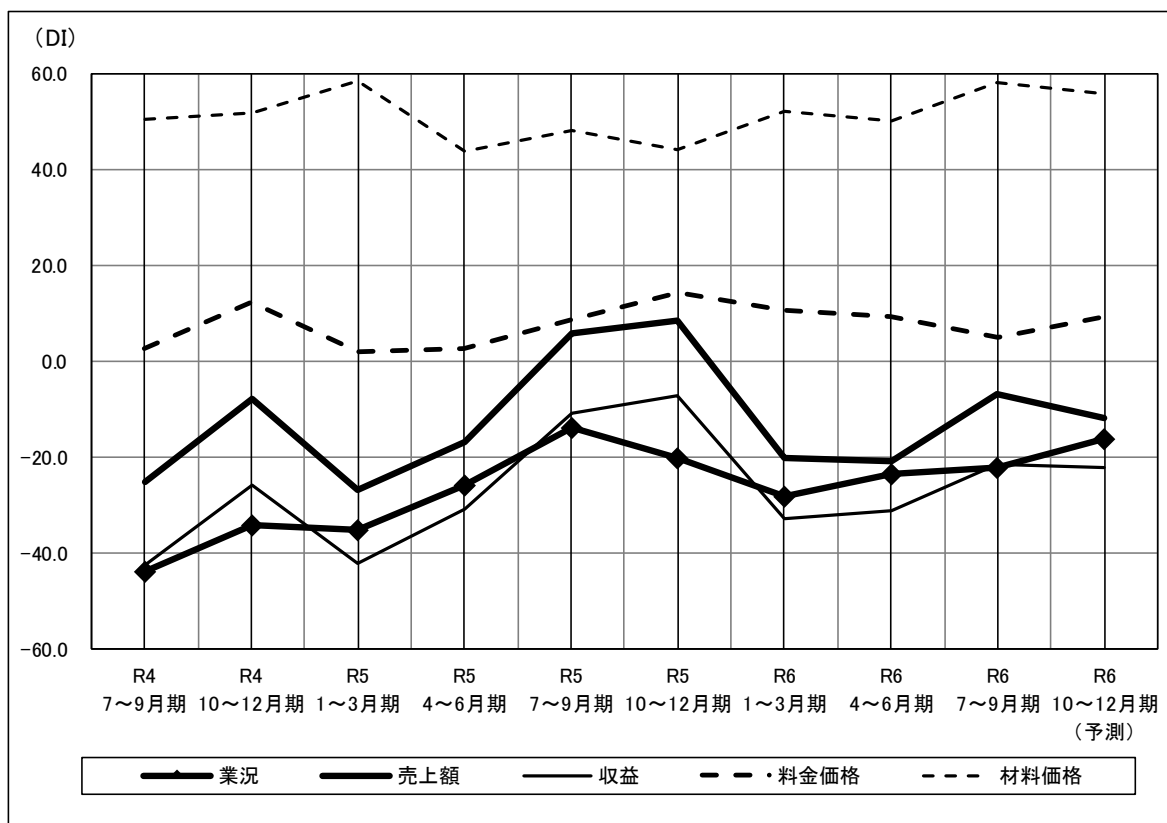
## 来期の見通し

業況 ( $\Delta 22 \rightarrow \Delta 16$ ) は大きく厳しさが和らいだ。売上額 ( $\Delta 7 \rightarrow \Delta 12$ ) はやや減少幅が拡大し、収益 ( $\Delta 21 \rightarrow \Delta 22$ ) は今期同様で推移すると予想されている。

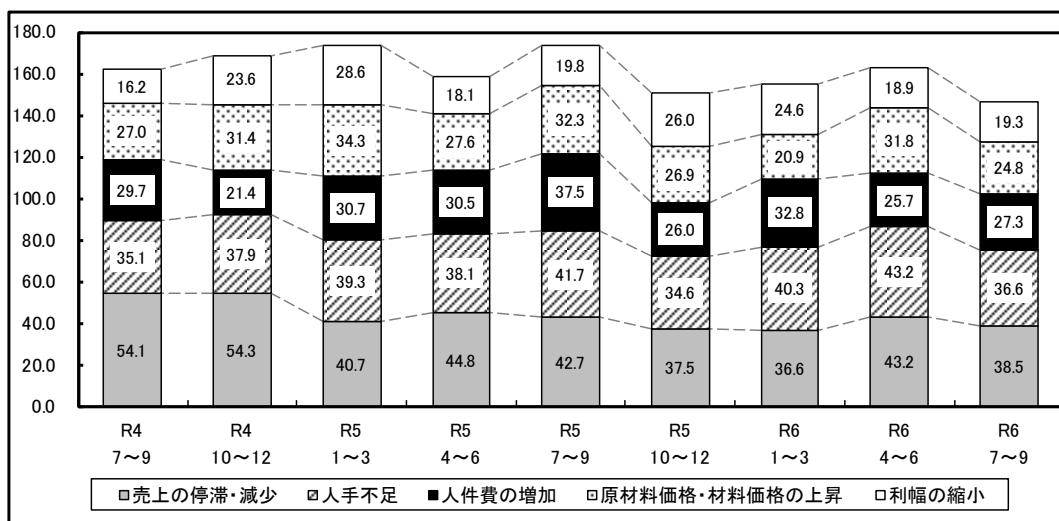
## 〈サービス業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



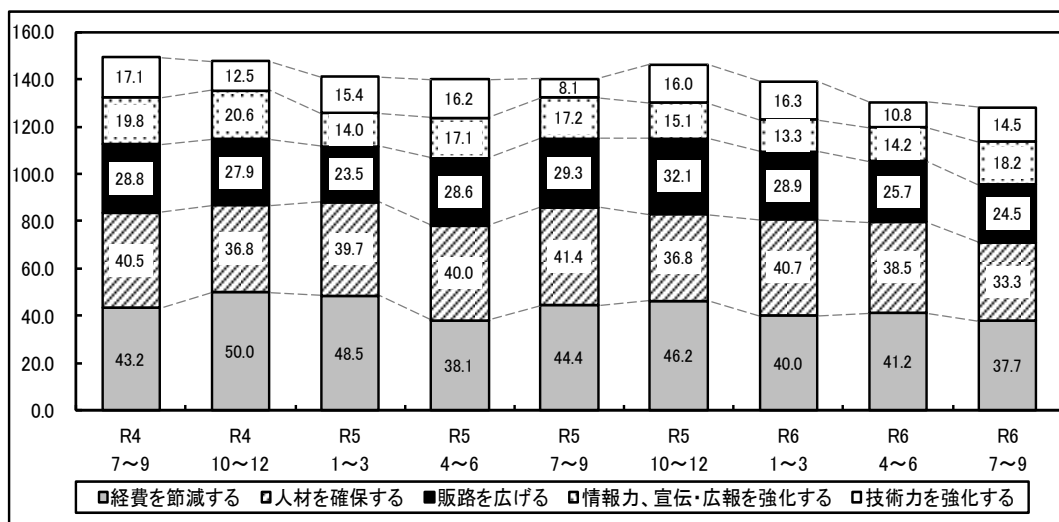
## 〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	売上停滞・減少	37.5 %	人手不足	40.3 %	売上停滞・減少 人手不足	43.2 %	売上停滞・減少	38.5 %
第2位	人手不足	34.6 %	売上停滞・減少	36.6 %	原材料価格・材料価格の上昇	31.8 %	人手不足	36.6 %
第3位	原材料価格・材料価格の上昇	26.9 %	人件費の増加	32.8 %	人件費の増加	25.7 %	人件費の増加	27.3 %
第4位	利幅の縮小	26.0 %	利幅の縮小	24.6 %	利幅の縮小	18.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	24.8 %
第5位	人件費以外の経費増加	22.1 %	人件費以外の経費増加	21.6 %	人件費以外の経費増加	16.9 %	利幅の縮小	19.3 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が45.8%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	経費を節減する	46.2 %	人材を確保する	40.7 %	経費を節減する	41.2 %	経費を節減する	37.7 %
第2位	人材を確保する	36.8 %	経費を節減する	40.0 %	人材を確保する	38.5 %	人材を確保する	33.3 %
第3位	販路を広げる	32.1 %	販路を広げる	28.9 %	販路を広げる	25.7 %	販路を広げる	24.5 %
第4位	技術力を強化する	16.0 %	技術力を強化する	16.3 %	情報力、宣伝・広報を強化する	14.2 %	情報力、宣伝・広報を強化する	18.2 %
第5位	情報力、宣伝・広報を強化する	15.1 %	情報力、宣伝・広報を強化する	13.3 %	労働条件を改善する	12.8 %	技術力を強化する	14.5 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が45.5%で最も多かった。(n数5以下除く)

## サービス業 業種別コメント

### <仕入・価格について>

1. 原料価格が高騰しているが、価格への転換が進まない
2. 仕入れ業者全般に価格が増加傾向にあるが、販売価格への転嫁は困難なので、利幅が圧縮されている
3. 売上は微増であるが、人件費・原材料費高騰により利益減
4. 遊技場のユーザーの減少が続いている。遊技台の販売方法がおかしいし、購入価格がかなり高騰している
5. 諸材料、人件費の高騰が経営に影響している
6. 光熱費、原材料の高騰のため、利益が上がりず経営が厳しく、また同業店が増えて差別化したいが難しい
7. 販売価格を上げて、材料費の値上げに追いつかない
19. 福祉業で国の制度、東京都の指定の事業なので収益は頭打ちになり人件費だけが年々上がっていく。収益は報酬改正で上がる年もあれば下がる年もある
20. コロナ禍より売上は戻りつつあるが、見通しは見えない。新規取引先が増えつつあるので大事にしたい
21. 増収傾向が頭打ちで、利幅の縮小の懸念高く、新規顧客の獲得と客単価の増大が課題
22. 宣伝広告が上手にいき、増収・増益となっている
23. 繁忙期と閑散期の売り上げ幅が大きく、経営が安定しないと感じる

### <受注・業況について>

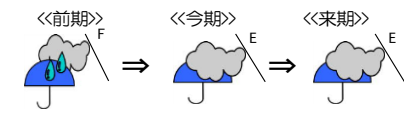
8. 売上は増加傾向、一方で、業務委託が増え、利益率が期待値を若干下回る
9. 介護業界全般的に停滞の様で、知り合いの居宅が閉鎖したりと不安になる。売上が伸びず、いつも頭が痛い
10. 大企業の進出により売上は減少傾向である
11. 固定資産税が減額されれば、増収増益が見込まれる
12. 売上が停滞しているにもかかわらず、経費の節減がはかれないため収益の減少から脱却できない
13. 受注は横ばいだが、受注増につながる要請はあるものの受注が出きず、現状では新規受注を断っている。工場内の作業環境や人手不足、人件費はこれ以上増やさない
14. 需要が落ち着いてしまった。猛暑、台風の影響で稼働率が低下した
15. 売上は少しずつですが上がっているにも関わらず、収益が減少傾向である。他社との競争の激化及び経費の増加（社会保険料等も含む）が収益の減少に関わっていると思う
16. コロナの余韻が出始め、受注、資金繰りに苦戦しています
17. 売上の減少と同業他社の出店による競争が厳しいこと
18. 需要が増え売上が立ってきた。前期営業をした成果がやっとでてきた
24. 仕事は増えておりますが人手不足です。技術が必要とする仕事です
25. 常に人手不足。労働時間の縮小をするにあたり、配車が大変
26. 国土交通省が標準的な運賃の告示制度を導入しましたが効果なし。このままでは人手不足による廃業も視野にはいりそう
27. 需要が増え、増収・増益が続いている反面、採用ができずに人手不足になっている
28. 短期離職が多く、人材不足になり売り上げが伸び悩んでいる
29. 慢性的な技術者不足が続いている。最近では技術系とは縁のない職種からの求人が増えてきており、一人前になるまでの技術教育費用が計算できないでいる
30. 採用ができずに人手不足、紹介・派遣の費用が増加

### <人材について>

### <その他>

31. 私達は、76才の老夫婦で、3年前に設備を整え借金も無く、経費もかからないため、儲からなくても体が動く内は、働こうと思います
32. 物価高騰緊急対策支援金はとても助かります。本年度もよろしく願いいたします
33. 業界全体の低迷と大型店舗による寡占化が進んでいる

# 建設業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況(△25→△18)は大きく厳しさが和らいだ。売上額(△24→△11)、施工高(△25→△8)、収益(△30→△12)はいずれも大きく減少幅が縮小した。

## 価格・在庫動向

請負価格(1→4)、材料価格(58→61)はともにやや上昇傾向が強まった。在庫(1→△1)は過剰から品薄に転じた。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り(△21→△23)はやや窮屈感が強まり、借入難易度(△5→△6)は前期並となった。今期借入をした企業は37%で前期の38%から1ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

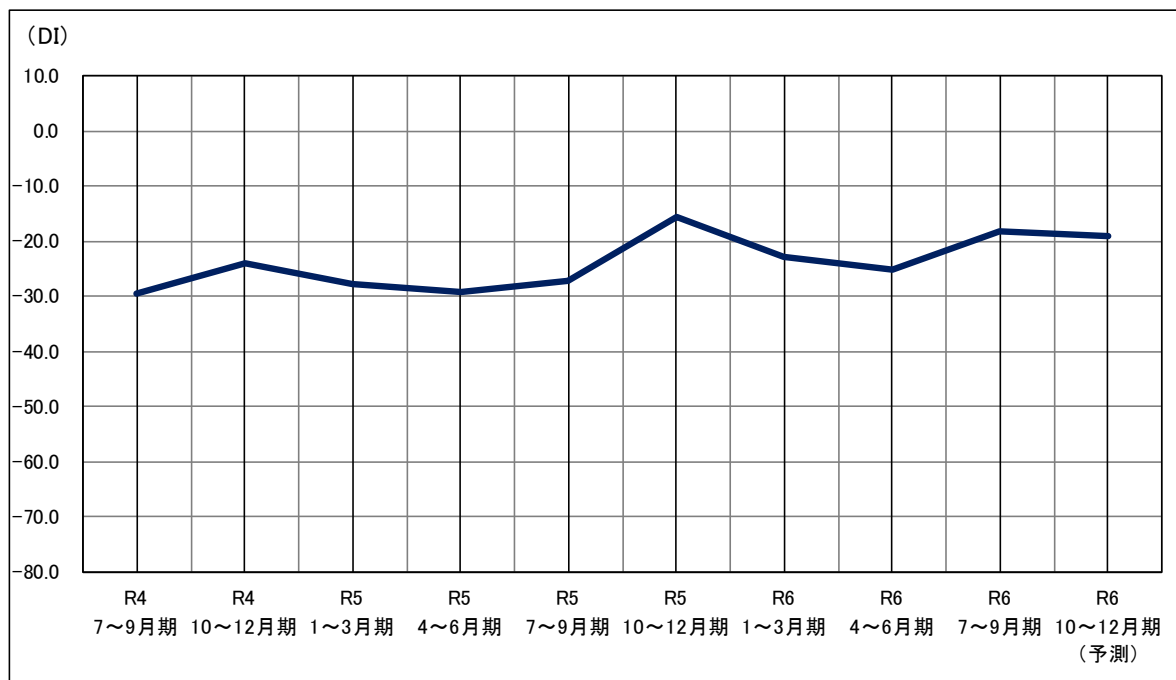
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が56%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が43%、3位は「売上の停滞・減少」が30%となり、上位3位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が57%、2位は「経費を節減する」が43%、3位は「技術力を強化する」が28%となり、上位3位は前期同様となった。

## 来期の見通し

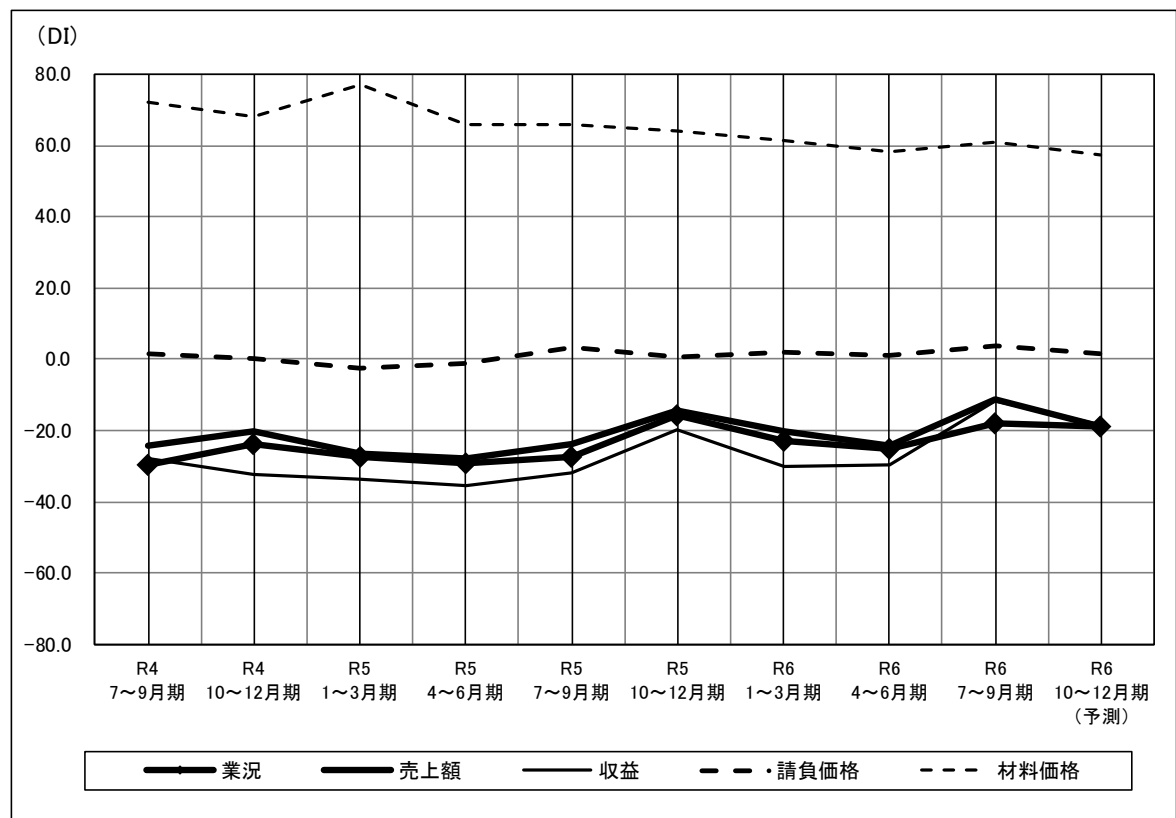
業況(△18→△19)は今期同様で推移する見込み。売上額(△11→△19)、収益(△12→△18)はともに大きく減少幅が拡大すると予想されている。

## 〈建設業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

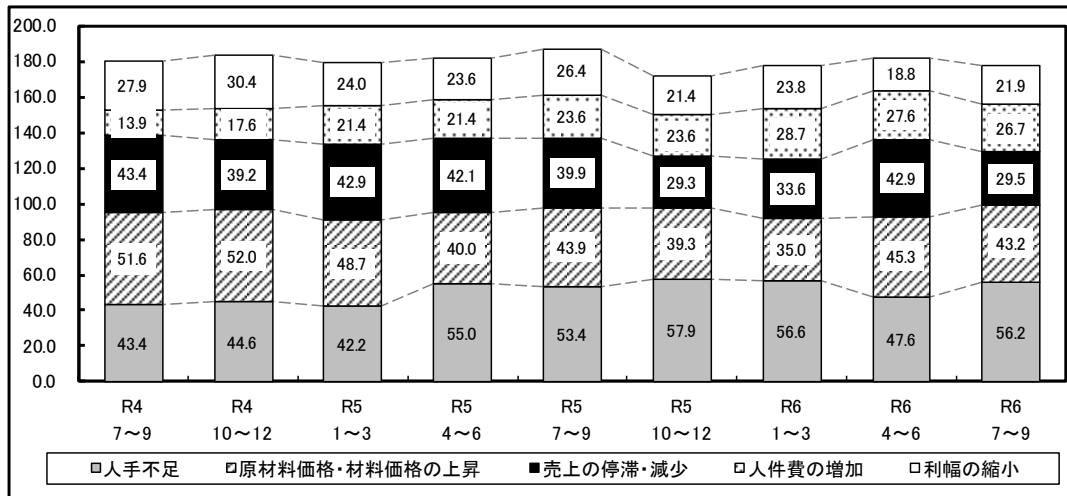


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、東京都の建設業の業況は表示していない。

## 〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



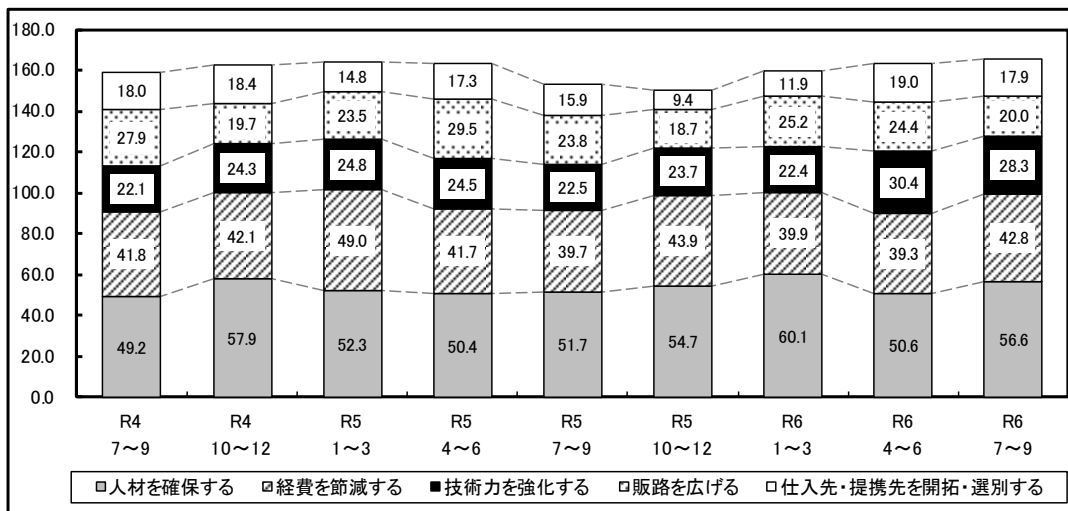
## 〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	人手不足	57.9 %	人手不足	56.6 %	人手不足	47.6 %	人手不足	56.2 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	39.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	35.0 %	原材料価格・材料価格の上昇	45.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	43.2 %
第3位	売上の停滞・減少	29.3 %	売上の停滞・減少	33.6 %	売上の停滞・減少	42.9 %	売上の停滞・減少	29.5 %
第4位	人件費の増加	23.6 %	人件費の増加	28.7 %	人件費の増加	27.6 %	人件費の増加	26.7 %
第5位	利幅の縮小	21.4 %	利幅の縮小	23.8 %	利幅の縮小	18.8 %	利幅の縮小	21.9 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「30人以上100人未満」が71.4%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	人材を確保する	54.7 %	人材を確保する	60.1 %	人材を確保する	50.6 %	人材を確保する	56.6 %
第2位	経費を節減する	43.9 %	経費を節減する	39.9 %	経費を節減する	39.3 %	経費を節減する	42.8 %
第3位	技術力を強化する	23.7 %	販路を広げる	25.2 %	技術力を強化する	30.4 %	技術力を強化する	28.3 %
第4位	販路を広げる 労働条件を改善する	18.7 %	技術力を強化する	22.4 %	販路を広げる	24.4 %	販路を広げる	20.0 %
第5位	教育訓練を強化する	12.2 %	労働条件を改善する	14.0 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	19.0 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	17.9 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「10人以上30人未満」が66.7%で最も多かった。(n数5以下除く)

# 建設業 業種別コメント

## ＜仕入・価格について＞

1. 工事単価が減少傾向である
2. 請負価格が変わらず、経費増額による利益減少が続いている
3. 仕事量の著しい増減はないものの、仕入れ材料の上昇による利益減が見られるようになった
4. 残土処分単価の度重なる値上げにより、見積時点と実際の工期時の原価が変動するので見積がしにくい
5. 業界の過剰設備投資により価格面も含め競争が激化している
6. 請負金額は上昇しているが、まだまだ仕入価格の上昇が止まらないので、経営は苦しい
7. 建設現場が少なく買い手市場になっており施工費も低迷したままの状態が続いている
8. 人件費、原材料費が高騰している中、発注先への請求に価格転嫁できない。募集しても人材が来ない

## ＜受注・業況について＞

9. 取引先、個人の顧客の景気悪化による受注の減少、内容の縮小による売上、収益の減少となっている
10. 2期連続赤字だったが、今期は改善の見込み
11. 大型物件の工期変更により、10・11月が手薄になり1月からが多忙になるような感
12. 元請1社からの受注率95%なので元請の受注減
13. 元請による受注は変わらないているが、下請に対しては得意先の高齢化や廃業により受注の減少が心配される
14. 売上は順調に伸びているが、材料、経費、人件費等が上がっているので利益が薄い
15. 人手不足に対応する新工法等により受注の減少
16. 受注基盤が安定しているが、新人の成長と売上の増加の速度に差があるため、受注に制限をせざるを得ない
17. 現在のところ市場は好景気に感じるが利益率はそれほど上がっていない。今期後半から来期にかけて受注を増やすべく努力が必要
18. ここ1年ほどは改修より大型マンションの新築物件の受注が増えたため売上も安定している
19. 町場工事（個人宅等）が受注メインのため、安定性に欠ける。一時的に受注集中すると人材不足が露呈する。世の中の物価高騰の影響が考えられる

## ＜人材について＞

20. 雇用しても長続きせず辞めてしまう。転職した先を訊くと建設以外や飲食など
21. 受注に対して人員不足で請けきれていない
22. 受注増の中、人手の確保が困難である
23. 人手不足で外注に頼る事が多く、資金繰りに苦労している
24. 土木現場職人ベテラン1名入社しまして大変助かっています。更に追加増員を計画。売上に直結のため
25. 人手不足により受注（入札）を控えることがあった。職種的に（土木作業員）若い人材の確保が困難である
26. 労働者のキャパシティに限界があり、その限界を超えるためには作業時間の延長が必要。人手不足と時短が問題
27. 2023年よりは2024年は良くなりつつあるが、2025年は平均維持することが厳しい戦いにはなる事が現実で、対策費に経費が掛かりつつある。戦略的にスペシャリスト人材雇用が大事だと考えています
28. 仕事量は微増も人材不足で断るものもある。仕事量の割に売上利益の減少が続いている
29. 作業員の高齢化により定年退職者が増加する中、新規採用に苦戦している。また、外国人実習生、特定技能生を8名雇用しているが、現行制度での特定技能2号への移行試験の難易度（日本語）が高く更新出来ない例が多々あり、技術的に優秀な人材をみすみす帰国させざるを得ない事例がある
30. 管理者が不足している現状
31. 需要はあるものの人手不足、また施工手間と施工単価の釣り合いが取れていない
32. 大型案件を受注できましたが工事が輻輳し始めて人手不足になるかも
33. 前期と比べ、何も変わらない売り上げ、損益であった。ただし、建設業という理由からか人員の不足は続いている

## ＜その他＞

34. 取引先の会社が、だんだん高齢化が進み、やめていく会社が多くなってきた
35. 既存のインフラ事業が縮小、他の販路を広げるしかない



# 不動産業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況(△19→△12)は大きく厳しさが和らいだ。売上額(△15→△11)はやや減少幅が縮小し、収益(△18→△18)は前期並となった。

## 価格・在庫動向

販売価格(2→3)は前期並となり、仕入価格(36→21)は大きく上昇傾向が弱まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り(△13→△10)はやや窮屈感が緩和した。借入難易度(△11→△12)は前期並となった。今期借入をした企業は19%で前期の17%から2ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

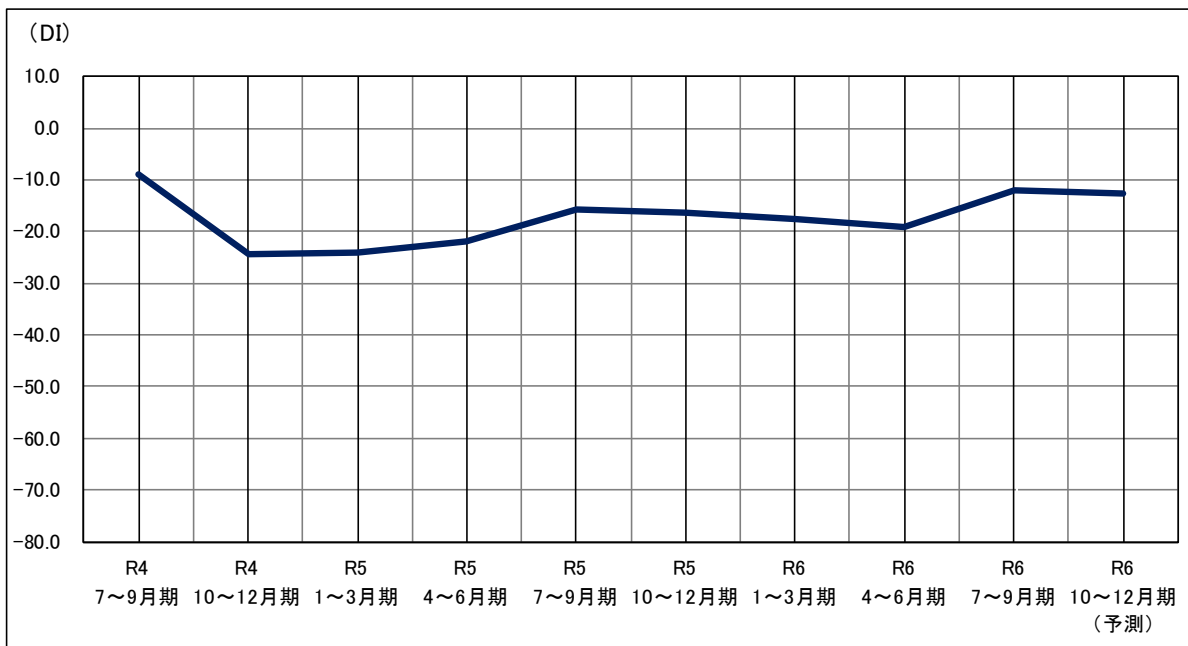
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が24%、2位は「同業者間の競争の激化」が22%、3位は「利幅の縮小」が19%となり、「同業者間の競争の激化」が4位から2位となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が29%、2位は「不動産の有効活用を図る」が28%、3位は「情報力、宣伝・広報を強化する」が24%となり、3位と4位が入れ替わった。

## 来期の見通し

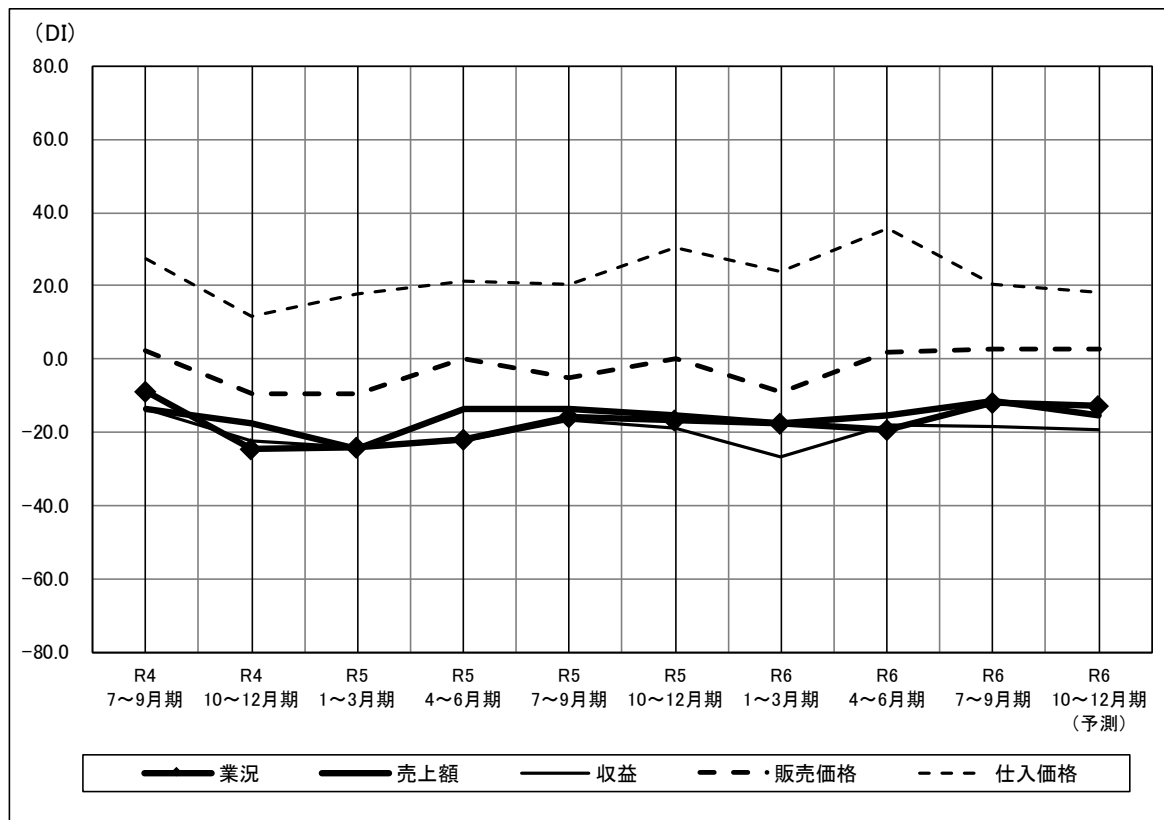
業況(△12→△13)は今期同様で推移する見込み。売上額(△11→△15)、収益(△18→△20)はともにやや減少幅が拡大すると予想されている。

## 〈不動産業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

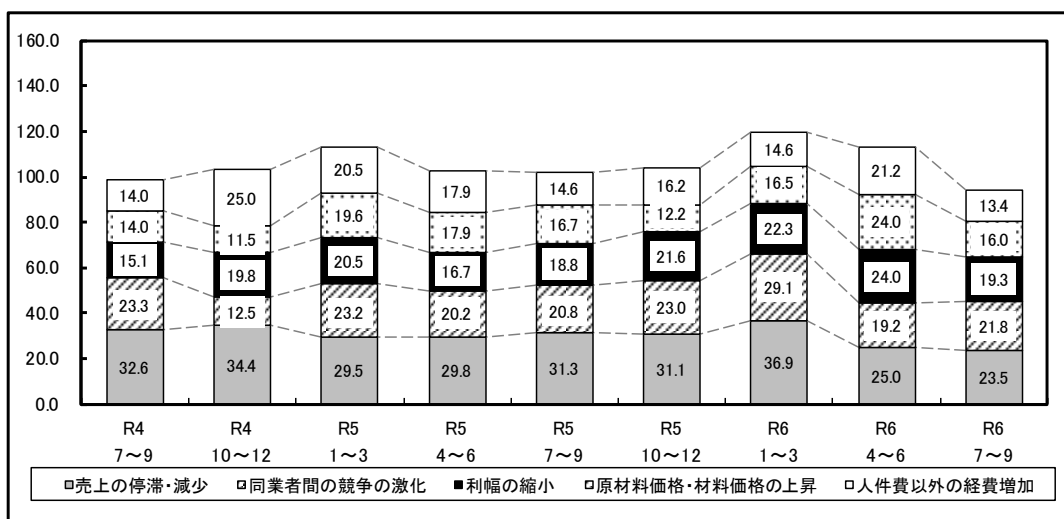


※ 東京都の景況調査では不動産業の調査は実施されていないため、東京都の不動産業の業況は表示していない。

## 〈不動産業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



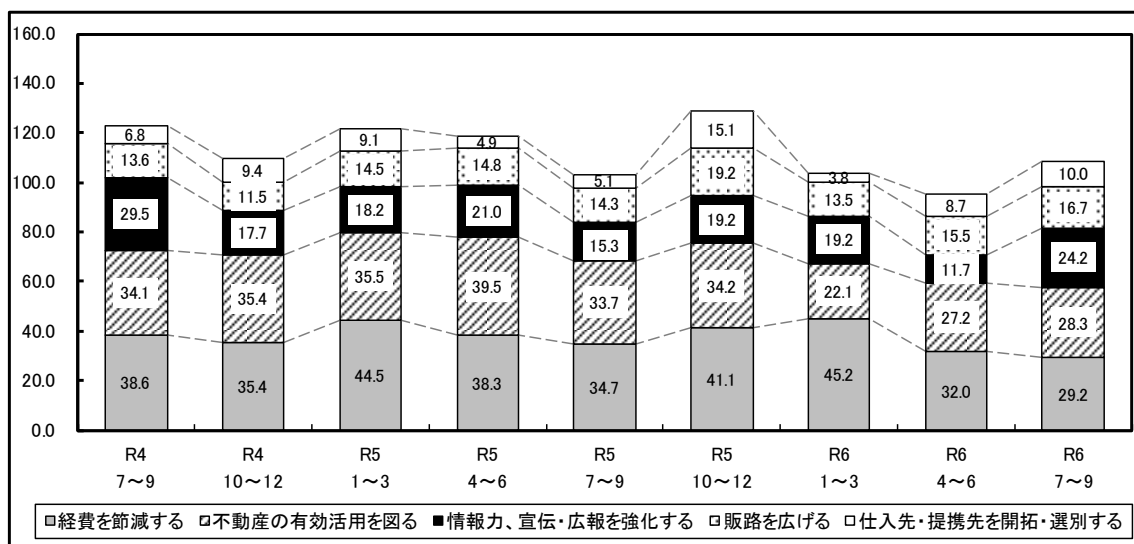
## 〈不動産業〉 経営上の問題点 (%)



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	売上停滞・減少	31.1 %	売上停滞・減少	36.9 %	売上停滞・減少	25.0 %	売上停滞・減少	23.5 %
第2位	同業者間の競争の激化	23.0 %	同業者間の競争の激化	29.1 %	利幅の縮小 原材料価格・材料価格の上昇	24.0 %	同業者間の競争の激化	21.8 %
第3位	利幅の縮小	21.6 %	利幅の縮小	22.3 %	人件費以外の経費増加	21.2 %	利幅の縮小	19.3 %
第4位	人件費以外の経費増加	16.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	16.5 %	同業者間の競争の激化	19.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	16.0 %
第5位	原材料価格・材料価格の上昇	12.2 %	人件費以外の経費増加	14.6 %	販売商品の不足	6.7 %	人件費以外の経費増加	13.4 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が28.6%で最も多かった。(n数5以下は除く)

## 〈不動産業〉 重点経営施策 (%)



	R5.10~12月期		R6.1~3月期		R6.4~6月期		R6.7~9月期	
第1位	経費を節減する	41.1 %	経費を節減する	45.2 %	経費を節減する	32.0 %	経費を節減する	29.2 %
第2位	不動産の有効活用を図る	34.2 %	不動産の有効活用を図る	22.1 %	不動産の有効活用を図る	27.2 %	不動産の有効活用を図る	28.3 %
第3位	販路を広げる	19.2 %	情報力、宣伝・広報を強化する	19.2 %	販路を広げる	15.5 %	情報力、宣伝・広報を強化する	24.2 %
第4位	仕入先・提携先を開拓・選別する	15.1 %	販路を広げる	13.5 %	情報力、宣伝・広報を強化する	11.7 %	販路を広げる	16.7 %
第5位	店舗・設備を改装する	9.6 %	新しい事業を始める	8.7 %	店舗・設備を改装する	9.7 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	10.0 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が29.2%で最も多かった。(n数5以下は除く)

# 不動産業 業種別コメント

## ＜仕入・価格について＞

1. 賃料収入があり、比較的安定している。仕入原材料は高騰しており、収益は減少傾向
2. 材料価格の上昇で利益があがらない。光熱費も上昇して経費がかかってしまう
3. 不動産業で設備の維持管理費用が増加しているため利幅の縮小が生じ続けている
4. 管理物件の老朽化により経費が増大している
5. 電気代、修繕部品の値上がりが収益減につながっている
6. 原材料の高騰で建築、リフォーム費用に影響が大きく出ている
7. 主力商品である不動産の仕入れが難しい状況と予想される
8. 売り上げは微増ですが、経費も増加傾向にある

## ＜受注・業況について＞

9. お客様の動きが少なくなった（物価高騰により住み替え需要が少なくなった？）
10. 消費者の購買力減少により、販価減少・低下
11. 不動産業は安定しているが新紙幣対応の自動販売機の交換が高額のためできず、たばこ販売から撤退のため今後の売上が減少する
12. テナントが安定しているため出入りもなく無難に過ごしている。ただ今後老朽化に伴いリフォーム代がかかると予想される
13. 弊社は管理が主体のため、特に変化は無い
14. 貸ビル（テナント）業につき、テナントの増減無く、当面問題なしと考える
15. 近隣にワンルームマンションが次々と建築されている
16. コロナ前の水準に戻りつつある
17. 大手の進出、フランチャイズ店の進出が多く、管理物件等は減少していく
18. アパート経営、新築の物件が増え対応に苦慮
19. 顧客次第の事業なため景気の影響が大きいので、様々な準備をしています
20. 入居者が少しずつ減ってきています。コロナ禍でリモートワークが増えたためでしょうか
21. 租税公課、社会保険料負担の増加により新規事業への投資を控えざるを得ない
22. 上場企業と契約している。条件は決まっている。税金が上がると収益は減るが、致し方なし
23. 不動産契約は長期にわたるため、収益は安定しているが、建物等の老朽化による修繕費等の増加が見込まれる

24. 需要はあるが価格競争が厳しく、差別化への設備投資が課題である
25. 事業規模がもともと小さいため、特に変化がないという状況です
26. このところの各種風潮からか、しっかりメンテナンスしてあれば、築年数が古くてもその分家賃が低廉なので、おかげさまで空室が出来ても早めに埋まる傾向にある

## ＜人材について＞

27. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている
28. 仕事を作ることができるが、人手不足と採用しても仕事を覚える意欲の欠如した人が年々増加して一人前に育てることができない。教育の問題か？

## ＜その他＞

29. 消費税やインボイス制度等、国民の意志と逆行する政策が次々と実施される中で諸物価高騰現象が加わり、中小零細会社はかなり厳しい環境にある。不動産業に於いても大手企業の川上から川下までの顧客の囲い込み施策が強化され、中小の生き残りは厳しさを増している。国への公的支出が軽減される事を望む
30. 一括借上物件更新（20年）。室内（トイレウォシュレット）照明、システムキッチン含む（換気扇）、全取り替えて一部屋（110万）くらいかかる
31. ホームページからの売却反響を得る事を考えているが、前回（数年前）に依頼したホームページ業者が最悪だったため、今自分でもマーケティングの勉強などを行っている最中である
32. 賃貸不動産（アパート）の老朽化が厳しい
33. 周辺の相続による駐車場減少により、満車となる
34. 空室対策として、アパート室内設備を市場ニーズに合わせて改修し、満室経営を維持するための改修費用の上昇に伴い投資への回収期間が延びている

# 日 金 矢 豆 観

[調査対象企業数]

調査対象企業数

(2024年9月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,763社	5,275社	9,038社	99.2%
うち大企業	916社	814社	1,730社	99.1%
中堅企業	1,054社	1,522社	2,576社	99.4%
中小企業	1,793社	2,939社	4,732社	99.2%

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

	2023年度			2024年度		
		上期	下期		上期	下期
円/ドル	2024年6月調査	141.58	139.40	143.76	144.77	144.96
	2024年9月調査	—	—	—	145.15	146.00
円/ユーロ	2024年6月調査	152.06	149.48	154.65	155.40	155.61
	2024年9月調査	—	—	—	157.07	157.79

[業況判断]

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	2024年6月調査		2024年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>大企業</b>						
製造業	13	14	13	0	14	1
非製造業	33	27	34	1	28	-6
全産業	22	20	23	1	21	-2
<b>中堅企業</b>						
製造業	8	7	8	0	9	1
非製造業	22	16	23	1	16	-7
全産業	16	12	16	0	13	-3
<b>中小企業</b>						
製造業	-1	0	0	1	0	0
非製造業	12	8	14	2	11	-3
全産業	7	5	8	1	6	-2
<b>全規模合計</b>						
製造業	5	6	5	0	6	1
非製造業	19	13	20	1	15	-5
全産業	12	10	14	2	11	-3

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2023年度		2024年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	3.4	—	2.7	0.2
	国内	3.7	—	2.2	-0.2
	輸出	2.9	—	3.7	1.1
	非製造業	1.0	—	2.7	0.2
中堅企業	全産業	2.0	—	2.7	0.2
	製造業	2.2	—	3.7	1.0
	非製造業	4.4	—	2.4	0.2
中小企業	全産業	3.7	—	2.8	0.4
	製造業	2.6	—	1.7	0.3
	非製造業	4.4	—	1.0	1.1
全規模合計	全産業	4.0	—	1.2	0.9
	製造業	3.0	—	2.7	0.4
	非製造業	3.0	—	2.1	0.5
	全産業	3.0	—	2.3	0.5

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2024年6月調査		2024年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>中小企業</b>							
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-20	-19	-20	0	-20	0
	うち素材業種	-24	-24	-24	0	-24	0
	加工業種	-18	-17	-17	1	-17	0
	非製造業	-9	-10	-8	1	-9	-1
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-16	-14	-17	-1	-16	1
	うち素材業種	-21	-21	-23	-2	-23	0
	加工業種	-13	-9	-13	0	-11	2
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	16	17	18	2	18	2
	うち素材業種	17	17	20	3	20	3
	加工業種	16	17	17	1	17	1
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	17	17	18	1	18	1
	うち素材業種	21	21	23	2	23	2
	加工業種	14	14	15	1	15	1
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	30	37	29	-1	32	3
	うち素材業種	35	38	28	-7	29	1
	加工業種	28	36	29	1	35	6
	非製造業	28	33	26	-2	29	3
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	61	62	57	-4	56	-1
	うち素材業種	60	59	49	-11	48	-1
	加工業種	63	64	62	-1	61	-1
	非製造業	55	58	53	-2	55	2

# 東京都・葛飾区の企業倒産動向

出典：(株) 東京商工リサーチ

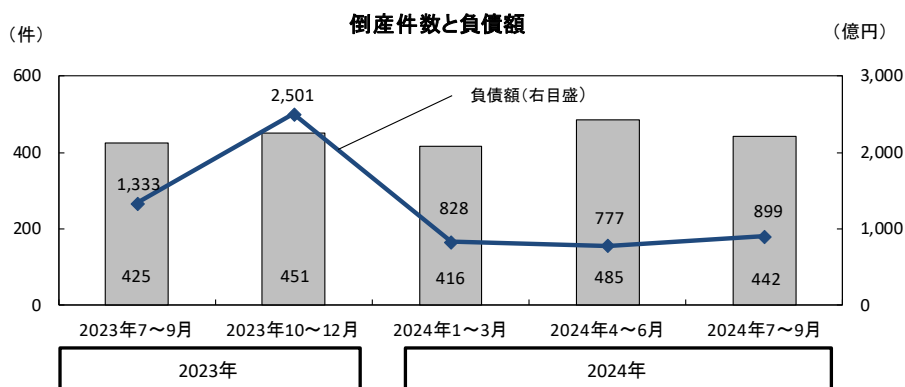
## 「東京都」の企業倒産動向について（2024年7～9月）

### 1. 概況

東京都内の企業倒産は、件数が442件、負債額は899億5,100万円となった。件数は前期比8.9%減、前年同期比4.0%増となった。負債額は前期比15.7%増、前年同期比32.5%減となった。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2023年7～9月	2024年4～6月	2024年7～9月		
件数(単位:件)	425	485	442	-8.9%	4.0%
負債額(単位:百万円)	133,343	77,767	89,951	15.7%	-32.5%



### 2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2023年7～9月	2024年4～6月	2024年7～9月		
製造業	32	22	35	59.1%	9.4%
卸売業	58	94	70	-25.5%	20.7%
小売業	34	43	45	4.7%	32.4%
サービス業	107	118	102	-13.6%	-4.7%
建設業	46	54	54	0.0%	17.4%
不動産業	26	19	18	-5.3%	-30.8%
情報通信業・運輸業	62	71	70	-1.4%	12.9%
宿泊業・飲食サービス業	40	37	30	-18.9%	-25.0%
その他	20	27	18	-33.3%	-10.0%
合計	425	485	442	-8.9%	4.0%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2023年7～9月	2024年4～6月	2024年7～9月		
製造業	4,649	7,387	29,761	302.9%	540.2%
卸売業	10,035	9,951	13,018	30.8%	29.7%
小売業	4,387	11,545	2,053	-82.2%	-53.2%
サービス業	37,485	12,611	13,096	3.8%	-65.1%
建設業	5,369	6,052	5,712	-5.6%	6.4%
不動産業	6,539	2,861	6,827	138.6%	4.4%
情報通信業・運輸業	6,883	10,113	5,859	-42.1%	-14.9%
宿泊業・飲食サービス業	20,588	4,347	10,829	149.1%	-47.4%
その他	37,408	12,900	2,796	-78.3%	-92.5%
合計	133,343	77,767	89,951	15.7%	-32.5%

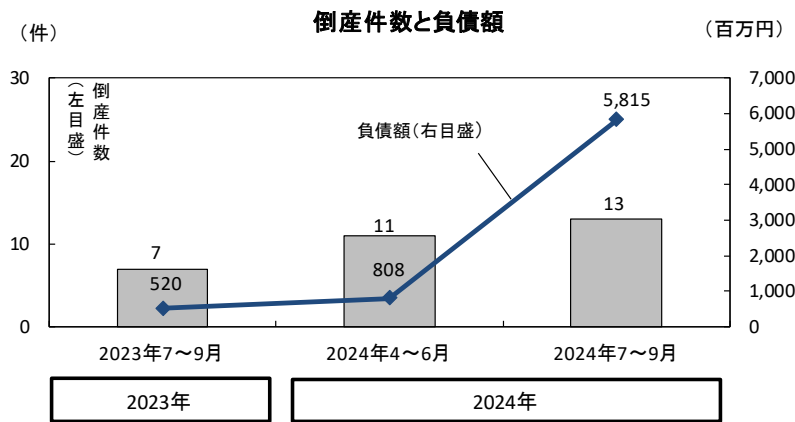
# 「葛飾区」の企業倒産動向について（2024年7～9月）

## 1. 概況

葛飾区内の企業倒産は、件数が13件、負債額は58億円となった。件数は前期比18.2%増、前年同期比85.7%増となった。負債額は前期比619.7%増、前年同期比1018.3%増となった。業種別の負債額では、不動産業、建設業で大幅に増加した。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期		
	2023年7～9月	2024年4～6月	2024年7～9月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	7	11	13	18.2%	85.7%
負債額(単位:百万円)	520	808	5,815	619.7%	1018.3%



## 2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2023年7～9月	2024年4～6月	2024年7～9月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	4	1	4	300.0%	0.0%
卸売業	1	2	0	-100.0%	-100.0%
小売業	1	1	4	300.0%	300.0%
サービス業	0	1	0	-100.0%	-
建設業	1	3	3	0.0%	200.0%
不動産業	0	1	1	0.0%	-
情報通信業・運輸業	0	0	0	-	-
宿泊業・飲食サービス業	0	2	1	-50.0%	-
その他	0	0	0	-	-
合計	7	11	13	18.2%	85.7%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2023年7～9月	2024年4～6月	2024年7～9月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	430	20	160	700.0%	-62.8%
卸売業	10	190	0	-100.0%	-100.0%
小売業	30	20	88	340.0%	193.3%
サービス業	0	55	0	-100.0%	-
建設業	50	453	1,409	211.0%	2718.0%
不動産業	0	10	4,108	40980.0%	-
情報通信業・運輸業	0	0	0	-	-
宿泊業・飲食サービス業	0	60	50	-16.7%	-
その他	0	0	0	-	-
合計	520	808	5,815	619.7%	1018.3%

### 3. 地域別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2023年7~9月	2024年4~6月	2024年7~9月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	2	0	0	-	-100.0%
奥戸	1	1	0	-100.0%	-100.0%
お花茶屋	0	1	0	-100.0%	-
金町	0	1	0	-100.0%	-
鎌倉	0	0	0	-	-
亀有	0	1	0	-100.0%	-
小菅	1	0	1	-	0.0%
柴又	1	0	0	-	-100.0%
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	0	1	1	0.0%	-
高砂	0	2	0	-100.0%	-
宝町	0	0	1	-	-
立石	0	0	1	-	-
新宿	0	0	0	-	-
西亀有	0	0	0	-	-
西新小岩	0	0	1	-	-
西水元	1	0	1	-	0.0%
東金町	0	1	0	-100.0%	-
東新小岩	0	2	2	0.0%	-
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	0	0	0	-	-
堀切	1	0	2	-	100.0%
水元	0	0	1	-	-
南水元	0	0	2	-	-
四つ木	0	1	0	-100.0%	-
合計	7	11	13	18.2%	85.7%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2023年7~9月	2024年4~6月	2024年7~9月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	80	0	0	-	-100.0%
奥戸	236	346	0	-100.0%	-100.0%
お花茶屋	0	55	0	-100.0%	-
金町	0	20	0	-100.0%	-
鎌倉	0	0	0	-	-
亀有	0	40	0	-100.0%	-
小菅	12	0	30	-	150.0%
柴又	10	0	0	-	-100.0%
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	0	10	20	100.0%	-
高砂	0	107	0	-100.0%	-
宝町	0	0	10	-	-
立石	0	0	28	-	-
新宿	0	0	0	-	-
西亀有	0	0	0	-	-
西新小岩	0	0	20	-	-
西水元	102	0	10	-	-90.2%
東金町	0	90	0	-100.0%	-
東新小岩	0	120	65	-45.8%	-
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	0	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	0	0	0	-	-
堀切	80	0	130	-	62.5%
水元	0	0	69	-	-
南水元	0	0	5,433	-	-
四つ木	0	20	0	-100.0%	-
合計	520	808	5,815	619.7%	1018.3%



# 東京都・葛飾区の新設法人

出典：(株) 東京商工リサーチ

※新設法人数はデータ収集の関係により 1 四半期前の情報を掲載

## 「東京都」の新設法人について (2024 年 4~6 月)

### 1. 概況

2024 年 4~6 月の東京都内の新設法人数は 12,046 件で、前期比 3.7%増、前年同期比 2.7%増となった。業種別では、卸売業、小売業、サービス業、不動産業、宿泊業・飲食サービス業で前期比・前年同期比ともに増となった。

### 2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2023年4~6月	前期 2024年1~3月	当期 2024年4~6月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	698	625	622	-0.5%	-10.9%
卸売業	576	578	605	4.7%	5.0%
小売業	835	798	892	11.8%	6.8%
サービス業	3,962	3,832	4,186	9.2%	5.7%
建設業	523	425	483	13.6%	-7.6%
不動産業	1,161	1,106	1,220	10.3%	5.1%
情報通信業・運輸業	2,046	2,041	2,030	-0.5%	-0.8%
宿泊業,飲食サービス業	722	763	788	3.3%	9.1%
その他	1,210	1,445	1,220	-15.6%	0.8%
合計	11,733	11,613	12,046	3.7%	2.7%

## 「葛飾区」の新設法人について (2024 年 4~6 月)

### 1. 概況

2024 年 4~6 月の葛飾区内の新設法人数は 177 件で前期比 17.2%増、前年同期比 6.6%増となった。業種別では、製造業、卸売業、小売業、不動産業、情報通信業・運輸業が前年同期比増となった。地域別では、お花茶屋、亀有、新小岩、西水元、東堀切、東四つ木、細田、堀切、水元で前期比・前年同期比ともに増となった。

### 2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2023年4~6月	前期 2024年1~3月	当期 2024年4~6月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	7	9	9	0.0%	28.6%
卸売業	15	14	29	107.1%	93.3%
小売業	17	16	22	37.5%	29.4%
サービス業	53	33	37	12.1%	-30.2%
建設業	21	16	14	-12.5%	-33.3%
不動産業	11	13	13	0.0%	18.2%
情報通信業・運輸業	14	24	27	12.5%	92.9%
宿泊業,飲食サービス業	16	13	11	-15.4%	-31.3%
その他	12	13	15	15.4%	25.0%
合計	166	151	177	17.2%	6.6%

### 3. 地域別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2023年4~6月	前期 2024年1~3月	当期 2024年4~6月	比率	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	10	4	9	125.0%	-10.0%
奥戸	14	3	8	166.7%	-42.9%
お花茶屋	2	1	3	200.0%	50.0%
金町	8	6	3	-50.0%	-62.5%
鎌倉	4	2	4	100.0%	0.0%
亀有	11	11	14	27.3%	27.3%
小菅	2	5	1	-80.0%	-50.0%
柴又	6	5	2	-60.0%	-66.7%
白鳥	1	3	3	0.0%	200.0%
新小岩	10	12	16	33.3%	60.0%
高砂	7	7	6	-14.3%	-14.3%
宝町	1	2	2	0.0%	100.0%
立石	7	6	7	16.7%	0.0%
新宿	5	6	4	-33.3%	-20.0%
西亀有	3	6	5	-16.7%	66.7%
西新小岩	8	9	9	0.0%	12.5%
西水元	5	2	6	200.0%	20.0%
東金町	12	18	16	-11.1%	33.3%
東新小岩	13	16	14	-12.5%	7.7%
東立石	5	6	2	-66.7%	-60.0%
東堀切	1	4	7	75.0%	600.0%
東水元	4	0	2	-	-50.0%
東四つ木	1	2	4	100.0%	300.0%
細田	3	1	4	300.0%	33.3%
堀切	12	6	13	116.7%	8.3%
水元	2	4	11	175.0%	450.0%
南水元	2	2	0	-100.0%	-100.0%
四つ木	7	2	2	0.0%	-71.4%
合計	166	151	177	17.2%	6.6%

### 4. 代表者性別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2023年4~6月	前期 2024年1~3月	当期 2024年4~6月	比率	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
男性	148	127	149	17.3%	0.7%
女性	18	24	27	12.5%	50.0%
法人	0	0	1	-	-
不明	0	0	0	-	-
合計	166	151	177	17.2%	6.6%

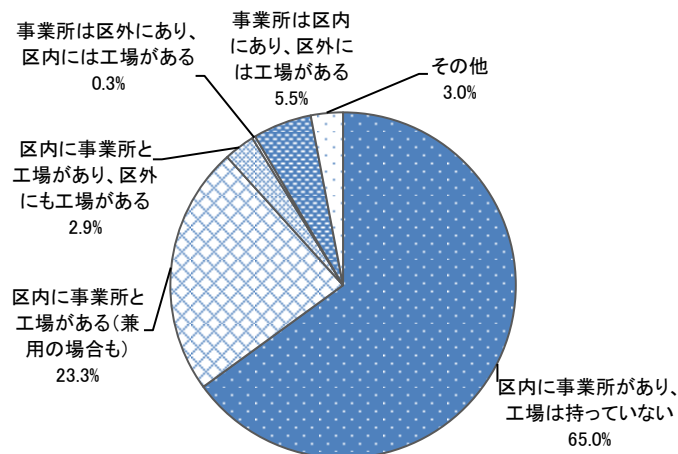
## 特別調査「事業所・工場の建替えや移転について」

- ① 区内の事業所・工場の有無については、「区内に事業所があり、工場は持っていない」が65.0%で最多。
- ② 事業所の問題や課題については、「建物の老朽化」が26.3%で最多。（特にない：60.0%除く）  
工場の問題や課題については、「建物の老朽化」が45.5%で最多。
- ③ 事業所の問題や課題への対応については、「建物の修繕・建替え」が32.3%で最多。（考えていない、わからない：43.3%除く）  
工場の問題や課題への対応については、「建物の修繕・建替え」が40.9%で最多。
- ④ 事業所の区外移転を考える理由については、「土地・建物の面積を十分に確保できる」が48.1%で最多。  
工場の区外移転を考える理由については、「賃料等の費用面」及び「土地・建物の面積を十分に確保できる」が57.1%（同率）で最多。

### 問1. 葛飾区内に事業所（事務所）や工場（作業場所）はありますか（〇は1つのみ）

区内の事業所・工場の有無については、全体では「区内に事業所があり、工場は持っていない」が65.0%で最も高く、次いで「区内に事業所と工場がある（兼用の場合も）」が23.3%、「事業所は区内にあり、区外には工場がある」が5.5%となった。

業種別にみると、製造業を除く全ての業種で「区内に事業所があり、工場は持っていない」が最も高くなっている。製造業では「区内に事業所と工場がある（兼用の場合も）」が71.4%で最も高くなっている。

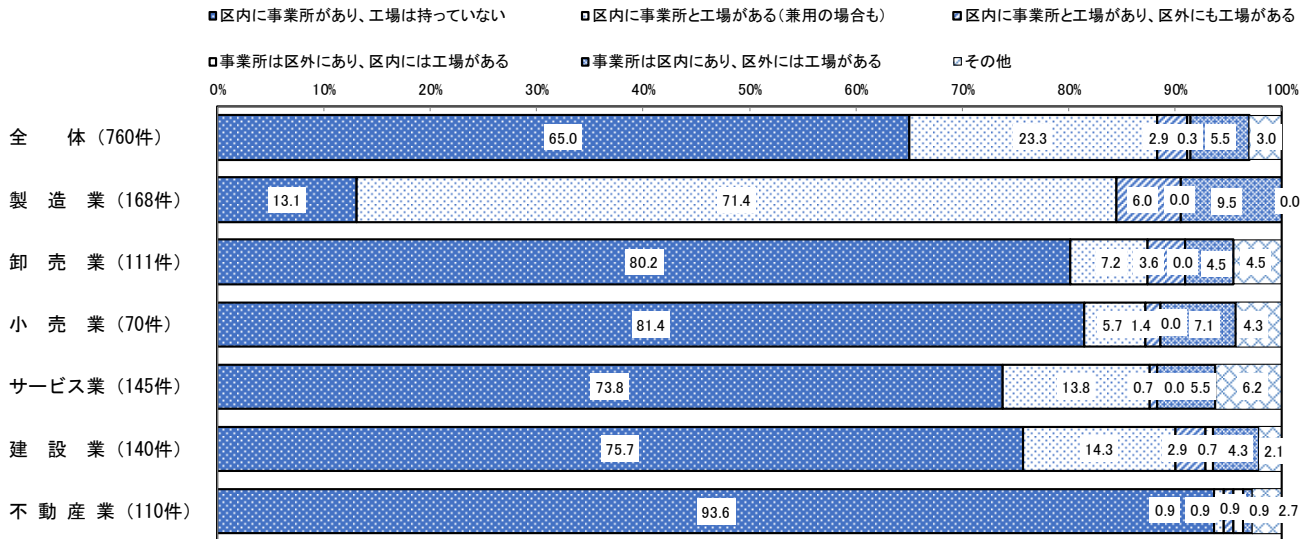


n=760

#### 【その他の意見】

- なし。本店のみ。（卸売業）
- 店舗（整体院）。（サービス業）
- 区外に事業所。（サービス業）
- 事業所は区外にあり、区外に工場がある。（サービス業）
- 事業所は港区。事務は勝浦でしている。（サービス業）
- 葛飾区に本社があり、事業所は三郷市にある。（サービス業）
- 本店は葛飾区で事業所は中央区。（サービス業）
- 両方とも無し。（建設業）
- 本店は自宅の一部。（不動産業）
- 現住所（個所のみ）。（不動産業）
- 事業所は区外にあり、区内にはない（2024年4月に移転済）。（不動産業）

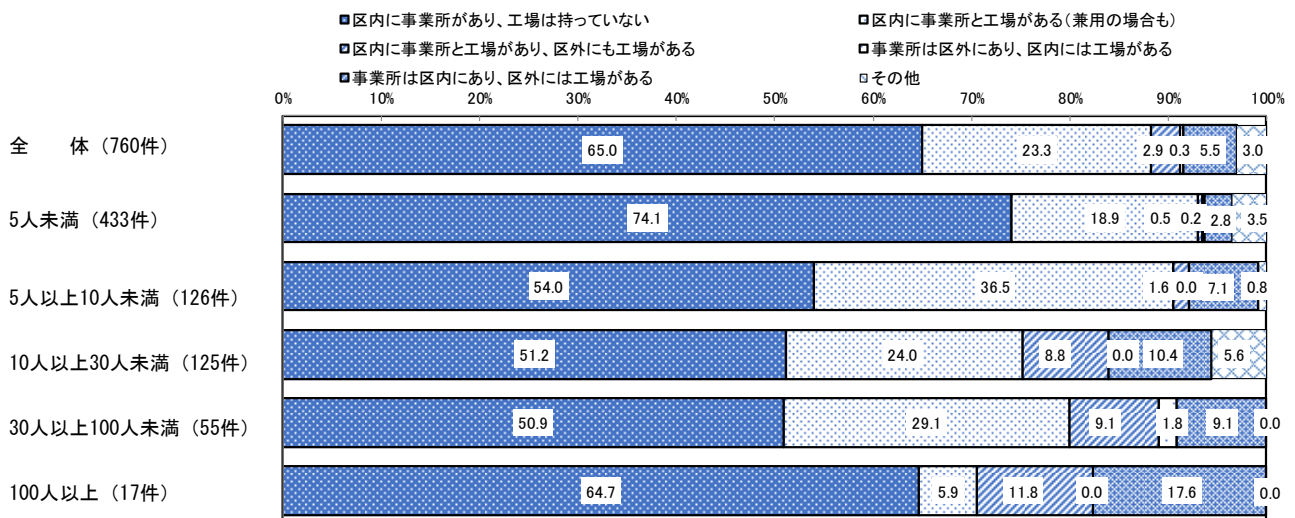
【業種別】



【従業員規模別】

葛飾区内に事業所(事務所)や工場(作業場所)はありますか (上段:件、下段:%)

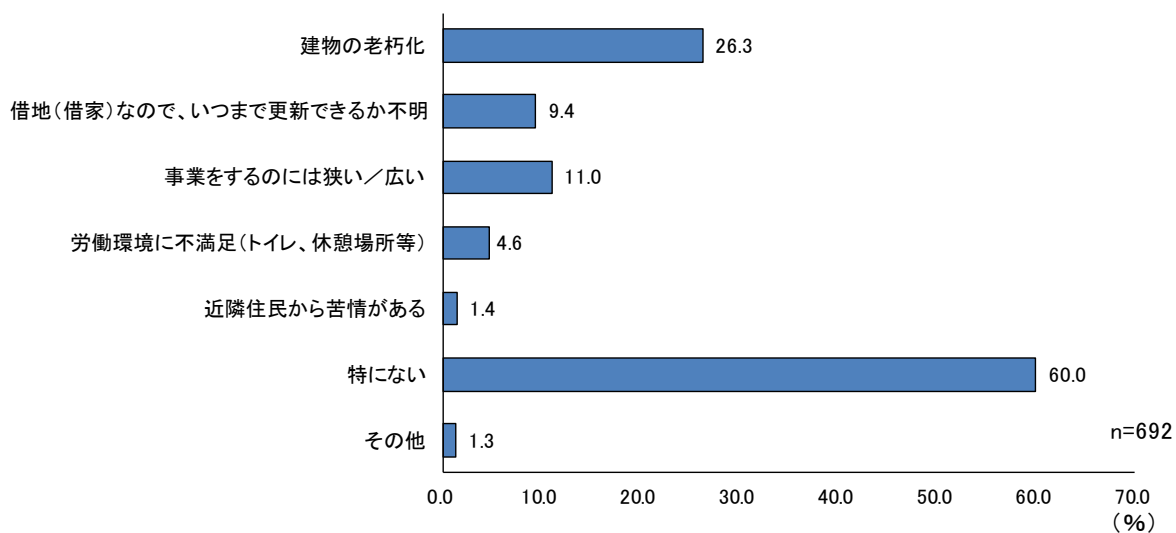
	全体	区内に事業所があり、工場は持っていない	区内に事業所と工場がある(兼用の場合も)	区内に事業所と工場があり、区外にも工場がある	事業所は区外にあり、区内には工場がある	事業所は区内にあり、区外には工場がある	その他
		件	件	件	件	件	件
全体	760	494	177	22	2	42	23
	100.0	65.0	23.3	2.9	0.3	5.5	3.0
従業員数	5人未満	433	321	82	2	1	12
		100.0	74.1	18.9	0.5	0.2	2.8
	5人以上10人未満	126	68	46	2	0	9
		100.0	54.0	36.5	1.6	0.0	7.1
	10人以上30人未満	125	64	30	11	0	13
	100.0	51.2	24.0	8.8	0.0	10.4	
30人以上100人未満	55	28	16	5	1	5	
	100.0	50.9	29.1	9.1	1.8	9.1	
100人以上	17	11	1	2	0	3	
	100.0	64.7	5.9	11.8	0.0	17.6	



## 問2. ①事業所の問題や課題（〇はいくつでも）

事業所の問題や課題について、全体では「建物の老朽化」が26.3%で最も高く、次いで「事業をするのには狭い／広い」が11.0%、「借地（借家）なので、いつまで更新できるか不明」が9.4%となった。また、「特にない」は60.0%となった。

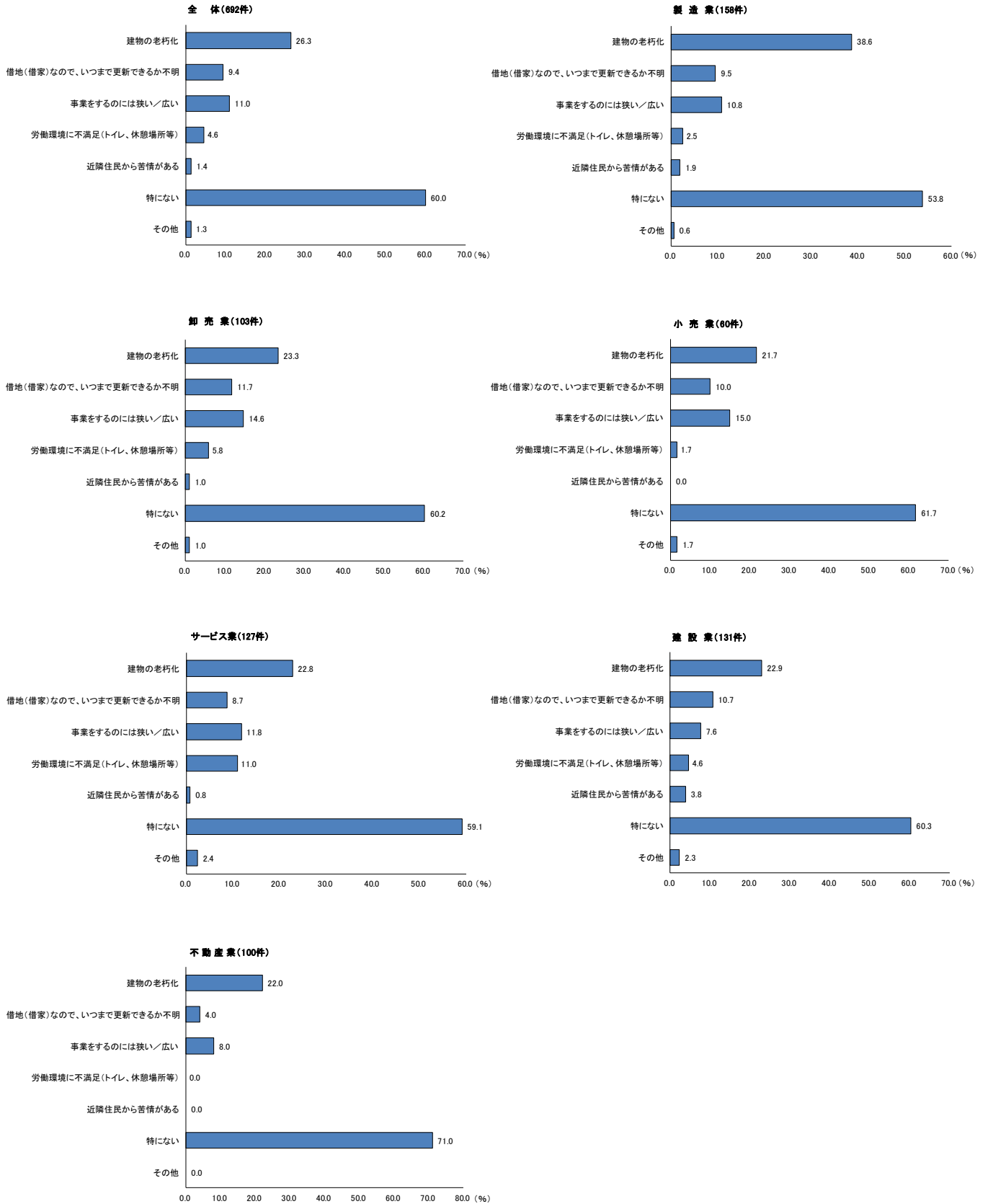
業種別にみると、全ての業種で「建物の老朽化」が最も高くなっている。



### 【その他の意見】

- 賃料が高い。(製造業)
- 洪水対応など。(卸売業)
- 駐車場が不足している。(小売業)
- 駐車場が借地である。(サービス業)
- 家賃が高い。(サービス業)
- 最寄り駅が遠すぎて通勤が不便。(サービス業)
- 近隣住民から嫌がらせを受けている。(建設業)

## 【業種別】

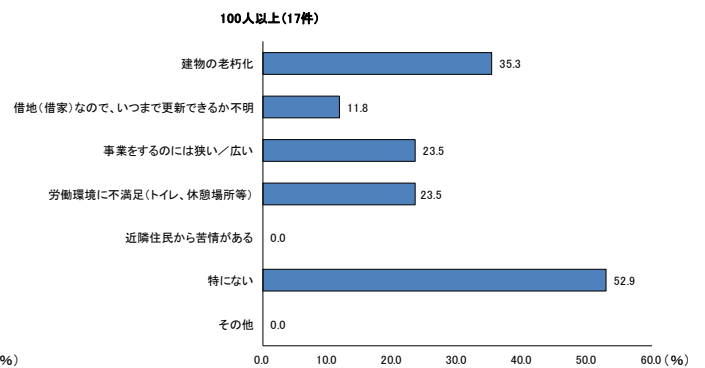
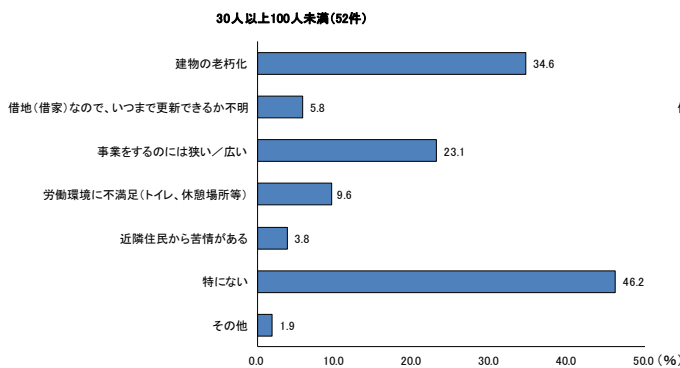
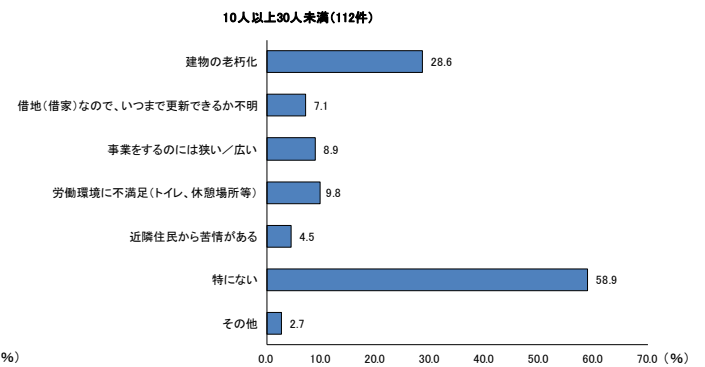
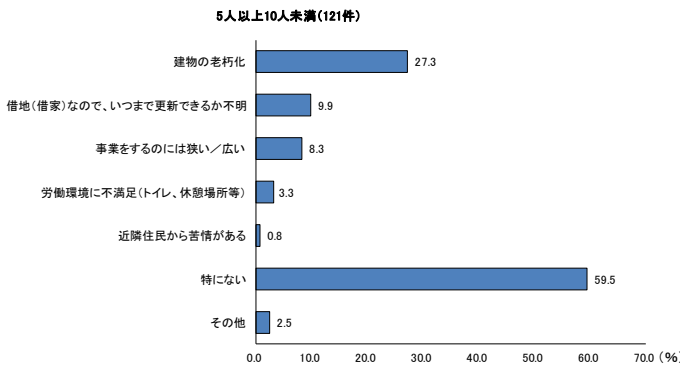
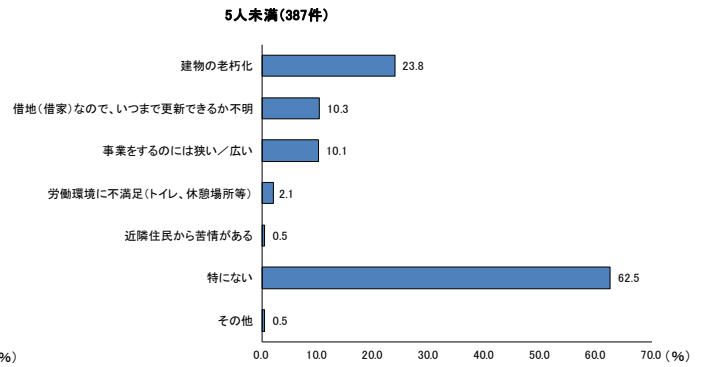
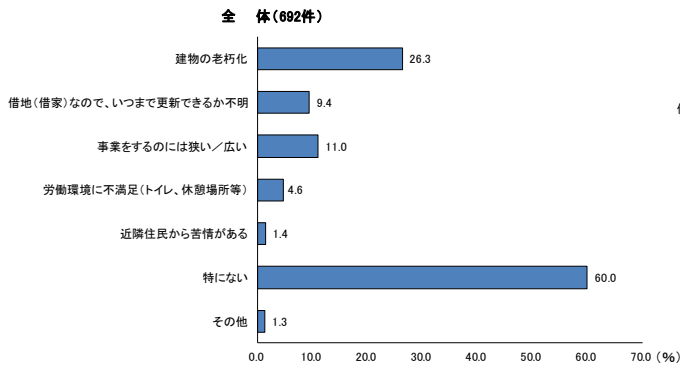


【従業員規模別】

①事業所の問題や課題

(上段:件、下段:%)

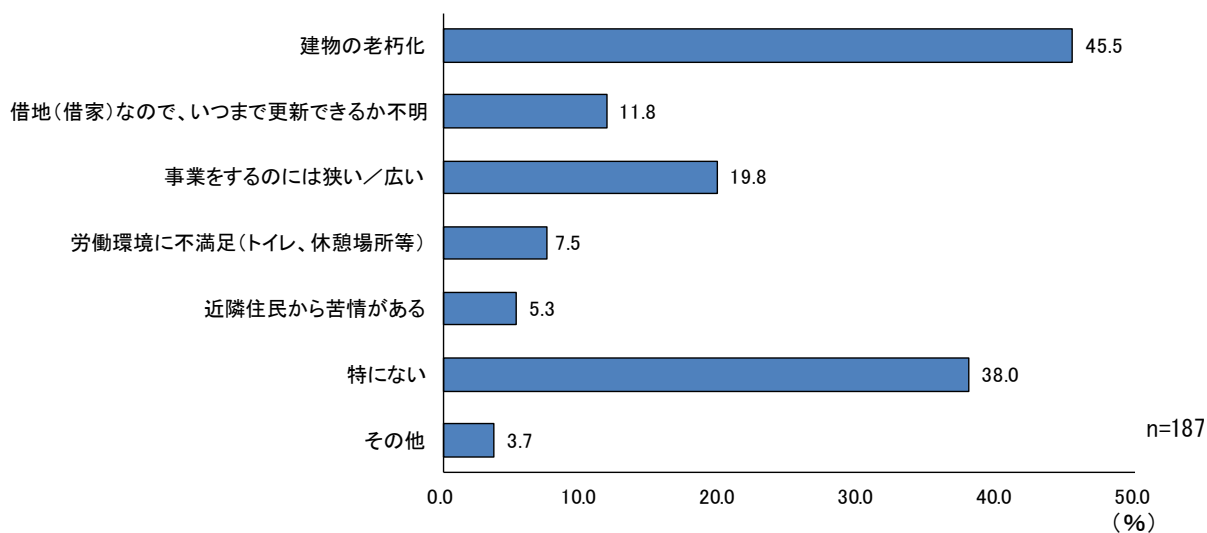
		全 体	建物の老朽化	借地(借家)なので、いつまで更新できるか不明	事業をするのには狭い/広い	労働環境に不満足(トイレ、休憩場所等)	近隣住民から苦情がある	特にない	その他
全 体		692 100.0	182 26.3	65 9.4	76 11.0	32 4.6	10 1.4	415 60.0	9 1.3
従業員数	5人未満	387 100.0	92 23.8	40 10.3	39 10.1	8 2.1	2 0.5	242 62.5	2 0.5
	5人以上10人未満	121 100.0	33 27.3	12 9.9	10 8.3	4 3.3	1 0.8	72 59.5	3 2.5
	10人以上30人未満	112 100.0	32 28.6	8 7.1	10 8.9	11 9.8	5 4.5	66 58.9	3 2.7
	30人以上100人未満	52 100.0	18 34.6	3 5.8	12 23.1	5 9.6	2 3.8	24 46.2	1 1.9
	100人以上	17 100.0	6 35.3	2 11.8	4 23.5	4 23.5	0 0.0	9 52.9	0 0.0



## 問2. ②工場の問題や課題（〇はいくつでも）

工場の問題や課題について、全体では「建物の老朽化」が45.5%で最も高く、次いで「事業をするのには狭い／広い」が19.8%、「借地（借家）なので、いつまで更新できるか不明」が11.8%となった。また、「特にない」は38.0%となった。

業種別にみると、不動産業を除く全ての業種で「建物の老朽化」が最も高くなっている。



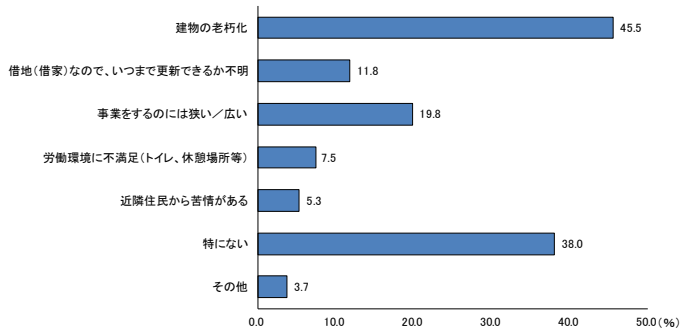
### 【その他の意見】

- 設備の老朽化。(製造業)
- 暑さ対策。(製造業)
- 新しい工場が建てられない。(製造業)
- 賃料が高い。(製造業)
- 近隣住民から嫌がらせを受けている。(建設業)
- 受注減・コスト。(不明)

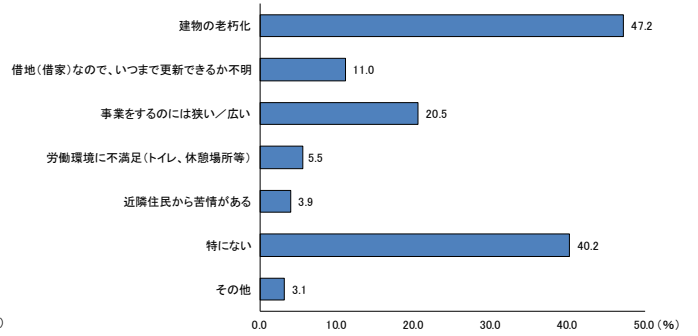


【業種別】

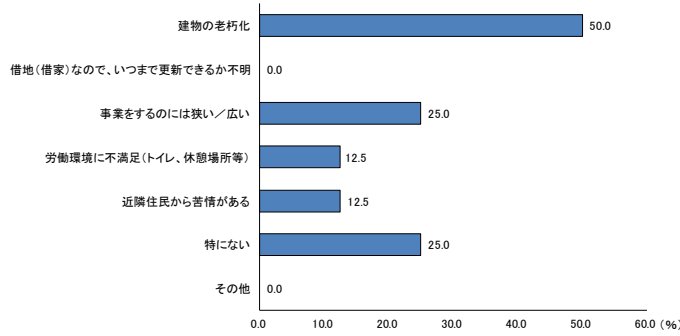
全 体(187件)



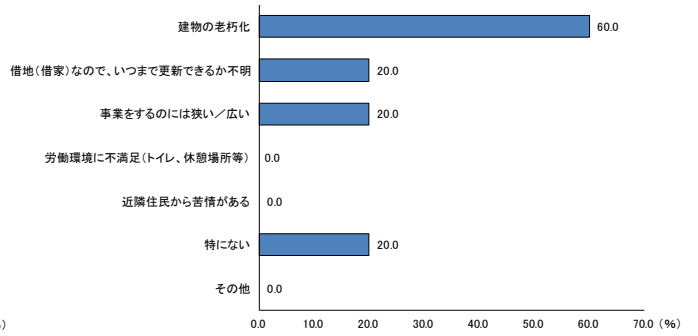
製 造 業(127件)



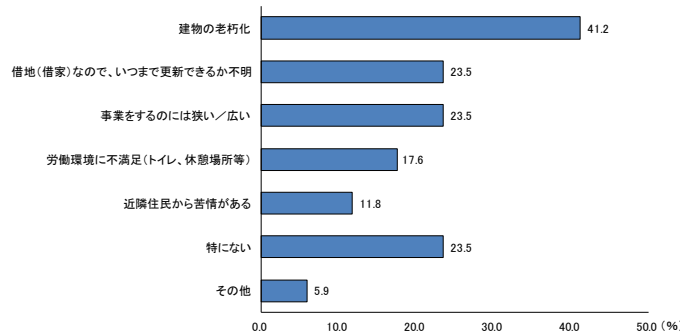
卸 売 業(8件)



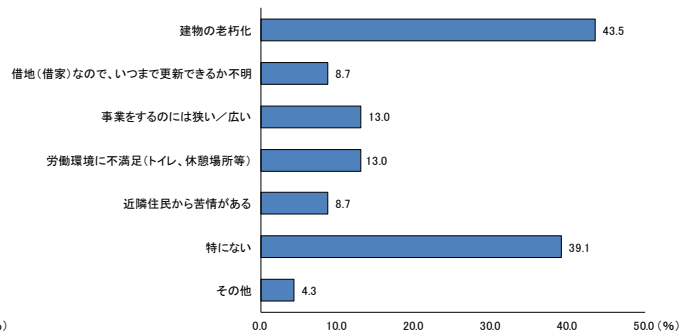
小 売 業(5件)



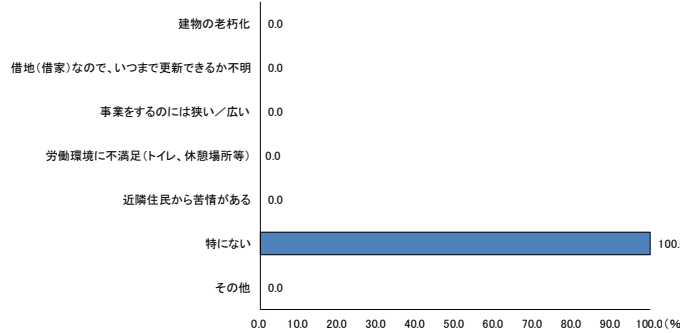
サービスマン業(17件)



建 設 業(23件)



不 動 産 業(2件)

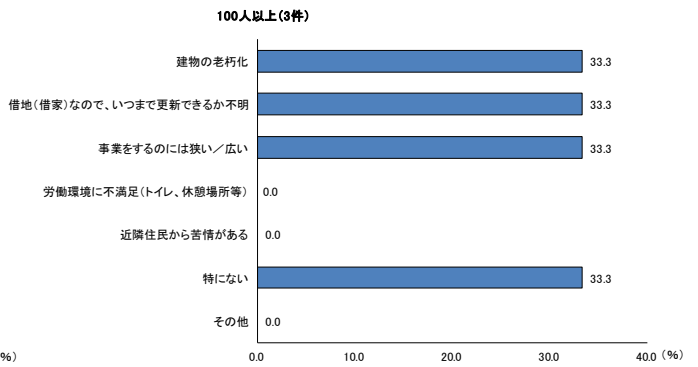
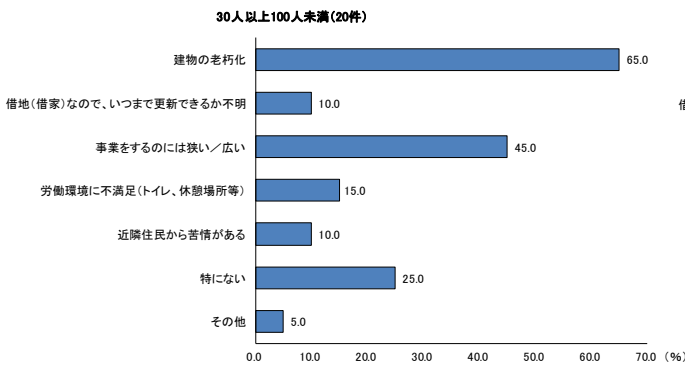
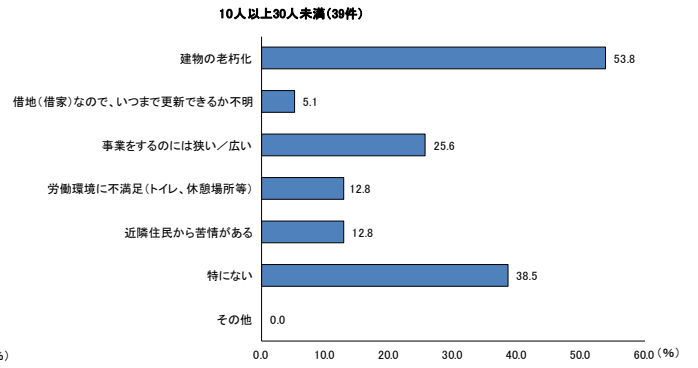
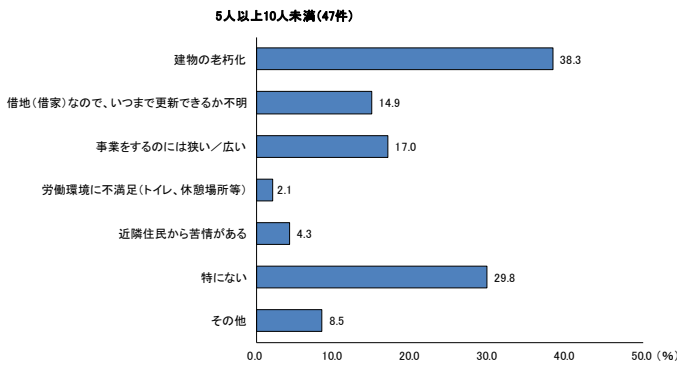
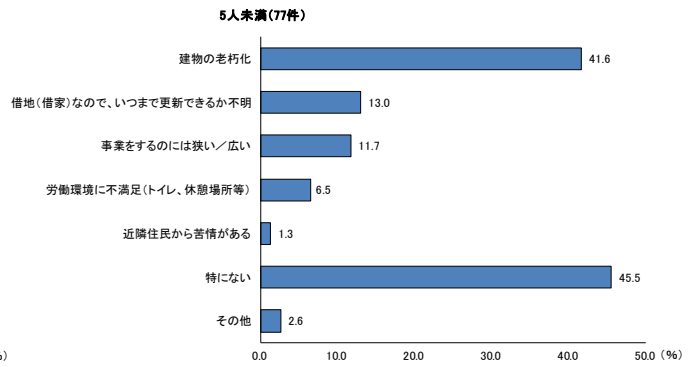
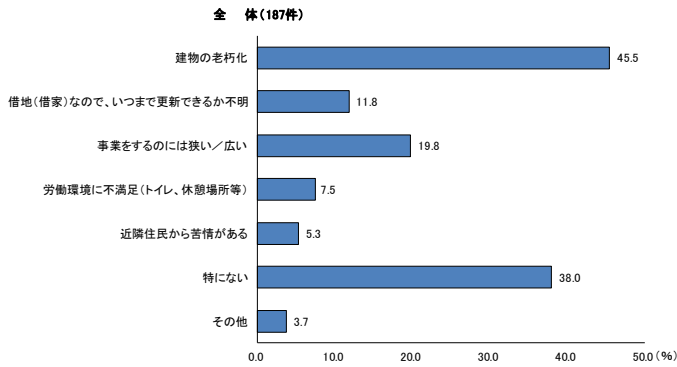


【従業員規模別】

②工場の問題や課題

(上段:件、下段:%)

		全 体	建物の老朽化	借地(借家)なので、いつまで更新できるか不明	事業をするのには狭い/広い	労働環境に不満足(トイレ、休憩場所等)	近隣住民から苦情がある	特にない	その他
全 体		187 100.0	85 45.5	22 11.8	37 19.8	14 7.5	10 5.3	71 38.0	7 3.7
従業員数	5人未満	77 100.0	32 41.6	10 13.0	9 11.7	5 6.5	1 1.3	35 45.5	2 2.6
	5人以上10人未満	47 100.0	18 38.3	7 14.9	8 17.0	1 2.1	2 4.3	14 29.8	4 8.5
	10人以上30人未満	39 100.0	21 53.8	2 5.1	10 25.6	5 12.8	5 12.8	15 38.5	0 0.0
	30人以上100人未満	20 100.0	13 65.0	2 10.0	9 45.0	3 15.0	2 10.0	5 25.0	1 5.0
	100人以上	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

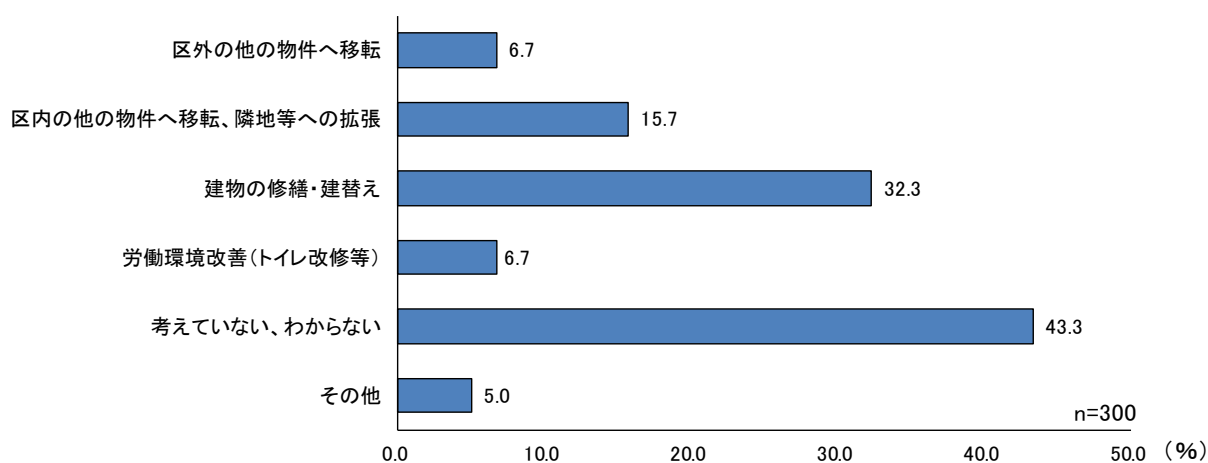


### 問3. ①事業所の問題や課題への対応（〇はいくつでも）

問2で1～5、7を選んだ方。

事業所の問題や課題への対応については、全体では「建物の修繕・建替え」が32.3%と最も高く、次いで「区内の他の物件へ移転、隣地等への拡張」が15.7%、「区外の他の物件へ移転」及び「労働環境改善（トイレ改修等）」がいずれも6.7%（同率）となった。また、「考えていない、わからない」は43.3%となった。

業種別にみると、サービス業を除く全ての業種で「建物の修繕・建替え」が最も高くなっている。サービス業では「区内の他の物件へ移転、隣地等への拡張」が25.0%で最も高くなっている。

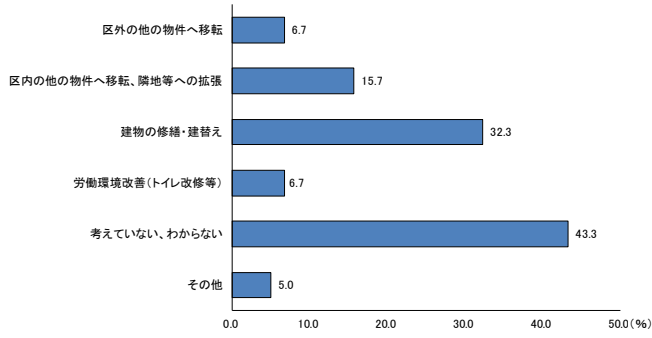


#### 【その他の意見】

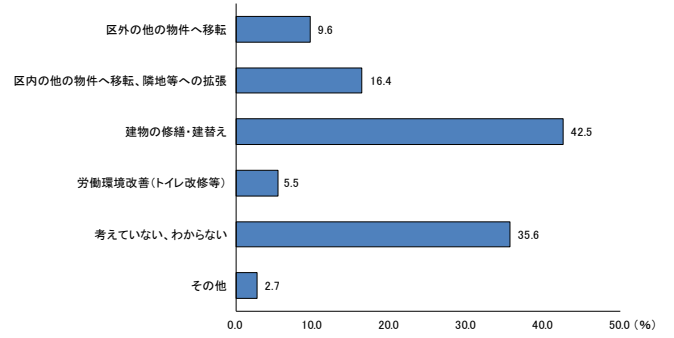
- 気候が不安、台風など。(製造業)
- 借り物なのでなりゆき。(卸売業)
- 売上も減少続き、従事者も高齢化。事業所の賃貸契約の終了に合わせて閉店する予定。(卸売業)
- 狭いと思うが、事務所を移転するにも資金がいる。(卸売業)
- まだ具体的には考えていないが、将来移転を検討する方向でいる。(卸売業)
- 大家さんの持物なので何とも言えない。(サービス業)
- 建替えたいが資金がかかる。又、いつまで続けるかも問題。(サービス業)
- リモートワークの環境を整備したい。(サービス業)
- 賃貸なので、近隣の関係上改善は厳しい。(サービス業)
- 資金が無いので、現状のままで対応。(建設業)
- 古い書類を整理する。(不動産業)

【業種別】

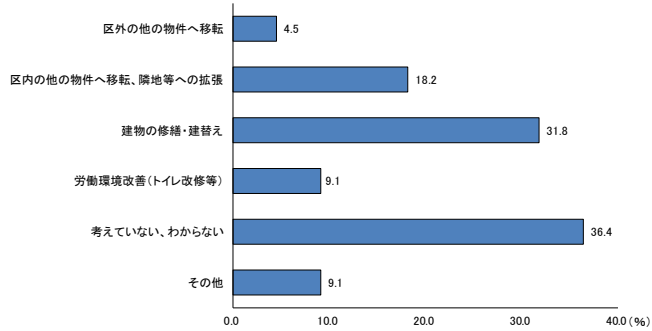
全体(300件)



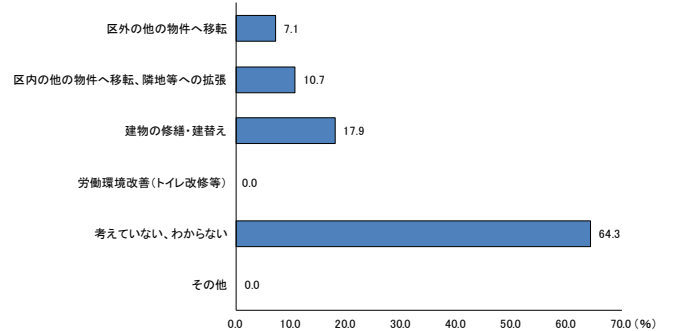
製造業(73件)



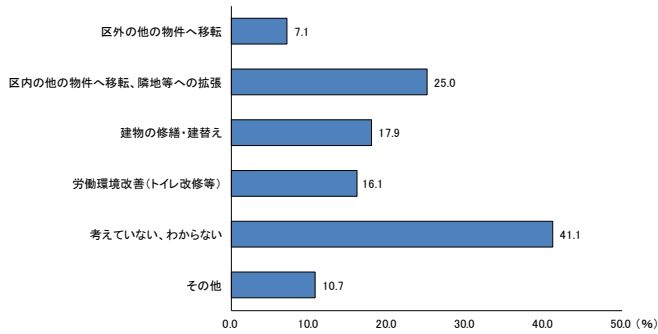
卸売業(44件)



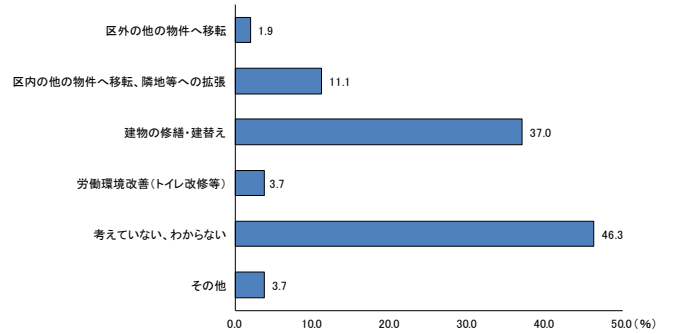
小売業(28件)



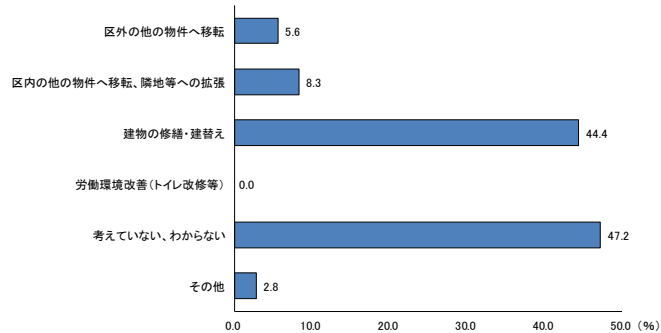
サービス業(56件)



建設業(54件)



不動産業(30件)

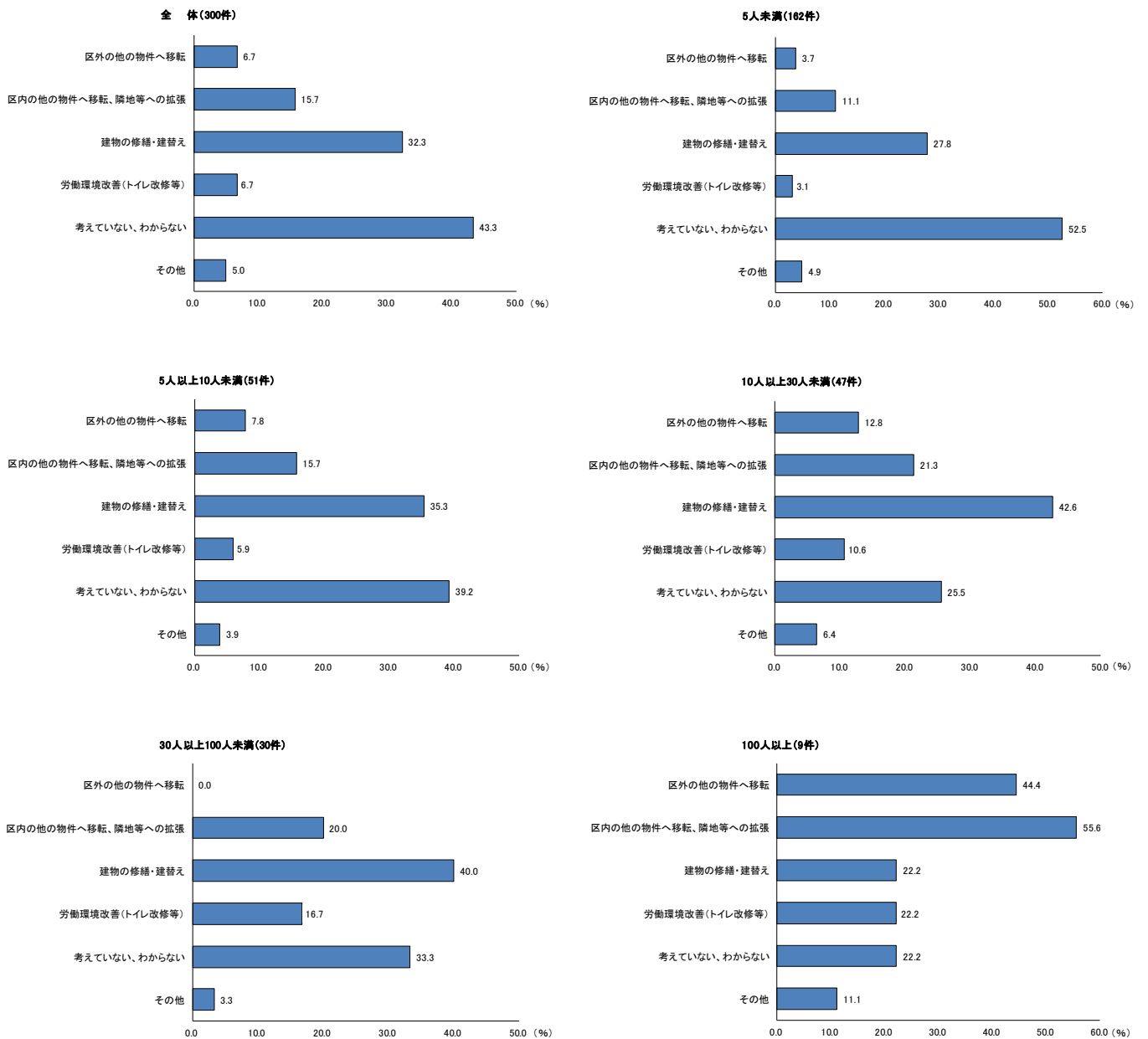


【従業員規模別】

①事業所の問題や課題への対応

(上段:件、下段:%)

		全 体	区外の他の 物件へ移転	区内の他の 物件へ移 転、隣地等 への拡張	建物の修 繕・建替え	労働環境改 善(トイレ改 修等)	考えていな い、わから ない	その他
全 体		300 100.0	20 6.7	47 15.7	97 32.3	20 6.7	130 43.3	15 5.0
従 業 員 数	5人未満	162 100.0	6 3.7	18 11.1	45 27.8	5 3.1	85 52.5	8 4.9
	5人以上10人未満	51 100.0	4 7.8	8 15.7	18 35.3	3 5.9	20 39.2	2 3.9
	10人以上30人未満	47 100.0	6 12.8	10 21.3	20 42.6	5 10.6	12 25.5	3 6.4
	30人以上100人未満	30 100.0	0 0.0	6 20.0	12 40.0	5 16.7	10 33.3	1 3.3
	100人以上	9 100.0	4 44.4	5 55.6	2 22.2	2 22.2	2 22.2	1 11.1

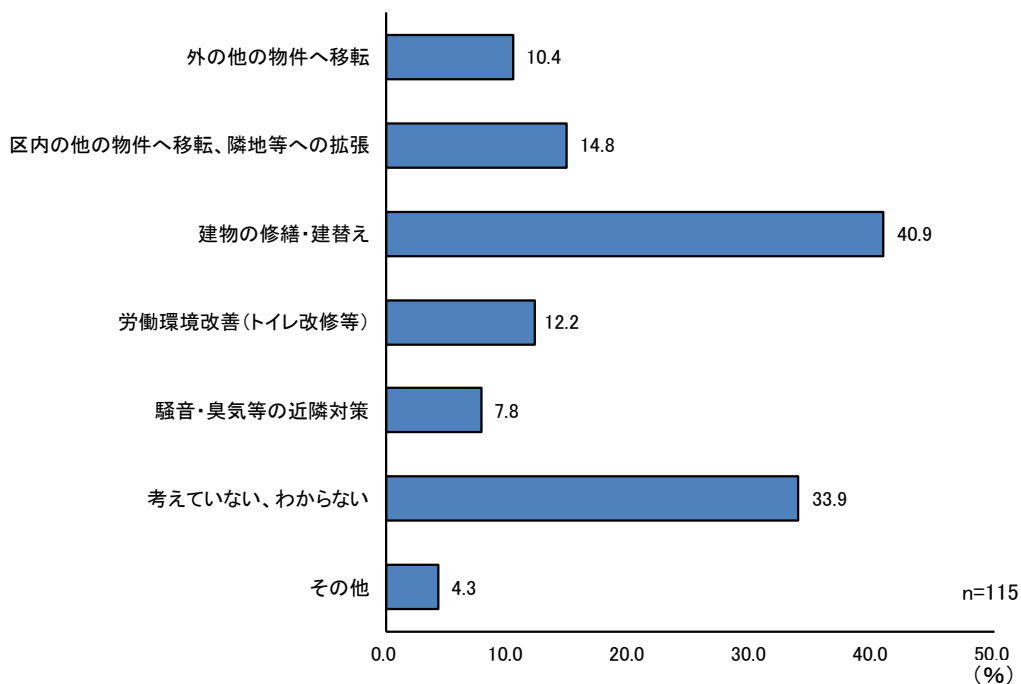


### 問3. ②工場の問題や課題への対応（〇はいくつでも）

問2で1～5、7を選んだ方。

工場の問題や課題への対応については、全体では「建物の修繕・建替え」が40.9%と最も高く、次いで「区内の他の物件へ移転、隣地等への拡張」が14.8%、「労働環境改善（トイレ改修等）」が12.2%となった。また、「考えていない、わからない」は33.9%となった。

業種別にみると、サービス業を除く全ての業種で「建物の修繕・建替え」が最も高くなっている。サービス業では「労働環境改善（トイレ改修等）」が33.3%で最も高くなっている。

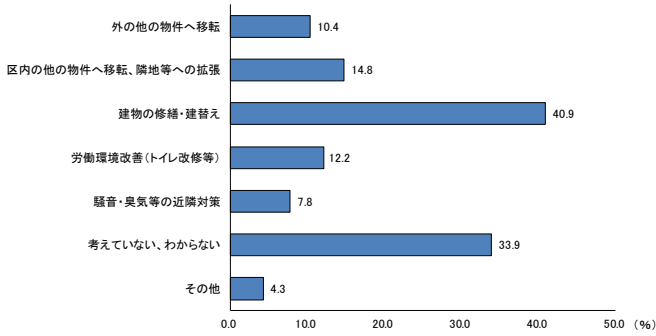


#### 【その他の意見】

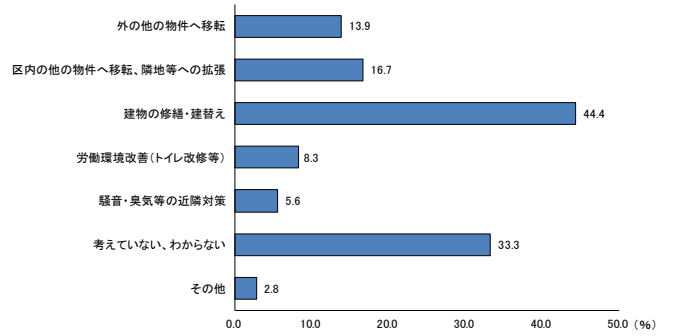
- 空調作業服支給、スポットクーラー。(製造業)
- 資金が無いので、移転も出来ず、現状のまま。(建設業)
- 工場閉鎖等。(不明)

【業種別】

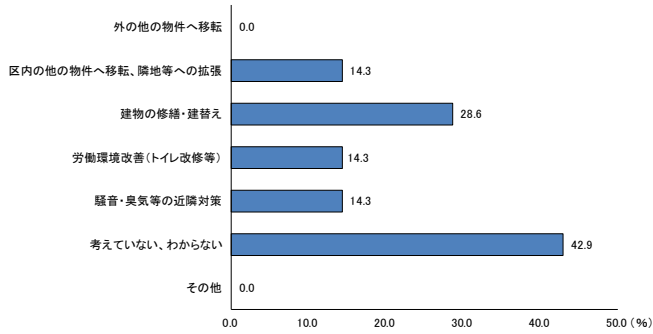
全体(115件)



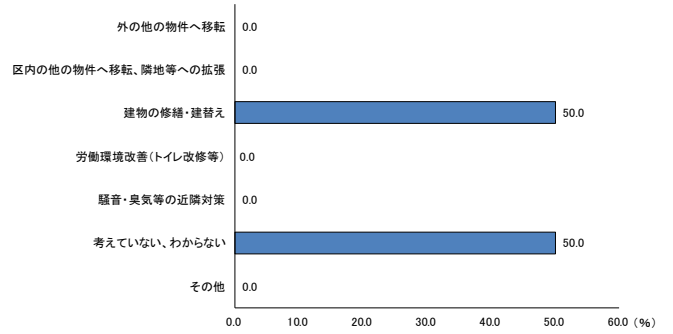
製造業(72件)



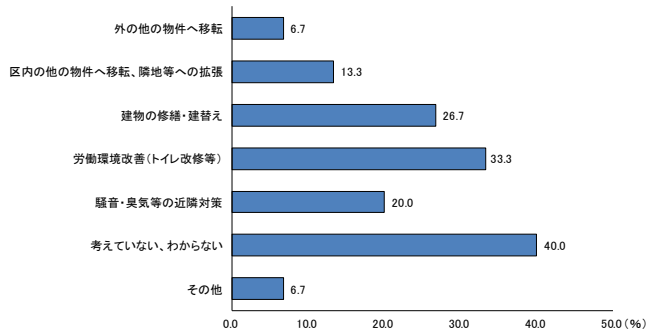
卸売業(7件)



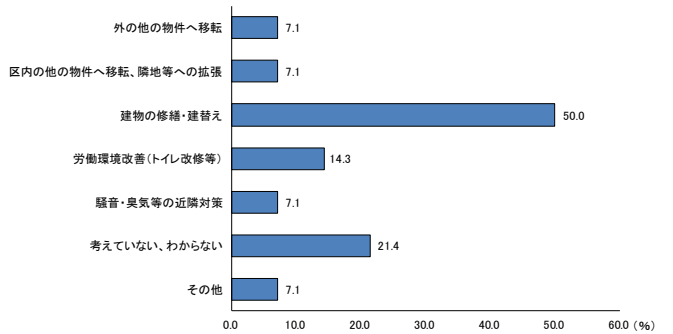
小売業(4件)



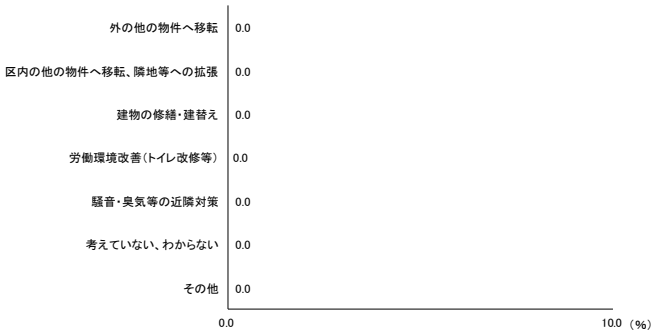
サービス業(15件)



建設業(14件)



不動産業(0件)

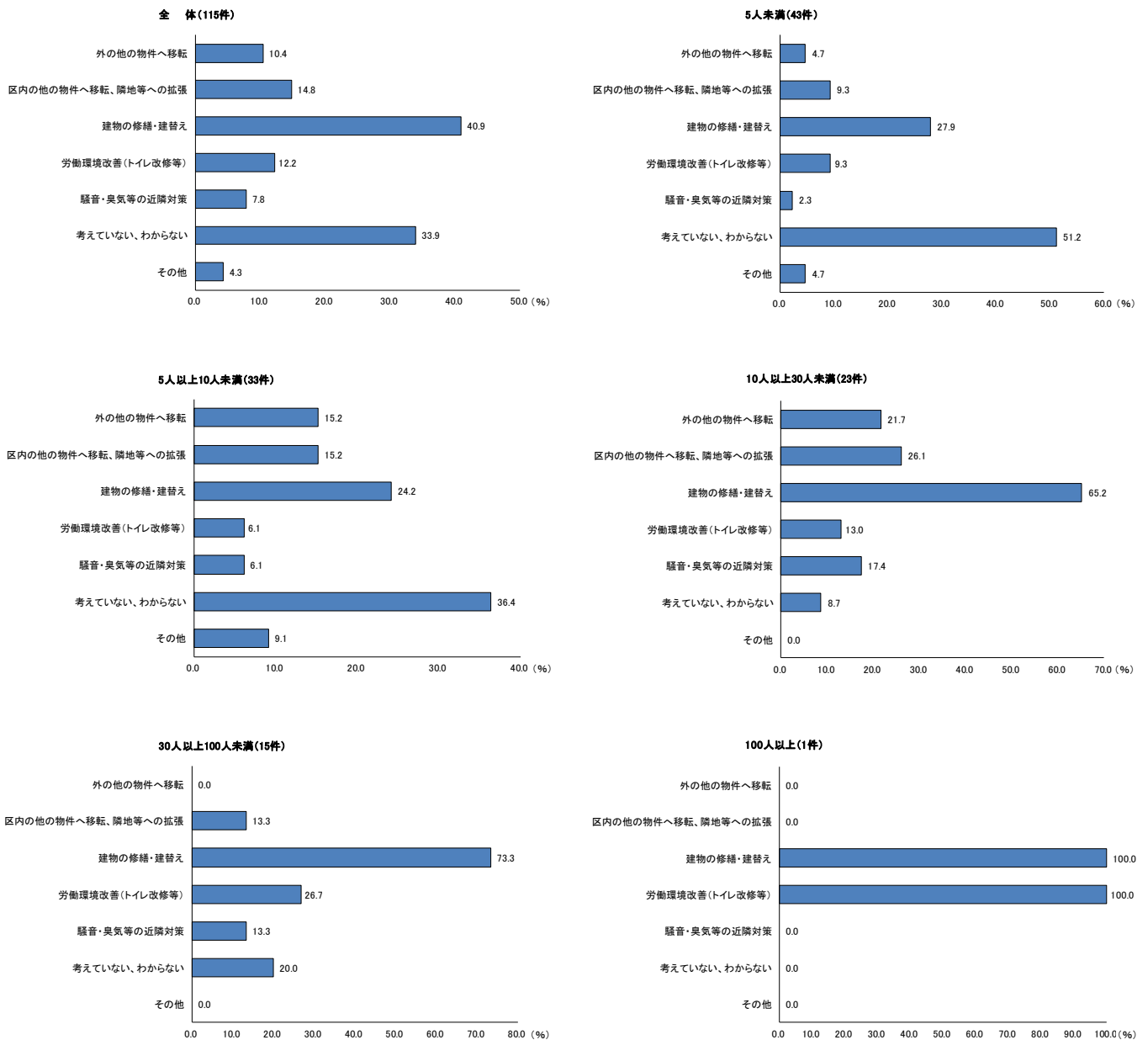


【従業員規模別】

②工場の問題や課題への対応

(上段:件、下段:%)

		全 体	外の他の物件へ移転	区内の他の物件へ移転、隣地等への拡張	建物の修繕・建替え	労働環境改善(トイレ改修等)	騒音・臭気等の近隣対策	考えていない、わからない	その他
全 体		115 100.0	12 10.4	17 14.8	47 40.9	14 12.2	9 7.8	39 33.9	5 4.3
従業員数	5人未満	43 100.0	2 4.7	4 9.3	12 27.9	4 9.3	1 2.3	22 51.2	2 4.7
	5人以上10人未満	33 100.0	5 15.2	5 15.2	8 24.2	2 6.1	2 6.1	12 36.4	3 9.1
	10人以上30人未満	23 100.0	5 21.7	6 26.1	15 65.2	3 13.0	4 17.4	2 8.7	0 0.0
	30人以上100人未満	15 100.0	0 0.0	2 13.3	11 73.3	4 26.7	2 13.3	3 20.0	0 0.0
	100人以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



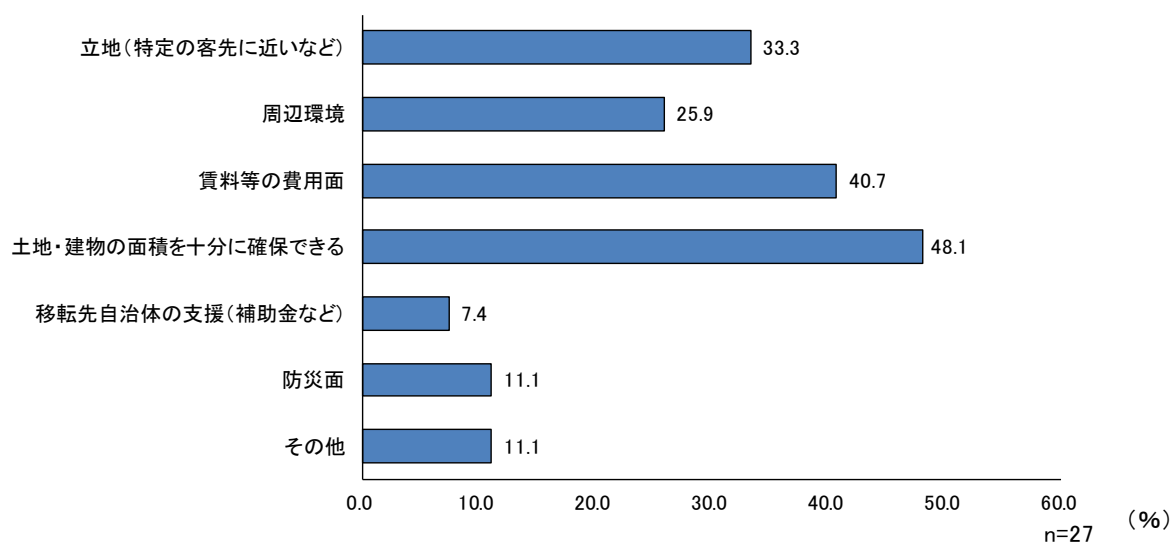


#### 問 4. ①事業所の区外移転を考える理由 (〇はいくつでも)

問 3 で「1 区外の他の物件へ移転」を選択した方

事業所の区外移転を考える理由については、全体では「土地・建物の面積を十分に確保できる」が 48.1%と最も高く、次いで「賃料等の費用面」が 40.7%、「立地（特定の客先に近いなど）」が 33.3% となった。

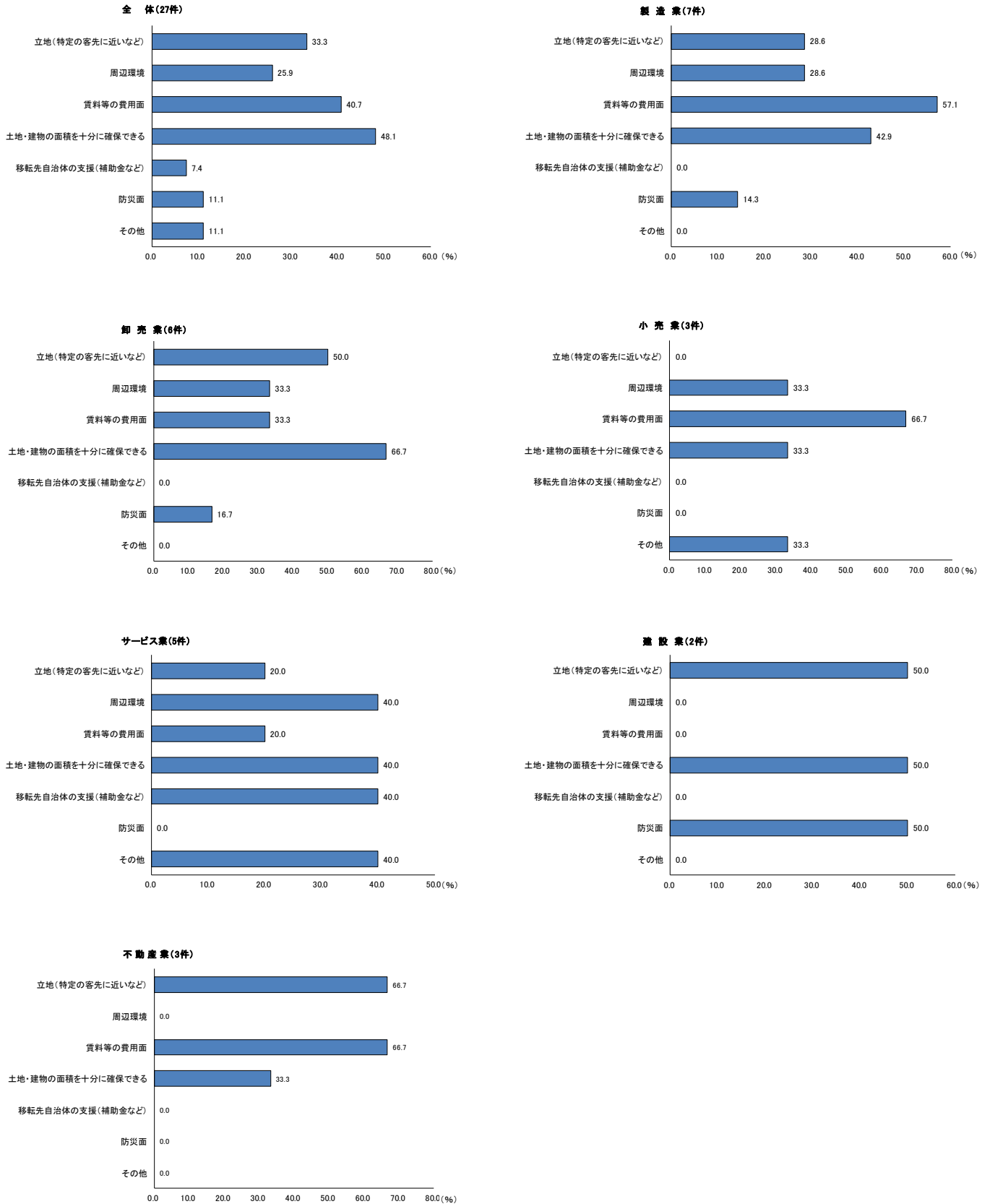
業種別にみると、卸売業で「土地・建物の面積を十分に確保できる」が 66.7%と最も高くなっている。製造業では「賃料等の費用面」が 57.1%で最も高くなっている。



#### 【その他の意見】

- 今の事業所より、家賃、周辺環境、広さ等、条件が合えば区内外問わず考えている。(サービス業)

## 【業種別】

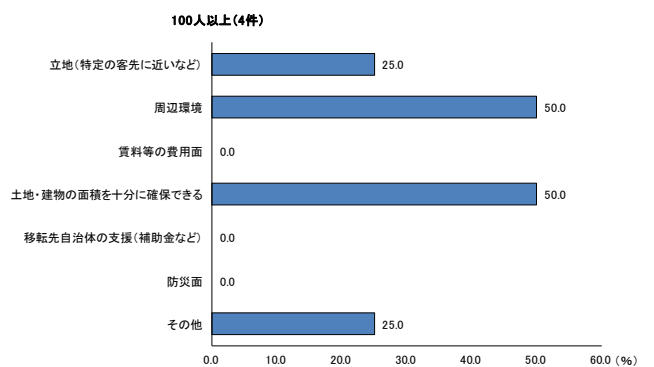
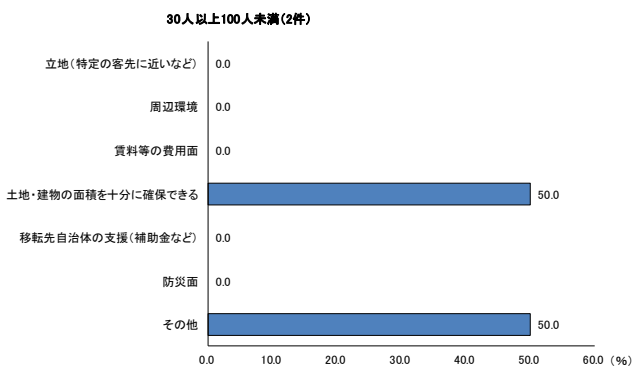
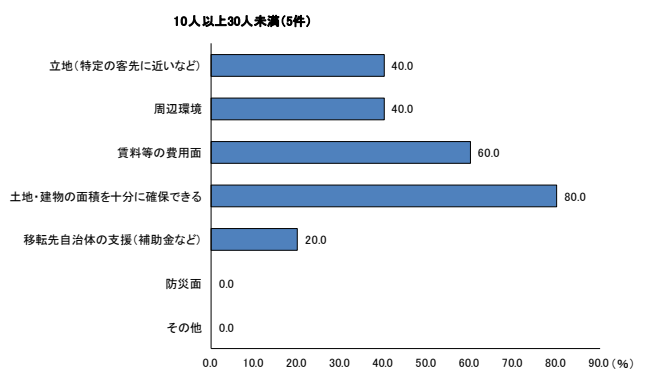
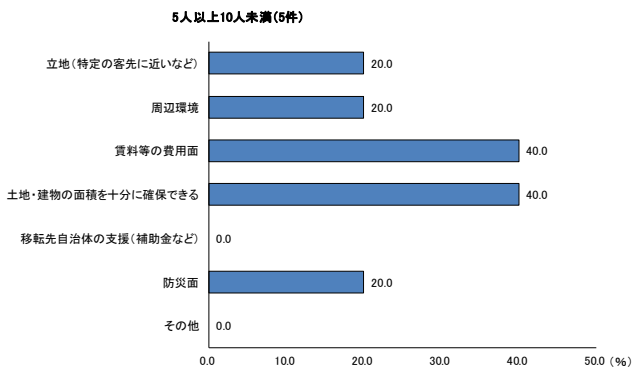
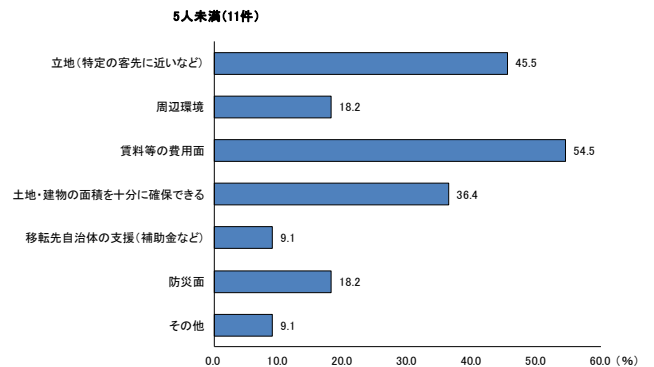
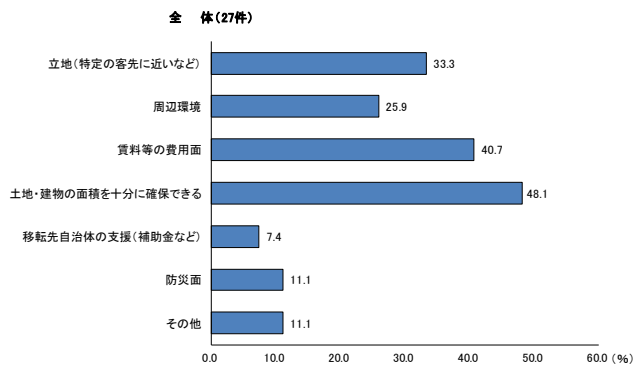


【従業員規模別】

①事業所の区外移転を考える理由

(上段:件、下段:%)

		全 体	立地(特定の客先に近いなど)	周辺環境	賃料等の費用面	土地・建物の面積を十分に確保できる	移転先自治体の支援(補助金など)	防災面	その他
全 体		27 100.0	9 33.3	7 25.9	11 40.7	13 48.1	2 7.4	3 11.1	3 11.1
従業員数	5人未満	11 100.0	5 45.5	2 18.2	6 54.5	4 36.4	1 9.1	2 18.2	1 9.1
	5人以上10人未満	5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	10人以上30人未満	5 100.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	30人以上100人未満	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	100人以上	4 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

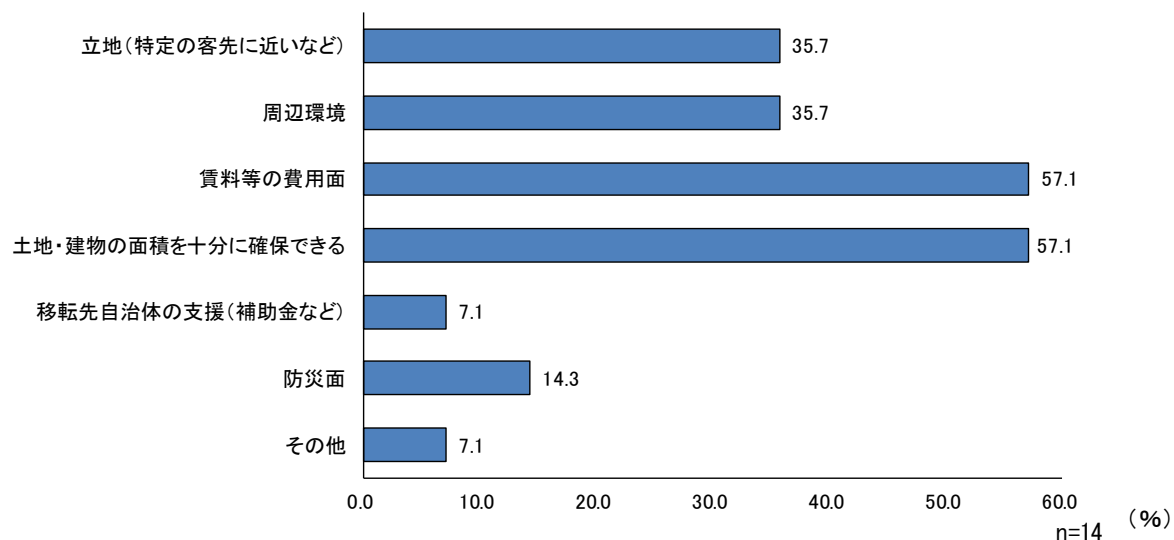


#### 問 4. ②工場の区外移転を考える理由 (〇はいくつでも)

問 3 で「1 区外の他の物件へ移転」を選択した方

工場の区外移転を考える理由については、全体では「賃料等の費用面」及び「土地・建物の面積を十分に確保できる」がいずれも 57.1% (同率) と最も高く、次いで「立地 (特定の客先に近いなど)」及び「周辺環境」がいずれも 35.7% (同率)、「防災面」が 14.3% となった。

業種別にみると、製造業で「土地・建物の面積を十分に確保できる」が 58.3% と最も高くなっている。

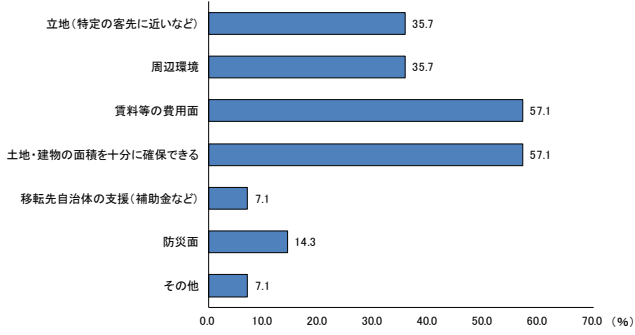


#### 【その他の意見】

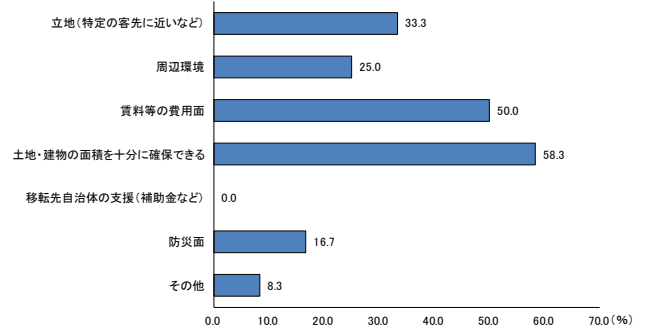
- 工業団地へ……。 (製造業)

【業種別】

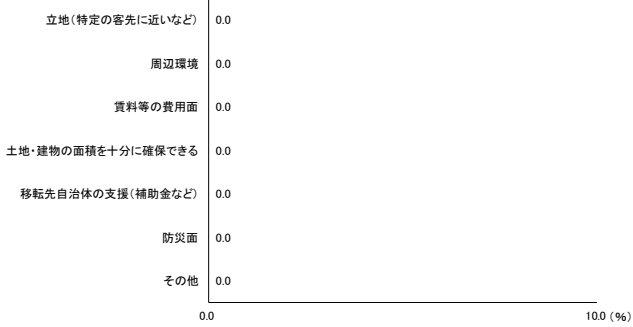
全 体 (14件)



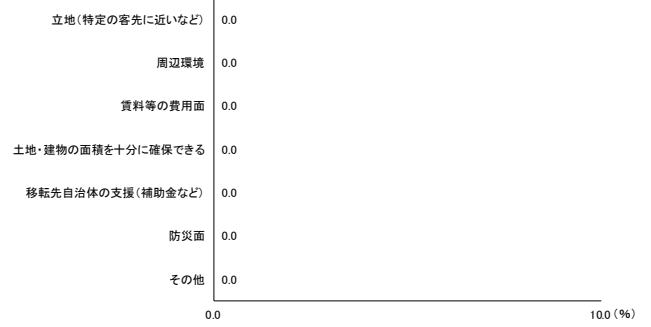
製 造 業 (12件)



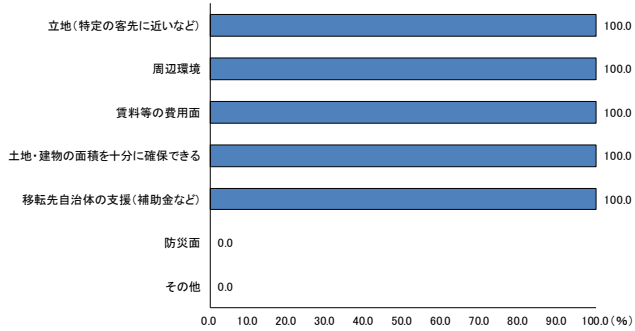
卸 売 業 (0件)



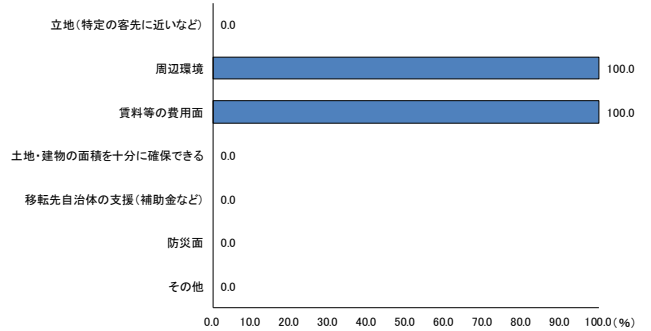
小 売 業 (0件)



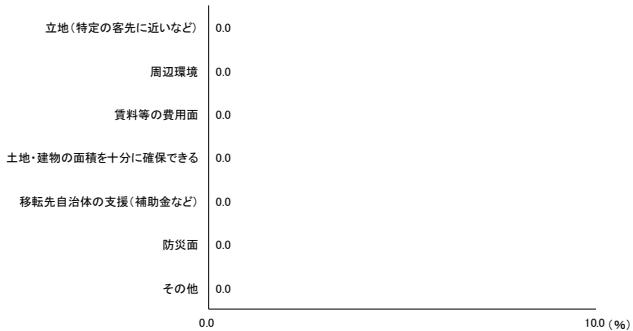
サ ー ビ ス 業 (1件)



建 設 業 (1件)



不 動 産 業 (0件)

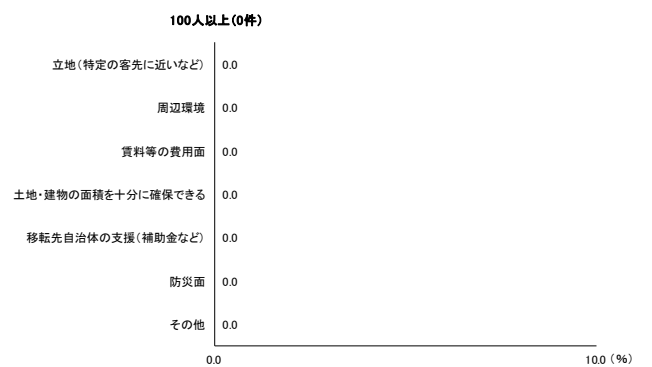
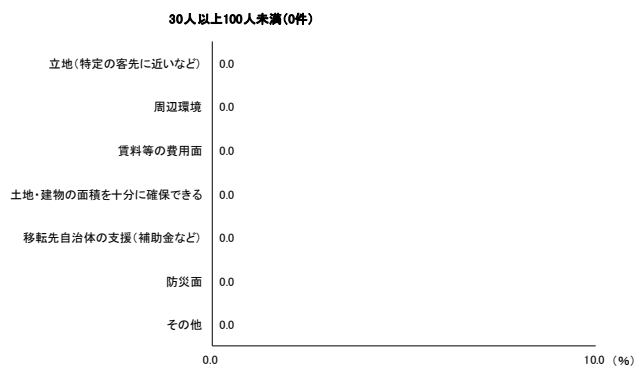
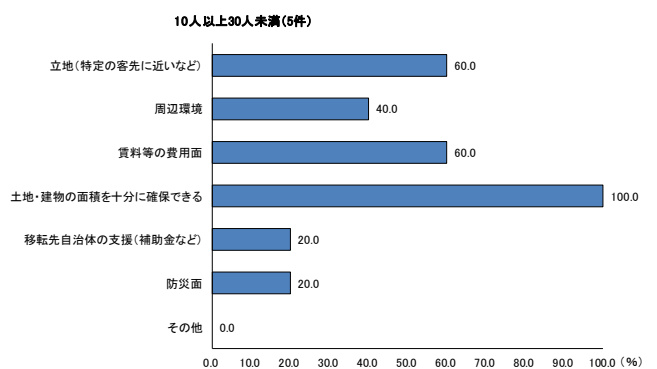
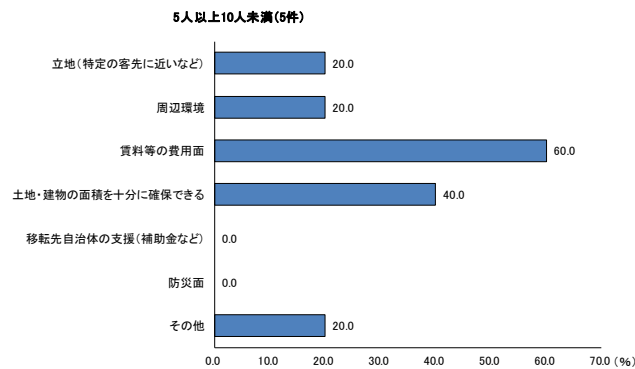
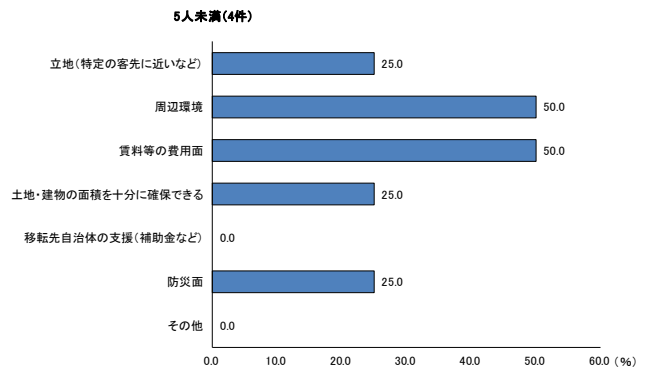
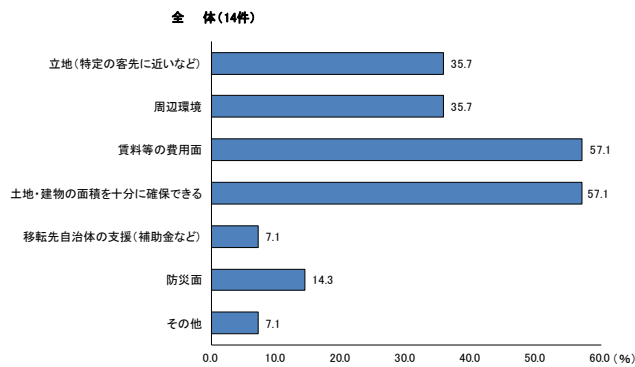


【従業員規模別】

②工場の区外移転を考える理由

(上段:件、下段:%)

		全 体	立地(特定の客先に近いなど)	周辺環境	賃料等の費用面	土地・建物の面積を十分に確保できる	移転先自治体の支援(補助金など)	防災面	その他
全 体		14 100.0	5 35.7	5 35.7	8 57.1	8 57.1	1 7.1	2 14.3	1 7.1
従業員数	5人未満	4 100.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	5人以上10人未満	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
	10人以上30人未満	5 100.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
	30人以上100人未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	100人以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



## 中小企業景況調査 転記表

製造業  
地域名: 葛飾区  
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和6年7月~9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期				R5 1~3月期	R5 4~6月期	R5 7~9月期	R5 10~12月期	R6 1~3月期	R6 4~6月期	R6 7~9月期	R6 10~12月期 (予測)	対前期 比								
	R4 7~9月期	R4 10~12月期	R4 1~3月期	R4 4~6月期																	
業況	良い	13.5	5.2	14.6	8.6	16.4	9.3	13.7	9.8	10.3	5.8	14.3	3.8	8.3	8.2	10.2	4.9		4.6		
	普通	38.1	34.5	48.3	39.5	40.4	43.6	42.9	52.0	42.9	46.6	44.2	48.4	34.8	50.0	40.8	41.8	40.7	46.8		
	悪い	48.4	60.3	37.1	52.0	43.2	47.1	43.5	42.4	43.5	43.6	45.5	45.8	50.9	46.3	51.0	50.0	49.2	48.3		
	D-I	-34.9	-55.1	-22.5	-43.4	-26.8	-37.8	-29.8	-36.8	-29.8	-33.8	-35.2	-40.0	-36.6	-42.5	-42.7	-41.8	-39.0	-43.4	3.7	-38.3
売上額	増加	16.1	4.3	26.1	11.7	16.6	9.7	21.6	12.4	15.5	16.8	21.2	8.8	16.0	9.8	16.7	9.9	13.6	8.8		13.7
	変わらず	41.3	43.5	38.9	43.5	37.0	47.4	37.1	40.7	41.6	44.9	39.4	51.6	34.4	48.5	35.8	43.8	42.9	50.2		54.9
	減少	42.6	52.2	35.0	44.8	46.4	42.9	41.3	46.9	42.9	38.3	39.4	39.6	49.7	41.7	47.5	46.3	43.5	41.0		31.4
	D-I	-26.5	-47.9	-8.9	-33.1	-29.8	-33.2	-19.7	-34.5	-27.4	-21.5	-18.2	-30.8	-33.7	-31.9	-30.8	-36.4	-29.9	-32.2	0.9	-17.7
受注残	増加	12.1	7.1	20.7	12.2	14.0	11.6	14.0	7.3	11.4	11.6	13.0	8.4	15.0	8.8	9.5	8.8	10.4	7.9		10.4
	変わらず	44.3	45.5	46.6	47.6	45.5	52.9	45.1	45.8	47.5	45.1	42.2	52.3	43.1	50.9	41.5	50.9	53.8	49.5		56.1
	減少	43.6	47.3	32.8	40.1	40.4	35.5	40.9	46.9	41.1	43.3	44.7	39.4	41.9	40.3	49.0	40.3	35.8	42.6		33.5
	D-I	-31.5	-40.2	-12.1	-27.9	-26.4	-23.9	-26.9	-39.6	-29.7	-31.7	-31.7	-31.0	-26.9	-31.5	-39.5	-31.5	-25.4	-34.7	14.1	-23.1
収益	増加	11.3	4.4	18.9	11.3	11.1	8.1	13.4	8.9	13.2	9.2	18.5	10.3	15.6	8.2	13.4	8.2	10.2	10.8		12.1
	変わらず	40.4	42.1	36.6	44.0	36.1	44.2	40.9	40.8	40.9	44.8	37.7	39.7	36.9	41.8	35.8	48.4	39.2	40.2		50.6
	減少	48.3	53.5	44.6	44.7	52.8	47.7	45.7	50.3	45.9	46.0	43.8	50.0	47.5	50.0	50.7	43.4	50.6	49.0		37.4
	D-I	-37.0	-49.1	-25.7	-33.4	-41.7	-39.6	-32.3	-41.4	-32.7	-36.8	-25.3	-39.7	-31.9	-41.8	-37.3	-35.2	-40.4	-38.2	-3.1	-25.3
販売価格	上昇	29.3	21.2	29.9	25.5	24.7	20.9	28.0	21.9	19.5	16.7	20.4	17.3	13.9	15.5	14.7	12.1	14.9	18.1		16.7
	変わらず	58.0	58.4	62.1	62.4	61.8	68.0	59.1	62.9	72.3	67.9	68.5	73.7	75.3	70.2	75.5	75.8	77.1	71.6		77.0
	下降	12.7	20.4	8.0	12.1	13.5	11.0	12.8	15.2	8.2	15.4	11.1	9.0	10.8	14.3	9.8	12.1	8.0	10.3		6.3
	D-I	16.6	0.8	21.9	13.4	11.2	9.9	15.2	6.7	11.3	1.3	9.3	8.3	3.1	1.2	4.9	0.0	6.9	7.8	2.0	10.4
原材料	上昇	87.6	76.7	80.0	79.3	78.4	69.5	65.0	69.1	58.0	51.3	53.4	58.7	44.1	50.0	63.7	41.8	65.5	60.3		62.4
	変わらず	8.3	14.6	15.3	18.6	17.0	25.7	31.9	26.9	38.2	45.6	44.7	36.8	53.4	48.1	32.4	55.7	34.5	35.8		35.9
	下降	4.1	8.7	4.7	2.1	4.5	4.8	3.1	4.0	3.8	3.1	1.9	4.5	2.5	1.9	3.9	2.5	0.0	3.9		1.8
	D-I	83.5	68.0	75.3	77.2	73.9	64.7	61.9	65.1	54.2	48.2	51.5	54.2	41.6	48.1	59.8	39.3	65.5	56.4	5.7	60.6
在庫	過剰	15.9	13.2	17.2	13.1	19.9	13.8	15.1	15.2	15.1	13.5	10.1	13.9	14.6	8.4	10.0	10.2	13.5	9.0		11.7
	適正	73.8	66.0	71.6	73.1	71.9	74.9	79.2	74.3	77.4	80.8	83.5	79.7	77.2	86.4	86.1	82.2	81.9	86.6		83.6
	不足	10.3	20.8	11.2	13.8	8.2	11.4	5.7	10.5	7.5	5.8	6.3	6.3	8.2	5.2	4.0	7.6	4.7	4.5		4.7
	D-I	5.6	-7.6	6.0	-0.7	11.7	2.4	9.4	4.7	7.6	7.7	3.8	7.6	6.4	3.2	6.0	2.6	8.8	4.5	2.8	7.0
資金繰り	案	7.3	2.7	3.4	5.3	4.9	3.4	6.0	5.0	7.5	6.7	7.9	5.6	7.4	6.2	7.3	5.6	7.3	6.3		7.5
	変わらず	57.0	54.5	68.4	52.3	63.7	62.1	69.6	58.7	69.6	63.4	64.2	68.3	71.2	63.4	65.4	67.3	59.3	62.4		59.2
	苦しい	35.8	42.7	28.2	42.4	31.3	34.5	24.4	36.3	23.0	29.9	27.9	26.1	21.5	30.4	27.3	27.2	33.3	31.2		33.3
	D-I	-28.5	-40.0	-24.8	-37.1	-26.4	-31.1	-18.4	-31.3	-15.5	-23.2	-20.0	-20.5	-14.1	-24.2	-20.0	-21.6	-26.0	-24.9	-6.0	-25.8
前年 同期比	売上額	-6.5		1.3		-4.3		-18.4		-16.7		-19.6		-26.5		-23.4		-25.3			
	収益	-29.5		-25.3		-28.4		-25.9		-28.0		-28.8		-30.5		-34.8		-36.2			
雇用	前年比残業時間	-14.8	-28.0	-4.6	-14.9	-7.8	-11.0	-12.1	-14.3	-13.4	-16.3	-10.7	-14.0	-13.6	-14.6	-17.6	-11.8	-22.6	-14.8		-16.8
	人手	-23.0	-11.2	-22.6	-25.0	-26.6	-26.7	-24.5	-25.4	-21.5	-23.5	-22.5	-22.2	-19.8	-24.6	-18.1	-23.0	-16.2	-19.1		-21.0
	借入をした(%)	45.5	11.7	47.4	23.7	44.4	22.7	38.6	16.4	35.8	16.8	33.5	14.4	25.2	13.8	31.5	13.9	33.1	16.8		15.6
	借入をしな(%)	54.5	88.3	52.6	76.3	55.6	77.3	61.4	83.6	64.2	83.2	66.5	85.6	74.8	86.2	68.5	86.1	66.9	83.2		84.4
借入難易度	2.8		-1.2		2.9		9.1		1.3		4.4		5.8		5.6		5.9				
有効回答事業所数	155		180		183		168		162		165		164		206		178				

製造業

地域名：葛飾区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R4		R5		R5		R5		R6		R6		対前期比	10～12月期（予測）
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		
設備投資動向（％）																
現在の設備	-19.3	-16.4	-13.9	-17.5	-7.4	-14.6	-8.6	-11.7	-10.1	-9.9	-10.1	-10.2	-3.2	-12.7	-8.5	-8.6
実施した	46.7	38.1	43.0	48.9	43.4	50.9	43.8	54.3	42.9	42.3	54.8	42.3	47.7	53.3	43.0	40.4
投資内容																
事業用地・建物	6.7	4.8	6.5	7.6	5.7	6.4	1.9	5.7	7.1	6.7	6.7	7.2	6.5	10.5	7.4	6.1
機械・設備の新・増設	22.2	11.1	18.7	21.7	18.9	27.3	20.0	15.2	14.3	12.5	21.2	18.9	18.7	19.0	16.1	20.2
機械・設備の更改	17.8	19.0	20.6	21.7	17.0	25.5	22.9	28.6	22.3	23.1	18.3	21.6	12.1	21.9	20.1	18.2
事務機器	17.8	17.5	18.7	13.0	18.9	11.8	12.4	16.2	8.0	10.6	16.3	9.0	20.6	11.4	12.8	10.1
車両	6.7	11.1	8.4	10.9	12.3	10.0	13.3	21.9	14.3	13.5	12.5	8.1	15.0	20.0	9.4	8.1
その他	1.1	0.0	0.9	3.3	1.9	0.0	1.9	1.9	3.6	2.9	3.8	3.6	5.6	2.9	2.0	4.0
実施しない	53.3	61.9	57.0	51.1	56.6	49.1	56.2	45.7	57.1	57.7	45.2	57.7	52.3	46.7	57.0	59.6
経営上の問題点（％）																
売上の停滞・減少	46.9		39.8		42.3		47.8		51.9		47.5		51.0		56.4	
人手不足	21.1		25.3		21.7		25.5		22.5		21.9		23.2		18.6	
大手企業・大型店との競争の激化	0.0		0.6		0.6		3.1		0.6		1.3		2.6		3.4	
同業者間の競争の激化	6.1		5.4		5.7		6.2		3.8		5.0		7.7		6.4	
流通経路の変化による競争の激化	0.0		0.6		0.0		0.6		1.3		0.0		1.3		0.5	
合理化の不足	2.0		2.4		1.1		3.1		1.9		2.5		4.5		2.9	
利幅の縮小	23.8		20.5		17.7		14.9		21.3		21.3		23.9		16.2	
小口注文・多頻度配送の増加	3.4		6.0		2.9		4.3		3.1		1.9		1.9		2.9	
販売商品の不足	1.4		3.0		0.0		1.2		0.0		0.6		0.0		2.0	
原材料価格・材料価格の上昇	70.1		65.7		64.0		56.5		48.1		46.9		49.0		59.3	
販売納入先からの値下げ要請	0.7		1.2		2.3		1.2		3.1		1.3		0.6		1.5	
仕入先からの値上げ要請	19.0		16.3		24.0		14.3		11.9		10.6		8.4		15.2	
人件費の増加	10.9		13.9		13.1		13.0		23.1		21.3		25.2		21.1	
人件費以外の経費増加	10.2		10.8		17.7		15.5		11.9		12.5		8.4		11.3	
工場・店舗の狭小・老朽化	8.2		8.4		6.9		9.9		10.6		13.8		11.6		8.3	
生産能力・技術力の不足	3.4		9.0		8.6		10.6		4.4		10.6		11.6		5.9	
取引先の減少	12.9		12.7		14.3		14.9		14.4		14.4		14.8		14.2	
商店街の集客力の低下	0.0		0.6		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.5	
下請の確保難	8.8		7.2		8.6		9.9		8.8		8.8		7.7		6.9	
駐車場・資材置場の確保難	0.7		0.6		1.7		2.5		0.6		1.3		0.6		1.0	
大手企業・工場の縮小・撤退	1.4		0.6		1.1		0.0		0.6		1.3		1.3		0.5	
その他	2.7		4.8		2.9		1.2		2.5		1.9		2.6		1.5	
問題なし	1.4		2.4		0.6		3.1		6.3		3.8		3.9		3.4	
重点経営施策（％）																
販路を広げる	36.1		34.9		37.5		37.7		31.8		38.1		34.4		42.8	
経費を削減する	41.7		37.3		40.9		33.3		35.7		34.2		34.4		37.3	
品揃えを充実させる	1.4		1.8		1.7		0.6		0.0		1.3		3.2		1.5	
情報力・宣伝・広報を強化する	9.7		11.8		8.0		7.5		6.5		7.1		5.2		6.5	
新製品・技術を開発する	14.6		18.3		16.5		16.4		18.8		12.3		15.6		17.9	
新しい工法を導入する	0.7		1.2		1.1		5.0		4.5		5.8		4.5		4.0	
新しい事業を始める	7.6		5.9		8.0		5.0		3.9		7.1		6.5		5.0	
不採算部門を整理・縮小する	3.5		4.7		6.8		5.0		3.9		5.8		4.5		5.0	
店舗・設備を改装する	0.7		1.8		1.1		1.3		1.9		2.6		0.6		0.5	
仕入先・提携先を開拓・選別する	20.8		15.4		13.6		13.2		13.0		11.6		14.3		13.4	
営業時間を延長する	0.0		1.2		0.0		0.6		1.9		0.6		1.3		1.0	
売れ筋商品を取扱う	0.7		1.8		1.1		1.9		2.6		3.2		1.9		4.5	
商店街事業を活性化させる	0.0		0.6		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.0	
機械化を推進する	6.3		8.9		8.5		3.8		5.8		9.0		11.0		8.5	
技術力を強化する	20.1		17.2		19.9		24.5		22.7		22.6		20.1		23.4	
人材を確保する	23.6		29.0		26.1		30.8		28.6		24.5		31.8		22.4	
パート化を図る	2.8		2.4		2.8		1.3		2.6		2.6		1.9		2.0	
教育訓練を強化する	4.2		4.1		3.4		3.1		3.2		3.9		5.2		4.5	
労働条件を改善する	3.5		4.1		5.1		7.5		3.2		3.2		7.8		5.0	
工場・機械を増設・移転する	5.6		7.1		4.5		3.8		5.2		4.5		4.5		5.5	
流通経路の見直しをする	2.1		1.2		1.1		0.0		2.6		0.6		1.3		1.5	
取引先を支援する	0.7		0.6		1.1		1.9		1.3		0.6		1.9		1.0	
輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.6		0.0		1.3		1.3		0.6		0.6		1.0	
不動産の有効活用を図る	2.1		3.6		3.4		3.1		1.9		1.3		1.9		2.5	
その他	1.4		3.0		0.6		0.0		1.3		0.0		0.6		1.5	
特になし	11.1		8.3		9.7		12.6		16.9		11.6		11.7		9.0	
有効回答事業数			155		180		183		168		162		165		164	
															206	
															178	



卸売業  
地域名: 葛飾区  
中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R4 7～9月期		R4 10～12月期		R5 1～3月期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		対前期 比	R6 10～12月期 (予測)	
業況	良い	10.0	9.1	12.8	5.1	14.4	4.4	11.0	9.8	13.0	7.1	9.6	9.9	10.2	5.6	12.5	8.6	6.7	9.9				9.4
	普通	37.5	34.1	38.3	34.6	37.5	37.4	43.8	44.1	39.0	51.4	45.2	40.8	43.9	50.0	44.6	50.5	43.3	49.5				53.0
	悪い	52.5	56.8	48.9	60.3	48.1	58.2	45.2	46.1	48.1	41.4	45.2	49.3	45.9	44.4	42.9	40.9	50.0	40.5				37.6
	D-I	-42.5	-47.7	-36.1	-55.2	-33.7	-53.8	-34.2	-36.3	-35.1	-34.3	-35.6	-39.4	-35.7	-38.8	-30.4	-32.3	-43.3	-30.6	-12.9			
売上額	増加	20.0	17.8	24.2	7.6	20.2	7.6	15.1	10.7	24.7	11.3	20.5	12.2	13.4	11.1	20.7	8.5	16.8	16.8				18.2
	変わらず	30.0	31.1	30.5	38.0	30.8	41.3	41.1	43.7	37.7	47.9	38.4	48.6	36.1	43.1	44.1	51.1	38.7	48.7				44.6
	減少	50.0	51.1	45.3	54.4	49.0	51.1	43.8	46.9	37.7	40.8	41.1	39.2	50.5	45.8	35.1	40.4	44.5	34.5				37.2
	D-I	-30.0	-33.3	-21.1	-46.8	-28.8	-43.5	-28.7	-34.9	-13.0	-29.5	-20.6	-27.0	-37.1	-34.7	-14.4	-31.9	-27.7	-17.7	-13.3			
収益	増加	16.9	11.4	17.0	3.9	17.0	6.6	13.9	8.0	21.1	15.5	22.2	9.6	14.4	8.3	12.5	5.4	9.3	11.6				15.1
	変わらず	31.2	31.8	36.2	41.6	32.0	41.8	36.1	44.0	35.5	42.3	30.6	42.5	35.1	38.9	43.8	49.5	38.1	47.3				42.9
	減少	51.9	56.8	46.8	54.5	51.0	51.6	50.0	48.0	43.4	42.3	47.2	47.9	50.5	52.8	43.8	45.2	52.5	41.1				42.0
	D-I	-35.0	-45.4	-29.8	-50.6	-34.0	-45.0	-36.1	-40.0	-22.3	-26.8	-25.0	-38.3	-36.1	-44.5	-31.3	-39.8	-43.2	-29.5	-11.9			
販売価格	上昇	55.8	45.2	39.4	48.1	40.6	35.9	35.7	29.7	37.7	26.1	34.3	33.3	26.0	31.4	33.0	26.1	33.6	27.7				39.2
	変わらず	32.5	38.1	41.5	40.3	41.6	44.6	54.3	54.5	50.6	60.9	58.6	53.3	61.5	57.1	57.1	66.3	56.3	61.6				53.3
	下降	11.7	16.7	19.1	11.7	17.8	19.6	10.0	15.8	11.7	13.0	7.1	13.3	12.5	11.4	9.8	7.6	10.1	10.7				7.5
	D-I	44.1	28.5	20.3	36.4	22.8	16.3	25.7	13.9	26.0	13.1	27.2	20.0	13.5	20.0	23.2	18.5	23.5	17.0	0.3			
仕入価格	上昇	80.0	67.4	76.9	76.0	60.0	67.0	60.3	55.0	67.6	56.1	56.5	58.9	60.8	47.8	69.2	61.3	59.3	63.0				57.6
	変わらず	16.0	23.3	17.6	17.3	26.0	27.3	35.3	36.0	24.3	37.9	37.7	30.1	35.1	46.4	25.2	35.5	28.0	30.6				34.7
	下降	4.0	9.3	5.5	6.7	14.0	5.7	4.4	9.0	8.1	6.1	5.8	11.0	4.1	5.8	5.6	3.2	12.7	6.5				7.6
	D-I	76.0	58.1	71.4	69.3	46.0	61.3	55.9	46.0	59.5	50.0	50.7	47.9	56.7	42.0	63.6	58.1	46.6	56.5	-17.0			
在庫	過剰	12.3	10.3	17.6	10.8	12.4	10.8	25.4	8.0	14.5	13.3	21.7	10.3	17.2	18.8	17.0	14.3	15.2	15.1				11.6
	適正	67.7	66.7	64.7	64.6	67.4	71.1	68.3	70.5	76.8	81.7	72.5	77.9	75.3	73.9	71.7	76.9	74.1	74.5				76.8
	不足	20.0	23.1	17.6	24.6	20.2	18.1	6.3	21.6	8.7	5.0	5.8	11.8	7.5	7.2	11.3	8.8	10.7	10.4				11.6
	D-I	-7.7	-12.8	0.0	-13.8	-7.8	-7.3	19.1	-13.6	5.8	8.3	15.9	-1.5	9.7	11.6	5.7	5.5	4.5	4.7	-1.2			
資金繰り	楽	3.9	4.4	4.3	2.6	2.9	3.3	9.7	2.0	8.0	8.5	6.9	6.8	9.4	5.6	6.3	6.4	4.2	6.3				5.8
	変わらず	70.1	57.8	70.2	64.9	72.5	64.8	69.4	73.3	64.0	70.4	69.4	62.2	62.5	69.4	72.3	61.7	70.6	70.5				72.7
	苦しい	26.0	37.8	25.5	32.5	24.5	31.9	20.8	24.8	28.0	21.1	23.6	31.1	28.1	25.0	21.4	31.9	25.2	23.2				21.5
	D-I	-22.1	-33.4	-21.2	-29.9	-21.6	-28.6	-11.1	-22.8	-20.0	-12.6	-16.7	-24.3	-18.7	-19.4	-15.1	-25.5	-21.0	-16.9	-5.9			
前年 同期比	売上額	-2.7		-7.6		-4.0		-19.8		-17.8		-25.4		-16.9		-13.1		-24.6					
	収益	-29.7		-29.4		-22.7		-38.6		-31.9		-32.9		-28.5		-30.1		-40.1					
	販売価格	45.4		32.2		36.4		30.5		35.6		31.9		34.0		21.1		24.2					
雇用	前年比残業時間	-19.1	-21.4	-10.7	-19.1	-7.1	-13.0	-8.6	-10.3	-13.5	-13.0	-8.3	-9.5	-17.6	-11.3	-14.1	-15.7	-13.6	-15.0				-7.7
	人手	-16.2	2.4	-15.4	-14.8	-6.0	-11.2	-13.1	-7.1	-22.9	-13.0	-30.5	-22.9	-15.3	-29.6	-25.6	-10.5	-16.1	-26.5				-21.2
	借入をした(%)	44.7	17.1	39.6	13.0	40.6	22.2	32.4	8.4	37.3	14.7	38.9	8.7	31.6	10.0	27.0	17.5	33.1	14.4				11.2
借入金	借入をしない(%)	55.3	82.9	60.4	87.0	59.4	77.8	67.6	91.6	62.7	85.3	61.1	91.3	68.4	90.0	73.0	82.5	66.9	85.6				88.8
	借入難易度	4.1		5.3		-3.1		4.4		0.0		4.2		0.0		-0.9		2.5					
	有効回答事業所数	80		96		104		73		77		74		99		113		121					



小売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R4		R5		R5		R5		R6		R6		R6		対前期比	R6 10～12月期 (予測)		
	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期						
業況	良い	8.3	1.3	8.2	7.3	10.0	6.2	12.7	4.6	10.5	7.6	5.5	5.3	7.3	4.7	4.8	5.3	11.1	5.0	8.0
	普通	26.0	30.7	36.7	30.2	36.4	30.9	41.8	40.7	36.8	46.8	37.4	38.2	30.2	31.4	42.3	41.5	38.9	41.6	43.2
	悪い	65.6	68.0	55.1	62.5	53.6	62.9	45.6	54.6	52.6	45.6	57.1	56.6	62.5	64.0	52.9	53.2	50.0	53.5	48.9
	D-I	-57.3	-66.7	-46.9	-55.2	-43.6	-56.7	-32.9	-50.0	-42.1	-38.0	-51.6	-51.3	-55.2	-59.3	-48.1	-47.9	-38.9	-48.5	9.2
売上額	増加	14.6	9.3	19.4	14.7	11.7	9.4	16.3	7.3	11.7	12.5	9.8	13.2	9.4	8.7	17.1	8.5	18.0	12.6	13.3
	変わらず	35.4	26.7	27.6	37.9	31.5	34.4	38.8	41.8	48.1	47.5	39.1	42.1	32.3	40.2	36.2	43.6	33.7	44.7	42.2
	減少	50.0	64.0	53.1	47.4	56.8	56.3	45.0	46.9	40.3	40.0	51.1	44.7	58.3	51.1	46.7	47.9	48.3	42.7	44.4
	D-I	-35.4	-54.7	-33.7	-32.7	-45.1	-46.9	-28.7	-43.6	-28.6	-27.5	-41.3	-31.5	-48.9	-42.4	-29.6	-39.4	-30.3	-30.1	-0.7
収益	増加	10.9	8.2	16.7	13.3	7.5	7.3	16.5	7.7	12.2	10.1	6.5	9.5	9.7	7.6	11.7	8.7	12.5	8.9	11.4
	変わらず	26.1	28.8	27.1	32.2	28.3	31.3	30.4	33.7	32.4	41.8	33.7	36.5	25.8	30.4	34.0	34.8	35.2	40.6	39.8
	減少	63.0	63.0	56.3	54.4	64.2	61.5	53.2	58.7	55.4	48.1	59.8	54.1	64.5	62.0	54.4	56.5	52.3	50.5	48.9
	D-I	-52.1	-54.8	-39.6	-41.1	-56.7	-54.2	-36.7	-51.0	-43.2	-38.0	-53.3	-44.6	-54.8	-54.4	-42.7	-47.8	-39.8	-41.6	2.9
販売価格	上昇	29.7	37.0	48.5	36.3	37.4	43.8	43.0	40.6	38.4	41.0	41.8	38.4	33.0	33.0	39.8	35.5	43.7	40.2	40.2
	変わらず	48.4	42.5	33.0	48.4	49.5	36.5	43.0	42.5	41.1	44.9	33.0	41.1	46.8	37.4	42.7	50.5	41.4	43.1	43.7
	下降	22.0	20.5	18.6	15.4	13.1	19.8	13.9	17.0	20.5	14.1	25.3	20.5	20.2	29.7	17.5	14.0	14.9	16.7	16.1
	D-I	7.7	16.5	29.9	20.9	24.3	24.0	29.1	23.6	17.9	26.9	16.5	17.9	12.8	3.3	22.3	21.5	28.8	23.5	6.5
仕入価格	上昇	60.7	68.1	76.6	65.2	61.0	68.8	72.2	66.3	60.0	72.2	66.3	60.0	62.6	52.3	67.0	63.3	75.0	64.6	73.9
	変わらず	28.1	27.5	13.8	25.8	26.7	19.4	20.3	24.0	28.0	22.8	24.4	29.3	27.5	37.2	27.8	30.0	21.6	30.2	23.9
	下降	11.2	4.3	9.6	9.0	12.4	11.8	7.6	9.6	12.0	5.1	9.3	14.7	9.9	10.5	5.2	6.7	3.4	5.2	2.3
	D-I	49.5	63.8	67.0	56.2	48.6	57.0	64.6	56.7	48.0	67.1	57.0	41.3	52.7	41.8	61.8	56.6	71.6	59.4	9.8
在庫	過剰	13.9	11.1	19.0	11.4	13.0	13.3	14.5	9.8	9.7	8.8	7.4	3.2	11.2	6.2	6.2	9.2	7.1	3.1	6.0
	適正	65.8	73.0	65.5	65.8	72.8	71.1	73.9	72.8	72.6	77.9	72.8	74.2	74.2	71.6	77.3	75.9	77.4	80.4	79.8
	不足	20.3	15.9	15.5	22.8	14.1	15.7	11.6	17.4	17.7	13.2	19.8	22.6	14.6	22.2	16.5	14.9	15.5	16.5	14.3
	D-I	-6.4	-4.8	3.5	-11.4	-1.1	-2.4	2.9	-7.6	-8.0	-4.4	-12.4	-19.4	-3.4	-16.0	-10.3	-5.7	-8.4	-13.4	1.9
資金繰り	楽	2.2	2.7	1.0	2.2	3.7	2.1	5.0	2.8	8.0	3.8	2.2	6.7	4.3	2.2	6.9	2.2	7.0	6.0	8.1
	変わらず	47.8	48.0	47.9	48.9	56.1	48.4	62.5	59.8	54.7	65.4	48.4	53.3	47.9	50.0	50.5	51.6	54.7	48.0	52.3
	苦しい	50.0	49.3	51.0	48.9	40.2	49.5	32.5	37.4	37.3	30.8	49.5	40.0	47.9	47.8	42.6	46.2	38.4	46.0	39.5
	D-I	-47.8	-46.6	-50.0	-46.7	-36.5	-47.4	-27.5	-34.6	-29.3	-27.0	-47.3	-33.3	-43.6	-45.6	-35.7	-44.0	-31.4	-40.0	4.3
前年 同期比	売上額	-30.1		-32.6		-34.0		-5.1		-17.5		-30.8		-36.5		-17.7		-17.7		
	収益	-52.7		-51.5		-60.6		-29.9		-43.9		-53.8		-54.3		-40.6		-41.6		
	販売価格	22.2		32.7		22.5		38.2		23.0		35.5		16.5		34.0		26.2		
雇用	前年比残業時間	-18.9	-9.6	-10.7	-16.7	-14.7	-10.8	-9.1	-19.4	-9.5	-11.7	-7.7	-8.3	-15.9	-8.8	-11.0	-16.1	-13.7	-11.1	-13.8
	人手	-20.9	-25.6	-21.7	-23.4	-25.0	-20.9	-25.0	-20.2	-26.7	-27.6	-33.3	-25.6	-27.9	-35.6	-21.0	-32.6	-22.8	-19.2	-27.6
借入金	借入をした(%)	35.5	16.9	34.0	13.3	28.3	14.3	25.3	13.5	26.3	10.7	27.8	13.0	21.3	11.4	29.0	7.9	25.3	9.3	4.9
	借入をしない(%)	64.5	83.1	66.0	86.7	71.7	85.7	74.7	86.5	73.7	89.3	72.2	87.0	78.7	88.6	71.0	92.1	74.7	90.7	95.1
	借入難易度	-10.1		-5.4		-7.6		-1.4		-11.6		-5.5		-5.6		-7.0		-6.9		
有効回答事業所数	97		99		111		81		77		92		96		105		91			

小売業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R4		R4		R5		R5		R5		R5		R6		R6		対前期比	10~12月期(予測)	
		7~9月期		10~12月期		1~3月期		4~6月期		7~9月期		10~12月期		1~3月期		4~6月期				
現在の設備		-10.7	-8.9	-16.1	-9.6	-9.1	-17.3	-8.5	-7.1	-8.8	-5.7	-22.9	-13.2	-16.3	-24.1	-11.7	-19.3	-13.4	-11.8	-16.0
実施した		33.3	27.6	35.8	27.3	42.9	34.0	28.6	34.8	45.0	35.4	47.6	38.5	37.5	38.1	36.1	34.7	30.6	29.7	27.4
事業用地・建物		4.4	3.4	5.7	4.5	0.0	5.7	0.0	0.0	2.5	2.1	4.8	5.1	0.0	4.8	6.9	2.0	6.5	5.4	4.8
投資		6.7	0.0	1.9	4.5	8.2	5.7	12.2	10.9	7.5	12.5	14.3	10.3	10.4	11.9	5.6	16.3	8.1	8.1	4.8
機械・設備の新・増設		11.1	13.8	9.4	11.4	16.3	13.2	14.3	8.7	12.5	16.7	21.4	17.9	16.7	23.8	18.1	14.3	12.9	13.5	11.3
機械・設備の更改		6.7	6.9	11.3	9.1	18.4	18.9	8.2	10.9	20.0	8.3	16.7	10.3	22.9	14.3	22.2	16.3	16.1	12.2	14.5
事務機器		4.4	3.4	13.2	9.1	8.2	13.2	6.1	6.5	12.5	6.3	4.8	20.5	14.6	14.3	12.5	12.2	8.1	9.5	9.7
車両		4.4	3.4	1.9	2.3	4.1	0.0	4.1	2.2	5.0	4.2	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他		66.7	72.4	64.2	72.7	57.1	66.0	71.4	65.2	55.0	64.6	52.4	61.5	62.5	61.9	63.9	65.3	69.4	70.3	72.6
実施しない																				
売上の停滞・減少		65.6		61.5		63.1		50.0		54.8		64.8		63.2		57.0		59.6		
人手不足		17.8		20.9		19.4		25.6		20.5		25.0		26.4		15.0		21.3		
大手企業・大型店との競争の激化		11.1		14.3		5.8		6.4		8.2		10.2		17.2		14.0		13.5		
同業者間の競争の激化		6.7		8.8		10.7		15.4		13.7		12.5		13.8		19.0		13.5		
流通経路の変化による競争の激化		5.6		2.2		5.8		0.0		5.5		4.5		3.4		3.0		2.2		
合理化の不足		1.1		2.2		1.0		1.3		1.4		1.1		1.1		4.0		2.2		
利幅の縮小		22.2		40.7		30.1		19.2		24.7		21.6		29.9		25.0		30.3		
経営		2.2		2.2		1.9		1.3		2.7		0.0		2.3		1.0		0.0		
小口注文・多頻度配達の増加		3.3		7.7		7.8		7.7		6.8		6.8		6.9		11.0		11.2		
販売商品の不足		32.2		34.1		33.0		32.1		24.7		21.6		23.0		33.0		29.2		
原材料価格・材料価格の上昇		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.1		0.0		0.0		1.1		
販売納入先からの値下げ要請		28.9		28.6		22.3		19.2		24.7		15.9		13.8		18.0		24.7		
仕入先からの値上げ要請		14.4		12.1		24.3		20.5		11.0		19.3		14.9		18.0		21.3		
人件費の増加		10.0		5.5		15.5		11.5		11.0		12.5		11.5		6.0		5.6		
人件費以外の経費増加		3.3		2.2		2.9		2.6		6.8		3.4		2.3		3.0		3.4		
工場・店舗の狭小・老朽化		4.4		1.1		1.0		1.3		0.0		2.3		4.6		1.0		2.2		
生産能力・技術力の不足		11.1		9.9		13.6		10.3		12.3		11.4		12.6		12.0		7.9		
取引先の減少		14.4		8.8		6.8		14.1		9.6		10.2		13.8		12.0		12.4		
商店街の集客力の低下		0.0		0.0		0.0		1.3		0.0		0.0		2.3		1.0		3.4		
下請の確保難		0.0		0.0		1.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.0		0.0		
駐車場・資材置場の確保難		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
大手企業・工場との縮小・撤退		1.1		0.0		3.9		2.6		2.7		2.3		0.0		0.0		0.0		
その他		2.2		3.3		0.0		1.3		4.1		3.4		1.1		3.0		2.2		
問題なし		31.0		33.7		32.3		18.9		26.8		31.8		32.2		39.6		24.1		
販路を広げる		52.9		41.1		48.5		44.6		38.0		43.2		54.0		38.6		33.7		
経費を削減する		24.1		24.2		24.2		17.6		21.1		23.9		25.3		17.8		22.9		
品揃えを充実させる		6.9		11.6		15.2		13.5		11.3		17.0		10.3		16.8		15.7		
情報力・宣伝・広報を強化する		2.3		6.3		4.0		1.4		4.2		5.7		2.3		9.9		7.2		
新製品・技術を開発する		2.3		2.1		1.0		1.4		0.0		1.1		1.1		1.0		1.2		
新しい工法を導入する		5.7		10.5		9.1		9.5		5.6		8.0		11.5		10.9		4.8		
新しい事業を始める		3.4		2.1		4.0		2.7		1.4		2.3		1.1		1.0		3.6		
不採算部門を整理・縮小する		4.6		5.3		4.0		5.4		5.6		6.8		5.7		4.0		7.2		
店舗・設備を改装する		9.2		10.5		11.1		12.2		9.9		9.1		4.6		14.9		13.3		
仕入先・提携先を開拓・選別する		1.1		1.1		2.0		1.4		1.4		2.3		1.1		2.0		2.4		
営業時間を延長する		23.0		27.4		19.2		20.3		12.7		17.0		19.5		22.8		18.1		
売れ筋商品を取扱う		10.3		7.4		8.1		9.5		5.6		1.1		9.2		5.0		10.8		
商店街事業を活性化させる		0.0		1.1		2.0		2.7		4.2		1.1		3.4		0.0		1.2		
機械化を推進する		4.6		5.3		4.0		2.7		2.8		6.8		4.6		5.0		6.0		
技術力を強化する		20.7		16.8		23.2		28.4		23.9		25.0		23.0		17.8		22.9		
人材を確保する		0.0		1.1		2.0		1.4		1.4		2.3		0.0		5.0		1.2		
パート化を図る		5.7		3.2		2.0		2.0		1.4		3.4		3.4		3.0		4.8		
教育訓練を強化する		2.3		3.2		3.0		4.1		4.2		3.4		1.1		6.9		6.0		
労働条件を改善する		1.1		0.0		0.0		0.0		0.0		1.1		0.0		0.0		1.2		
工場・機械を増設・移転する		2.3		5.3		4.0		4.1		1.4		2.3		4.6		3.0		3.6		
流通経路の見直しをする		2.3		2.1		1.0		1.4		1.4		2.3		2.3		1.0		1.2		
取引先を支援する		0.0		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
輸入品の取扱いを増やす		1.1		2.1		2.0		2.7		2.8		3.4		2.3		2.0		2.4		
不動産の有効活用を図る		0.0		0.0		0.0		1.4		0.0		1.1		1.1		0.0		0.0		
その他		6.9		11.6		11.1		6.8		8.5		6.8		6.9		8.9		9.6		
特になし		97		99		111		81		77		92		96		105		91		
有効回答事業所数																				

サービス業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R4		R4		R5		R5		R5		R5		R6		R6		R6		対前期比	R6 10～12月期 (予測)
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期			
業況	良い	7.0	4.3	10.3	11.9	6.9	4.9	7.1	6.3	8.7	8.3	6.1	9.0	9.4	8.2	8.4	9.8	13.5	6.5			12.4
	普通	42.1	51.4	45.2	44.0	51.0	52.1	60.2	65.0	68.9	60.2	67.5	67.0	53.2	58.2	59.7	55.6	50.9	66.7			59.0
	悪い	50.9	44.3	44.5	44.0	42.1	43.0	32.7	28.7	22.3	31.5	26.3	24.0	37.4	33.6	31.8	34.6	35.6	26.8			28.6
	D-I	-43.9	-40.0	-34.2	-32.1	-35.2	-38.1	-25.6	-22.4	-13.6	-23.2	-20.2	-15.0	-28.0	-25.4	-23.4	-24.8	-22.1	-20.3	1.3		-16.2
売上額	増加	17.2	14.3	25.3	19.3	12.3	9.7	13.3	18.3	29.1	15.5	27.0	17.8	17.1	14.0	15.6	17.0	22.8	14.4			16.3
	変わらず	40.5	47.1	41.8	49.1	48.6	50.7	56.6	51.4	47.6	65.5	54.8	60.4	45.7	57.0	48.1	54.1	47.5	56.9			55.6
	減少	42.2	38.6	32.9	31.6	39.0	39.6	30.1	46.9	23.3	19.1	18.3	21.8	37.1	28.9	36.4	28.9	29.6	28.8			28.1
	D-I	-25.0	-24.3	-7.6	-12.3	-26.7	-29.9	-16.8	-12.0	5.8	-3.6	8.7	-4.0	-20.0	-14.9	-20.8	-11.9	-6.8	-14.4	14.0		-11.8
収益	増加	13.3	8.6	17.2	15.0	8.3	7.7	13.3	16.1	20.6	14.5	20.0	13.0	12.9	7.0	14.6	14.1	19.5	14.8			14.5
	変わらず	31.0	47.1	40.0	42.5	41.4	45.1	42.5	44.8	48.0	50.0	53.0	56.0	41.4	57.0	39.7	43.0	39.6	51.0			49.1
	減少	55.8	44.3	42.8	42.5	50.3	47.2	44.2	39.2	31.4	35.5	27.0	31.0	45.7	36.0	45.7	43.0	40.9	34.2			36.5
	D-I	-42.5	-35.7	-25.6	-27.5	-42.0	-39.5	-30.9	-23.1	-10.8	-21.0	-7.0	-18.0	-32.8	-29.0	-31.1	-28.9	-21.4	-19.4	9.7		-22.0
料金価格	上昇	16.7	8.5	21.7	21.9	13.2	12.8	13.3	19.0	17.8	14.5	17.9	13.1	17.9	14.4	19.3	17.0	13.8	18.2			19.7
	変わらず	69.3	74.6	69.2	64.9	75.7	73.8	76.1	67.6	73.3	76.4	78.6	79.8	75.0	81.1	70.7	70.4	77.4	71.6			70.1
	下降	14.0	16.9	9.1	13.2	11.1	13.5	10.6	13.4	8.9	9.1	3.6	7.1	7.1	4.5	10.0	12.6	8.8	10.1			10.2
	D-I	2.7	-8.4	12.6	8.7	2.1	-0.7	2.7	5.6	8.9	5.4	14.3	6.0	10.8	9.9	9.3	4.4	5.0	8.1	-4.3		9.5
材料価格	上昇	57.9	41.0	61.1	53.8	65.6	54.3	49.0	60.2	54.9	46.9	47.4	45.1	58.6	45.9	57.3	54.8	60.4	52.3			58.0
	変わらず	34.7	50.8	29.8	38.7	27.5	35.7	46.0	30.5	38.5	49.0	49.5	50.5	35.2	52.0	35.9	39.5	37.5	42.3			39.9
	下降	7.4	8.2	9.2	7.5	6.9	10.1	5.0	9.4	6.6	4.1	3.1	4.4	6.3	2.0	6.9	5.6	2.1	5.4			2.1
	D-I	50.5	32.8	51.9	46.3	58.7	44.2	44.0	50.8	48.3	42.8	44.3	40.7	52.3	43.9	50.4	49.2	58.3	46.9	7.9		55.9
資金繰り	楽	3.5	1.4	4.1	5.4	3.5	2.8	1.8	3.6	5.9	1.9	3.6	5.9	1.4	2.8	5.3	2.2	9.9	5.3			6.2
	変わらず	67.3	65.2	62.1	63.4	60.8	58.7	67.3	60.0	69.6	66.7	75.7	68.3	69.1	69.7	65.1	65.9	64.0	68.0			67.7
	苦しい	29.2	33.3	33.8	31.3	35.7	38.5	30.9	36.4	24.5	31.5	20.7	25.7	29.5	27.5	29.6	31.9	26.1	26.7			26.1
	D-I	-25.7	-31.9	-29.7	-25.9	-32.2	-35.7	-29.1	-32.8	-18.6	-29.6	-17.1	-19.8	-28.1	-24.7	-24.3	-29.7	-16.2	-21.4	8.1		-19.9
同前年比	売上額	-15.1		-4.0		-0.8		0.0		15.2		8.9		-4.2		-11.6		2.8				
	収益	-35.9		-31.7		-30.6		-32.4		-13.0		-8.9		-26.5		-24.0		-15.0				
雇用	前年比残業時間	-7.9	-10.0	-2.1	1.7	-8.9	-2.8	-3.6	-4.2	-6.8	0.0	-5.3	-5.9	-12.9	-8.1	1.3	-9.7	-3.7	-2.6			-4.3
	人手	-33.9	-25.4	-39.2	-37.7	-40.4	-40.7	-39.5	-40.7	-44.2	-39.3	-37.5	-45.5	-39.5	-38.7	-43.8	-42.9	-43.9	-44.1			-38.5
借入金	借入をした(%)	31.3	18.3	38.9	14.4	31.2	10.7	26.1	12.5	28.7	14.3	23.9	8.3	24.3	13.6	28.5	9.6	26.1	13.5			11.7
	借入をしな(%)	68.7	81.7	61.1	85.6	68.8	89.3	73.9	87.5	71.3	85.7	76.1	91.7	75.7	86.4	71.5	90.4	73.9	86.5			88.3
	借入難易度	-10.4		-17.1		-10.7		-12.0		-15.1		-12.7		-10.9		-10.0		-13.2				
有効回答事業所数	117		147		147		113		103		115		140		155		164					



中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和6年7月～9月期

建設業  
地域名: 葛飾区  
中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R4		R4		R5		R5		R5		R6		R6		R6		対前期比	R6	
			7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期(予測)
業況	良い	11.4	3.8	10.8	4.6	11.7	9.0	7.3	6.2	9.1	10.3	12.8	10.0	12.1	7.7	10.6	8.3	13.4	8.4		10.1
	普通	47.7	59.6	54.5	53.1	49.1	49.4	56.3	52.5	54.5	55.9	58.8	54.0	53.0	58.7	53.6	62.1	55.0	58.4		60.8
	悪い	40.9	36.5	34.7	42.3	39.3	41.7	36.4	41.4	36.4	33.8	28.4	36.0	34.9	33.6	35.8	29.7	31.5	33.1		29.1
	D-I	-29.5	-32.7	-23.9	-37.7	-27.6	-32.7	-29.1	-35.2	-27.3	-23.5	-15.6	-26.0	-22.8	-25.9	-25.2	-21.4	-18.1	-24.7	7.1	-19.0
売上額	増加	18.2	12.5	18.9	9.2	18.4	11.6	16.4	8.0	17.2	13.3	17.7	16.9	17.3	10.9	16.3	18.5	18.8	15.0		12.8
	変わらず	39.4	50.0	42.0	50.8	36.8	49.4	39.5	50.3	41.7	55.3	50.3	52.0	45.3	51.7	43.3	49.3	51.0	52.2		55.7
	減少	42.4	37.5	39.1	40.0	44.8	39.0	44.1	46.9	41.1	31.3	32.0	31.1	37.3	37.4	40.4	32.2	30.2	32.8		31.5
	D-I	-24.2	-25.0	-20.2	-30.8	-26.4	-27.4	-27.7	-33.7	-27.7	-18.0	-14.3	-14.2	-20.0	-26.5	-24.1	-13.7	-11.4	-17.8	12.7	-18.7
受注残	増加	13.0	13.3	11.9	10.0	12.2	9.1	9.3	9.1	16.0	13.9	18.8	16.2	12.2	16.1	12.4	13.8	14.8	16.1		14.1
	変わらず	50.4	58.1	53.0	48.5	44.5	51.8	52.3	50.0	52.0	56.3	47.9	54.1	53.4	48.3	47.2	57.2	61.1	51.7		59.1
	減少	36.6	28.6	35.1	41.5	43.3	39.0	38.4	40.9	32.0	29.8	33.3	29.7	34.5	35.7	40.4	29.0	24.2	32.2		26.8
	D-I	-23.6	-15.3	-23.2	-31.5	-31.1	-29.9	-29.1	-31.8	-16.0	-15.9	-14.5	-13.5	-22.3	-19.6	-28.0	-15.2	-9.4	-16.1	18.6	-12.7
施工高	増加	18.2	14.3	17.3	10.0	17.3	11.4	13.9	9.2	19.0	14.8	18.5	20.5	13.4	15.9	16.2	15.0	19.7	17.9		15.8
	変わらず	43.2	49.5	47.0	45.4	40.7	50.9	43.7	49.7	42.5	57.0	47.9	49.7	52.3	47.6	42.5	54.4	53.1	50.3		53.4
	減少	38.6	36.2	35.7	44.6	42.0	37.7	42.4	41.1	38.6	28.2	33.6	29.8	34.2	36.6	41.3	30.6	27.2	31.8		30.8
	D-I	-20.4	-21.9	-18.4	-34.6	-24.7	-26.3	-28.5	-31.9	-19.6	-13.4	-15.1	-9.3	-20.8	-20.7	-25.1	-15.6	-7.5	-13.9	17.6	-15.0
収益	増加	18.0	10.5	16.0	9.1	17.1	9.5	13.2	9.1	14.9	14.0	18.2	16.4	10.0	12.9	14.0	11.5	18.9	15.6		12.8
	変わらず	36.1	48.6	35.5	44.7	32.3	44.0	38.2	42.7	38.3	50.0	43.9	48.0	50.0	44.9	42.1	50.7	50.7	45.8		56.1
	減少	45.9	41.0	48.5	46.2	50.6	46.4	48.7	48.2	46.8	36.0	37.8	35.5	40.0	42.2	43.8	37.8	30.4	38.5		31.1
	D-I	-27.9	-30.5	-32.5	-37.1	-33.5	-36.9	-35.5	-39.1	-31.9	-22.0	-19.6	-19.1	-30.0	-29.3	-29.8	-26.3	-11.5	-22.9	18.3	-18.3
請負価格	上昇	22.6	19.2	19.9	20.3	16.7	21.8	15.8	16.0	23.7	17.4	17.0	21.3	17.2	15.8	18.8	18.8	18.9	21.2		17.8
	変わらず	56.4	60.6	60.2	57.9	64.2	53.9	67.1	62.3	55.9	69.1	66.7	60.0	67.5	65.1	63.6	64.4	66.2	65.4		65.8
	下降	21.1	20.2	19.9	21.8	19.1	24.2	17.1	21.6	20.4	13.4	16.3	18.7	15.2	19.2	17.6	16.8	14.9	13.4		16.4
	D-I	1.5	-1.0	0.0	-1.5	-2.4	-2.4	-1.3	-5.6	3.3	4.0	0.7	2.6	2.0	-3.4	1.2	2.0	4.0	7.8	2.8	1.4
材料価格	上昇	78.0	76.0	73.8	78.9	80.3	69.4	69.4	75.7	71.4	60.4	67.9	61.4	65.3	57.4	61.5	61.6	65.1	60.9		63.4
	変わらず	16.3	22.0	20.6	17.1	16.4	24.4	27.2	19.1	23.1	36.8	28.5	34.5	30.6	36.8	35.1	34.9	30.8	36.8		30.3
	下降	5.7	2.0	5.6	4.1	3.3	6.3	3.4	5.3	5.4	2.8	3.6	4.1	4.1	5.9	3.4	3.4	4.1	2.3		6.2
	D-I	72.3	74.0	68.2	74.8	77.0	63.1	66.0	70.4	66.0	57.6	64.3	57.3	61.2	51.5	58.1	58.2	61.0	58.6	2.9	57.2
在庫	過剰	0.9	1.1	5.1	0.9	2.8	3.2	7.0	1.4	9.8	5.7	6.7	8.5	6.5	6.0	5.9	6.5	4.1	5.9		4.1
	適正	74.3	66.7	71.2	67.3	84.6	72.1	82.4	84.6	81.8	82.3	82.2	83.0	82.0	83.6	88.8	79.7	91.0	87.1		91.7
	不足	24.8	32.3	23.7	31.9	12.6	24.7	10.6	14.0	8.4	12.1	11.1	8.5	11.5	10.4	5.3	13.8	4.8	7.1		4.1
	D-I	-23.9	-31.2	-18.6	-31.0	-9.8	-21.5	-3.6	-12.6	1.4	-6.4	-4.4	0.0	-5.0	-4.4	0.6	-7.3	-0.7	-1.2	-1.3	0.0
資金繰り	楽	7.0	6.9	4.9	5.5	5.7	5.6	10.7	4.5	7.9	7.4	9.0	5.4	5.3	6.9	6.9	6.6	5.4	6.9		5.4
	変わらず	62.5	56.9	65.9	59.4	65.6	56.8	61.3	65.4	59.6	63.8	58.6	63.8	65.8	57.6	64.9	62.9	66.2	62.1		67.3
	苦しい	30.5	36.3	29.3	35.2	28.7	37.7	28.0	30.1	32.5	28.9	32.4	30.9	28.9	35.4	28.2	30.5	28.4	31.0		27.2
	D-I	-23.5	-29.4	-24.4	-29.7	-23.0	-32.1	-17.3	-25.6	-24.6	-21.5	-23.4	-25.5	-23.6	-28.5	-21.3	-23.9	-23.0	-24.1	-1.7	-21.8
前年同期比	売上額	-25.0		-32.9		-24.1		-22.2		-21.9		-16.6		-20.4		-10.8		-5.4			
	収益	-42.6		-42.8		-32.3		-35.2		-35.9		-31.5		-27.5		-25.9		-17.9			
雇用	前年比残業時間	-20.9	-12.0	-12.2	-19.3	-18.1	-11.1	-16.8	-22.6	-10.6	-12.9	-20.1	-8.7	-13.8	-18.7	-28.5	-15.9	-14.2	-18.4		-12.2
	人手	-38.7	-47.4	-57.4	-41.4	-51.0	-57.1	-52.6	-46.5	-56.3	-54.4	-59.0	-60.9	-60.0	-57.6	-48.6	-61.1	-56.7	-52.5		-60.1
借入金	借入をした(%)	44.9	18.9	52.5	18.7	41.0	20.5	44.1	18.2	43.7	19.4	38.6	22.8	42.4	20.1	38.1	21.3	36.8	20.5		16.5
	借入をしない(%)	55.1	81.1	47.5	81.3	59.0	79.5	55.9	81.8	56.3	80.6	61.4	77.2	57.6	79.9	61.9	78.7	63.2	79.5		83.5
	借入難易度	2.4		2.5		1.3		1.4		-3.4		-3.5		-9.5		-4.6		-6.2			
有効回答事業所数	133		169		164		152		155		148		153		180		149				





不動産業  
 地域名: 葛飾区  
 中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R4		R4		R5		R5		R5		R6		R6		R6		対前期比	R6 10～12月期 (予測)	
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期					
業況	良い	10.0	4.0	3.9	6.7	6.0	1.0	3.3	8.8	5.9	8.0	6.3	2.0	5.3	4.1	3.6	3.8	6.5	1.9		5.9
	普通	71.1	74.7	67.6	73.3	63.8	75.5	71.4	68.4	72.5	65.9	70.9	79.2	71.7	74.3	73.6	73.3	75.0	71.8		75.6
	悪い	18.9	21.3	28.4	20.0	30.2	23.5	25.3	22.8	21.6	26.1	22.8	18.8	23.0	21.6	22.7	22.9	18.5	26.2		18.5
	D-I	-8.9	-17.3	-24.5	-13.3	-24.2	-22.5	-22.0	-14.0	-15.7	-18.1	-16.5	-16.8	-17.7	-17.5	-19.1	-19.1	-12.0	-24.3	7.1	-12.6
売上額	増加	12.4	9.2	4.9	7.9	5.2	5.0	12.2	14.2	5.8	13.3	5.1	6.8	7.1	2.7	7.3	6.4	7.3	6.5		6.8
	変わらず	61.8	71.1	72.8	71.9	65.2	72.3	62.2	61.1	74.8	63.3	74.4	69.9	68.1	74.7	70.0	74.5	74.0	69.4		71.2
	減少	25.8	19.7	22.3	20.2	29.6	22.8	25.6	46.9	19.4	23.3	20.5	23.3	24.8	22.7	22.7	19.1	18.7	24.1		22.0
	D-I	-13.4	-10.5	-17.4	-12.3	-24.4	-17.8	-13.4	-10.6	-13.6	-10.0	-15.4	-16.5	-17.7	-20.0	-15.4	-12.7	-11.4	-17.6	4.0	-15.2
収益	増加	12.6	10.8	6.8	6.9	7.1	4.9	7.9	12.4	5.8	10.1	8.9	6.8	4.6	2.6	6.5	5.7	7.4	7.5		7.6
	変わらず	60.9	66.2	64.1	66.7	61.9	67.6	61.8	62.8	71.8	58.4	63.3	66.0	64.2	68.4	69.2	70.5	66.9	67.0		65.3
	減少	26.4	23.0	29.1	26.4	31.0	27.5	30.3	24.8	22.3	31.5	27.8	27.2	31.2	28.9	24.3	23.8	25.6	25.5		27.1
	D-I	-13.8	-12.2	-22.3	-19.5	-23.9	-22.6	-22.4	-12.4	-16.5	-21.4	-18.9	-20.4	-26.6	-26.3	-17.8	-18.1	-18.2	-18.0	-0.4	-19.5
販売価格	上昇	14.6	10.3	6.3	11.0	9.4	9.6	13.3	10.5	7.1	14.6	9.6	7.1	6.0	9.7	12.9	10.4	11.4	11.1		15.0
	変わらず	73.2	80.9	77.9	78.0	71.7	75.5	73.5	71.4	80.8	70.7	80.8	74.7	79.0	79.2	76.2	75.0	79.8	75.8		72.6
	下降	12.2	8.8	15.8	11.0	18.9	14.9	13.3	18.1	12.1	14.6	9.6	18.2	15.0	11.1	10.9	14.6	8.8	13.1		12.4
	D-I	2.4	1.5	-9.5	0.0	-9.5	-5.3	0.0	-7.6	-5.0	0.0	-11.1	-9.0	-1.4	2.0	-4.2	2.6	-2.0	0.6		2.6
仕入価格	上昇	35.0	32.8	22.6	32.1	30.4	25.8	31.3	32.4	30.9	30.4	37.3	28.7	33.7	34.2	41.6	32.3	30.8	38.6		29.6
	変わらず	57.5	57.4	66.7	56.8	56.9	62.4	58.8	54.9	58.5	57.0	56.0	60.6	56.4	58.9	52.5	54.5	59.0	55.4		59.1
	下降	7.5	9.8	10.8	11.1	12.7	11.8	10.0	12.7	10.6	12.7	6.7	10.6	9.9	6.8	5.9	13.1	10.3	5.9		11.3
	D-I	27.5	23.0	11.8	21.0	17.7	14.0	21.3	19.7	20.3	17.7	30.6	18.1	23.8	27.4	35.7	19.2	20.5	32.7	-15.2	18.3
資金繰り	楽	7.1	6.8	4.0	5.9	3.5	4.0	1.1	4.4	1.9	2.3	1.3	2.9	4.8	1.3	0.9	4.0	4.1	0.0		2.5
	変わらず	78.6	80.8	80.2	78.8	74.6	73.3	76.1	72.8	75.7	75.0	83.1	73.8	75.2	80.0	85.3	75.2	81.8	86.2		82.4
	苦しい	14.3	12.3	15.8	15.3	21.9	22.8	22.7	22.8	22.3	22.7	15.6	23.3	20.0	18.7	13.8	20.8	14.0	13.8		15.1
	D-I	-7.2	-5.5	-11.8	-9.4	-18.4	-18.8	-21.6	-18.4	-20.4	-20.4	-14.3	-20.4	-15.2	-17.4	-12.9	-16.8	-9.9	-13.8	3.0	-12.6
同前年 対前年比	売上額	-16.1		-5.2		-22.4		-19.7		-6.1		-15.3		-20.2		-12.4		-6.2			
	収益	-15.9		-17.7		-33.6		-30.3		-23.0		-25.6		-29.8		-22.1		-19.3			
	販売価格	2.5		1.1		-7.8		-7.4		1.1		-1.4		-10.6		-1.9		-0.9			
雇用	前年比残業時間	-8.1	1.5	-8.2	-6.9	-5.5	-8.2	-5.9	-5.5	-12.9	-5.9	-6.6	-10.9	-4.9	-6.9	-3.8	-6.0	-5.3	-3.9		-4.6
	人手	-8.1	-5.8	-4.1	-10.5	-11.9	-3.0	-12.9	-9.3	-16.0	-10.7	-18.4	-15.0	-11.7	-18.9	-6.6	-12.7	-6.8	-6.7		-6.9
借入金	借入をした(%)	37.2	13.9	26.0	29.1	27.7	18.0	22.6	17.1	22.0	19.5	17.3	14.0	23.4	17.1	16.5	14.0	19.2	12.1		17.4
	借入をしな(%)	62.8	86.1	74.0	70.9	72.3	82.0	77.4	82.9	78.0	80.5	82.7	86.0	76.6	82.9	83.5	86.0	80.8	87.9		82.6
	借入難易度	-10.3		-8.0		-12.5		-12.9		-18.4		-10.8		-15.1		-11.2		-11.7			
有効回答事業所数	91	103	117	92	103	80	114	112	125												



## 調査の概要

1. 調査時期 令和6年7～9月期
2. 調査方法 郵送及びWEBアンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	325	178
卸売業	300	121
小売業	300	91
サービス業	300	164
建設業	325	149
不動産業	300	125
合計	1,850	847

※有効回答事業所数の合計は業種不明 19 件含む